

2025 年度 （令和7年度）

福山市 東村 町 地内

大 濁 池 改 良 工 事 実 施 設 計 書

建設リサイクル法対象工事

業 務 概 要	項 目	当 初	
	適 用 単 価 区 分 工 種 施 工 地 域 ・ 工 事 場 所 区 分 工 事 概 要	0-07.07.01 ため池工事 中山間地域 工事延長 L= 38.4 m 堤体工 盛土工（ランダム材） V= 90 m3 盛土工（鋼土） V= 170 m3 張りブロック工 A= 56 m2 洪水吐工 L= 36 m 表層工 A= 100 m2 路盤工 A= 100 m2 仮設工 一 式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、大濁池改良工事に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黒板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第5節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第6節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 コンクリートの配合指定

- ・鉄筋コンクリート（呼び強度21及び24）の水セメント比については55%以下、無筋構造物のコンクリート（呼び強度18）の水セメント比については60%以下とすること。

第3章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：工事に伴う仮設道路

第4節 建設副産物について

- (1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

- (2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督職員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第5節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

- ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・実施伝票は原本を提出すること。

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。
- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

ため池整備工事共通仕様書

(適用)

1-1 本仕様書は、高さ(堤高)15m未満のフィルタイプのため池(調整池を含む)改修の堤体工、地盤改良工、洪水吐工、取水施設工、浚渫工その他これらに類する工種について適用するものとする。

1-2 設計図書において特に定めのない事項については、次の基準類によらなければならない。なお、基準類と設計図書に相違がある場合は、原則として設計図書の規定に従うものとし、この仕様書に定めのない事項または疑義がある場合は監督員に確認を求めなければならない。

- | | |
|------------------------|----------------|
| (1) 土地改良事業設計指針 「ため池整備」 | 公益社団法人 農業農村工学会 |
| (2) 「土木工事等共通仕様書」 | 農林水産省構造改善局 |
| (3) 「広島県土木工事共通仕様書」 | 広島県建設技術センター |
| (4) 「農林土木工事施工管理基準」 | 広島県農林水産局 |

(一般事項)

2-1 打合せ

この仕様書において「打合せを行う」とされた場合に、監督員(以下甲という。)は状況に応じ、受注者、現場代理人、監理技術者または主任技術者(以下乙という。)に対し指示、承諾または助言を行うものとし、指示及び承諾は文書(打合せ簿を含む)によって行うものとする。助言は口頭でもできるものとする。

2-2 測量

1. 基準点及び水準点は常に保全に努めなければならない
2. 施工の支障となる基準点及び水準点は甲と協議の上移設し、その管理を適切に行わなければならない。
3. 甲が別に指示する測量については、これを速やかに実施しその成果を提出しなければならない。

2-3 工事記録

ため池本体及び附帯構造物の基礎状況、材料、施工管理、施工方法等施工過程の諸記録は甲に提出しなければならない。

2-4 段階確認

乙は、工事完了後外面から明視できない箇所または重要な工事部分及び甲が必要と認めて指示する作業段階ごとにその施工位置、施工状況等について甲の確認を受けなければならない。

2-5 履行報告書

乙は、月末締めで翌月 7 日までに履行報告書を甲に提出しなければならない。

2-6 定義

1. 「鋼土、刃金土」とは、堤体盛土のうち遮水を目的とした部分をいう。特に「刃金土」という場合は、遮水性部分又は工法を示し、「鋼土」とは遮水性部分に用いる材料を示す場合もある。
2. 「ランダム材」とは、堤体盛土のうち遮水性ゾーン(鋼土、刃金土)以外の部分をいう。

3. 「ドレーン」とは、堤体からの浸透水による細粒材料の流失を防止し、かつ浸透水を堤体外へ安全に排出流下させることにより、堤体の浸透破壊を防止するものをいう。
4. 「コンタクトクレイ」とは、土質材料と基礎岩盤面あるいはコンクリート構造物面が接する箇所において密着性をより高めるために貼付ける粘土質材料をいう。
5. 「前法（表法）」とは、堤体上流側の法面をいう。
6. 「後法（裏法）」とは、堤体下流側の法面をいう。
7. 『取水施設』とは、底樋等の土木構造物と取水バルブ（ゲート）等の機械設備を含めたものの総称である。
8. 「取水設備」とは、取水施設における取水バルブ（ゲート）等の機械設備を示す。
9. 「樋管」とは、底樋、斜樋を含めたものの総称である。
10. 「腰ブロック」とは、ドレーンを保護し、かつ浸透水を堤体外に速やかに排水流下させる積ブロックをいう。
11. 「土砂吐」とは、ため池の最も低位置に設けられた池内に堆積する土砂等の排除施設をいう。

2-7 使用資材

- (1) 設計図及び仕様書に特定の製品名及び製造業者名を表示していない場合は、「日本工業規格（JIS 製品）」・「広島県農林土木コンクリート製品協会規格品」、「社団法人日本水道協会（JWWA 製品）」又は甲が認める同等以上の製品であることとする。
- (2) 乙は、本工事に使用する主要な資材について、名称・規格・品質・各種試験成績書及び購入先が確認できる資料を提出し、甲の承諾を受けなければならない。

2-8 コンクリート工

この工事に使用するコンクリートは、「広島県土木工事共通仕様書」によるものとし、セメントは高炉 B 種とし、使用区分は次表のとおりとする。

表 示	名 称	設計基準強度	粗骨材最大寸法	スランプ	水セメント比
21-40-8	鉄筋構造物	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	40mm	8cm	55%以下
18-40-8	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	40mm	8cm	60%以下
18-40-8	均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	40mm	8cm	60%以下

2-9 施工体制立入点検について

1. 発注者は、受注者が工事の施工に当たり、遵守しなければならない法令上の義務が適正に履行されているかの立入調査を行うことができる。
2. 受注者は、発注者の指名する者が、工事現場、現場事務所又は営業所に立入調査を実施する場合は、これを受け入れなければならない。

<施工一般>

(堤体工)

3-1 雑物除去工

1. 乙は、掘削に当たり、堤敷内の腐植土、草木根等の有機物及び基礎として不適当なもの並びに池水の浸透を誘導する雑物（風化土、転石、泥土等）は完全に除去しなければならない。
なお、現地状況により完全に除去できない場合には、甲と協議しなければならない。
2. 乙は、設計図書に基づき工事現場内にある地表物及び物件を処理しなければならない。

また、設計図書に示されていない地表物等については、甲と協議しなければならない。

3-2 土取場

1. 乙は、別図に示す場所にて採土を行うものと指定する場合、築堤材料の採取計画を樹立し、甲の承諾を受けなければならない。土取場の指定をしない場合には、工事着手前にその土質について甲の承諾を受けなければならない。
2. 乙は、伐開又は採土前に土取場で、甲、土地及び林地所有者立会のもとに範囲等を確認し、後にトラブルのないようにしなければならない。
また、数量が確認できるように、着工前後の測量、写真等必要書類を用意しなければならない。
3. 乙は、土取場掘削に先立ち甲と十分に打合せを行い、築堤用土に適した材料をより多く確保できるように努めなければならない。必要量の採土が得られない恐れがある場合には、甲と協議しなければならない。
4. 乙は、土取場を締固めに最適な含水比の状態に保ち、一日に必要な数量を円滑に供給し、作業を効率的に進めるように努めなければならない。
5. 乙は、築堤材料に腐植土、不良土、雪、氷、草木根等の有害物が混入しないようにしなければならない。
6. 乙は、土取場の掘削勾配について、土質、採土状況の変更がある場合は、甲と協議しなければならない。
7. 乙は、土取場表面の草木根等の有機物質を取除き、順序正しく掘削して、地区内に流入する地表水を最小にし、また、地表、地下水の排除を促進する方法で施工しなければならない。
8. 乙は、土取場の跡始末について、甲の指示に従わなければならない。

3-3 表土剥ぎ取り

1. 乙は、改修する堤体表土の剥ぎ取りに当たり、原則として全面にわたり同時に施工するものとする。
なお、やむを得ず盛土の進捗に応じて表土を剥ぎ取る場合には、表土と盛土が混合しないようにしなければならない。
2. 乙は、表土の剥ぎ取りに当たり、設計図書に定めのない限り 30cm 以上とし、剥ぎ取り面に樹木の根等が残る場合、これを除去しなければならない。
なお、現地状況により除去できない場合には、甲と協議しなければならない。
3. 表土の剥ぎ取り厚さは、甲の検査を受けなければならない。剥ぎ取り後、降雨あるいはそのおそれのある場合は、土砂の流出を起さないよう全面にシートを覆い、水溜りのできないようにしなければならない。

3-4 掘削工

1. 乙は、掘削に当たり、計画基礎地盤標高に達する前にボーリング結果と現地の照合を行う等地盤の確認を行い、地盤改良の可否を検討するものとする。地盤改良等が必要となった場合には、甲と協議するものとする。
2. 乙は、浸透水をその原因により堤防の内外に区分して、誘導処理しなければならない。
3. 乙は、床掘及び袖掘を設計図書に示す深さに掘り下げ、掘削完了後は甲の検査を受けなければならない。ただし、所定の深さ以前に良質堅固な不透水層に遭遇した場合は、甲の指示を受けなければならない。
4. 乙は、床掘及び袖掘には原則として火薬使用を避け、基礎の弛緩を防止し、やむを得ずこ

れを使用する必要があるときは、甲の指示を受けなければならない。

5. 乙は、漏水を絶無にするため、基礎地盤の「凹凸」を取除いてよく清掃し、基礎地盤と築堤土との接触を密にしなければならない。
6. 乙は、掘削に当たり必要な断面を確保するとともに、極力過掘りを避けるものとする。過掘りとなった場合、地山と同等若しくは良質な材料を用いて埋戻すものとするが、その処置について甲の指示によるものとし、これに要する経費は乙の負担により行わなければならない。
7. 乙は、掘削法面の保護について十分工程計画を検討し、風化、変質が生じないようにしなければならない。

3-5 掘削土の流用工

1. 乙は、掘削土を築堤材料へ流用する場合、設計図書によるものとする。
2. 乙は、掘削に先立ち掘削土の盛立材料への流用の適否を検討するために掘削箇所の試掘を行うとともに土質試験を実施し、その試験結果を甲に提出するものとする。なお、試験項目については甲の指示によらなければならない。

3-6 掘削土の搬出工

乙は、第 4 種建設発生土相当以下の泥土等軟弱な土砂を現場外へ搬出する必要がある場合は、甲と協議するものとする。

3-7 堤体盛立工

1. 乙は、盛立材料の試験を設計図書及び甲の指示により行わなければならない。
2. 乙は、鋼土には特に水密性の大きい粘質土を選び、透水係数 $k = 1 \times 10^{-5} \text{cm/sec}$ 以下の土を用いなければならない。
(JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 90%以上の時)
3. 乙は、ランダム材には透水性があり重量の大きい砂質土で $k = 1 \times 10^{-3} \sim 1 \times 10^{-5} \text{cm/sec}$ の土を用いなければならない。
(JIS A 1214 の方法による、最大乾燥密度の 90%以上の時)
4. 乙は、築堤用土の採取及び搬入について、1 日計画盛土量程度とし、降雨、降雪その他の事由により盛土を中断し、搬入土が余る場合、覆い等を施して過湿あるいは乾燥土とならないよう処置しなければならない。
5. 乙は、用土運搬の方法について転圧の障害となる軌道、ポスト等は盛土の現場に設けてはならない。
また、自走式運搬機械で行なう場合も、その進入路等の軌跡が集中して過転圧を起さないように、取付部の拡張、運搬方法について考慮しなければならない。
6. 乙は、築堤用土のまき出し及び転圧に当たり、原則として堤体の縦断方向に施工するものとし、横断方向に層状にならないように注意しなければならない。
ただし、樋管設置のための開削部で作業が困難な場合はこの限りではない。
7. 乙は、盛土基礎地盤について支持力及び均等性に疑問がある場合には甲と協議しなければならない。
8. 乙は、まき出した土を、その日のうちに締固めなければならない。
9. 乙は、床掘部の盛立において、湧水のあるときはこれを排除して十分に締固めなければならない。なお、排除の方法については、甲と協議しなければならない。
10. 乙は、地山及び既成盛立との接触面について特に十分に締固めなければならない。

11. 乙は、盛土作業について最凹部から各層平坦に締固め、設計図書に示す高さまで盛立てるものとする。
12. 乙は、水平な面を施工する場合、平坦な締固め、排水が良好となるよう施工しなければならない。
13. 乙は、タイヤローラまたは振動ローラで転圧作業を行うこととする。
14. 乙は、転圧作業に当たり、ローラの転圧幅は 30cm 以上重複させなければならない。
15. 乙は、地山又は既成盛立との接触面及び地形上ローラの使用が不可能な箇所の転圧に際しては、地山との密着及び既成盛立との均一化を図るよう特に留意し、タンパ、振動ローラ等の小型締固め機械または人力で入念に締固めなければならない。
16. 乙は、法面部の盛土について、規定以上の寸法の広さまでまき出し、十分締固めを行うものとする。また、はみ出した部分は、盛立完了後に切り取り、法面を仕上げるものとする。
17. 乙は、冬期の盛立において、盛立面の氷雪又は凍土、霜柱は必ず除去して転圧しなければならない。また、含水比あるいは締固め密度が所定の値を満足していない場合、その 1 層を破棄あるいは再締固めしなければならない。
18. 乙は、盛土の施工中において、用土の不適若しくは転圧の不十分、又は乙の不注意によって湧水あるいは盛立法面の崩壊があった場合、その部分及びこれに関連する部分の盛立について再施工しなければならない。
19. 乙は、盛立現場の排水を常に十分行い、雨水等が盛立部分に残留しないよう緩勾配をつけて仕上げるものとする。
20. 乙は、転圧後平滑面が出来た場合、次層との密着を図るため、かき起しをしてから次のまき出しを行わなければならない。
21. 乙は、まき出し面が乾燥した場合は散水等により、まき出し材料と同程度の含水比となるよう調整し施工しなければならない。
22. 乙は、まき出し土中に過大な粒径の岩石、不良土及びその他草木根などがある場合、これを除去しなければならない。
23. 乙は、盛土作業中に沈下等の有害な現象があった場合、その処理方法について甲と協議しなければならない。
24. 乙は、岩盤面に盛立する場合、浮石やオーバーハング部を取除き、十分清掃のうえコンタクトクレイを貼り付けた後施工しなければならない。また、コンタクトクレイを施工するときは、その厚さ及び施工方法について甲と協議しなければならない。
25. 乙は、締固めに当たり、過転圧による品質の低下に十分注意し、適正な盛立管理のもとに施工しなければならない。
26. 乙は、締固め後、乾燥によるクラックが発生した場合、その処理範囲について甲と協議し、健全な層まで取除き再施工しなければならない。
27. 乙は、盛立作業ヤード上で締固め機械を急旋回してはならない。
28. 乙は、堤体天端の仕上げについて中央部に余盛りを施工するなど堤体中央部に雨水等がたまらないようにしなければならない。前法肩及び裏法肩については、法面に雨水等の直接流れ込みを防止するように考慮しなければならない。
29. 乙は、施工中において用土の含水比、締固め試験、透水試験等の施工管理試験を行わなければならない。

30.締固め作業の標準機種は次の表のとおりとする。

使 用 機 械		摘 要
機 種	規 格	
振動ローラ	11t ～ 12t	現場による規格検討を行う
振動ローラ	3t ～ 4t	
振動ローラ (ハンドガイド)	0.8t ～ 1.1t	
タンパ	60kg ～ 100 kg	

31.まき出し厚さ、転圧回数の標準は次のとおりとする。ただし、施工前及び土質変更時には現場盛土試験を行い、転圧状況等の確認を行い、甲と協議し決定するものとする。

※仕上がり厚は参考値とする。

	タイヤローラ (3500m/h)			振動ローラ (1000m/h)			タンパ (550m/h)		
	まき出 厚 (m)	仕 上 り 厚 (m)	転圧回 数(回)	まき出 厚(m)	仕 上 り 厚 (m)	転圧回 数(回)	まき出 厚(m)	仕 上 り 厚 (m)	転圧回 数(回)
鋼 土	0.20	0.13	10	0.20	0.13	8	0.10	0.07	8
ランダム	0.30	0.22	8	0.30	0.22	4	0.20	0.14	4

32.施工管理

1. 施工管理は、別紙ため池出来形管理基準（写真撮影）及びため池品質管理基準によるものとし、試験方法、回数、施工管理基準は本仕様書によるものとする。
2. 乙は、土質が変化する時等甲の指示により含水比試験を行わなければならない。許容含水比は最適含水比±5%とする。
3. 試験結果が管理基準値に達しない場合は甲の指示にしたがうものとする。

3-8 コンクリート工

乙は、構造物の施工に当たり、図面に表示している箇所以外で生コンクリートの施工打継ぎを行う場合には、塩ビ製止水板を設置し、漏水がないようにするものとする。

3-9 法面保護工

1. 乙は、設計図書で示された工法で十分転圧し、法面を整形しなければならない。
2. 乙は、曲線部及び局部で波止ブロックの施工ができない箇所は、強度 18N/mm²以上のコンクリートで仕上げなければならない。

3-10 裏法フィルター工

乙は、後法（裏法）フィルターの施工に当たり、1層の仕上がり厚さが 30cm 以下となるようまき出し、タンパ（60～100kg 級）等により締固めなければならない。

3-11 腰ブロック工

乙は、腰ブロック水抜孔の施工に当たり、塩化ビニル管（VU φ50mm）を 3 m²に 1 箇所程度の割合で設置しなければならない。

3-12 ドレーン工

乙は、碎石又は砂によるドレーンについて、1層の仕上り厚さが30cm以下となるようまき出し、振動ローラ又はタンパ（60～100kg級）等により締固めなければならない。

（地盤改良工）

4-1 浅層改良工

1. 乙は、設計図書に示す種類の固化材を使用するものとし、地盤改良の施工方法等を施工計画書に記載し、甲に提出しなければならない。なお、これ以外の改良方法を行なう場合には、甲と協議しなければならない。
2. 乙は、工事着手前に室内配合試験を行い、使用する固化材の添加量について甲の承諾を得なければならない。
3. 乙は、風による飛散公害と作業員の健康障害等を招かないよう必要な措置を講じるとともに天候に留意し、雨天、強風時及び気温5℃以下のときは散布してはならない。また、施工時に異常が発生した場合には、直ちに甲に報告し、指示を受けるものとする。
4. 乙は、バックホウ等により所定の深さまで現地土と固化材を混合・攪拌するものとし、混合状態の良否を観察し、目視による色むらがなくなるまで行うものとし、混合むらが生じた場合は、再度混合する。
5. 乙は、固化材を混合、攪拌し所定の養生期間を経た後、基盤面の仕上げを行うものとする。
6. 乙は、セメント系固化材を使用する場合、浸透流出水のPHを測定するものとする。

なお、測定方法については、甲の指示を受けるものとする。

また、六価クロム溶出試験（及びタンクリーチング試験）を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。試験方法は「セメント及びセメント形固化材を使用した改良土などの六価クロム溶出試験実施要領」によるものとする。

また、土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合は、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

・試験対象工種名及び検体数

仮設工工事用道路工	：	配合設計段階	計上無
		施工後段階	計上無

※配合設計時に検出した場合は監督員と協議するものとする。

（洪水吐工）

5-1 洪水吐工

1. 乙は、堰体に接する部分の掘削に当たり、発破と過掘りを避けて基盤を緩めないようにしなければならない。また、洪水吐の越流堰設置箇所部分の掘削は、正確な断面を保持しなければならない。
2. 乙は、設計図書に掘削土等の流用計画が示されている場合、流用工種との工程調整を図り、所定量を確保しなければならない。
3. 乙は、特に堰体コンクリートと岩盤の密着について留意し、浮石等を除去、清掃のうえモルタルを敷き均して施工しなければならない。
4. 乙は、堤体越流部及び放水路の断面形状等について、設計図書によるものとし、表面に生じた空隙にはコンクリート等を充填し、突起部はすべて削り取って平滑に仕上げなければならない。
5. 乙は、洪水吐周辺の盛土について、土とコンクリートの境界面が水みちとならないように

施工しなければならない。

(取水施設工)

6-1 取水施設工

1. 乙は、底樋管巻立コンクリート及び止水壁周辺の盛土について、境界面が水みちとならないよう、特に十分に締固めなければならない。また、締固め機械によって底樋管等に損傷を与えないよう注意して施工しなければならない。
2. 乙は、底樋管上の盛土の転圧について巻立コンクリートの天端から 60cm までは、重機械によらずにタンパ等で十分に締固めなければならない。
3. 乙は、取水施設設置のための現況堤体開削部について、盛土材料と旧堤体土とのなじみを良くするため境界面のかき起しや散水を行うものとし、堤体開削部より漏水することのないように施工しなければならない。
4. 乙は、掘削において管敷設、接合、基礎工、埋戻し等の作業及び管体の安全を考慮して必要な幅員及び法勾配を確保するものとし、過掘りの発生は極力避けなければならない。継手掘り箇所又はやむを得ず基礎地盤を過掘りした場合、良質な材料を用いて締固め、当初地盤と同等程度に復元しなければならない。
5. 乙は、設計図書に示すとおり取水施設の継手を設置しなければならない。なお、盛土の圧密沈下等により支障を生じないようにしなければならない。
6. 乙は、堤体盛土に支障のないよう工程上余裕を持って底樋管を設置するものとする。
7. 乙は、管路の埋戻し用土に掘削土を流用するとき石礫、有機物等の有害物を含まないようにしなければならない。
8. 乙は、斜樋管にダクタイル鑄鉄管等を用いる場合、管体に損傷を与えないよう丁寧に取り扱い、継手は水密になるよう接合しなければならない。
9. 乙は、底樋管と斜樋管の取付部、斜樋管の取水孔部、施工継手等は漏水のないよう施工しなければならない。
10. 乙は、樋管工事の施工に当たり樋管部巻立コンクリート打設前及び樋管完成時の各段階で甲の承認を受けなければならない。

6-2 ゲート及びバルブ製作工

1. 乙は、製作に先立ち、承諾図書を 2 部（承諾後返却分 1 部を含む）提出するものとする。
2. 乙は、完成図書を 3 部提出するものとする。なお、完成図書等の内容、様式等については甲と打合せのうえ作成するものとする。
3. 乙は、製作に使用するすべての材料について、水圧に耐えうる強度を有し、各種形状寸法は正確に承諾図書に適合したものでなければならない。
4. 乙は、鑄鋼、鑄鉄、砲金等の鑄造品は十分押湯をし、表面平滑であって、鑄房、気泡、その他鑄造上の欠点のないものでなければならない。

6-3 取水ゲート

1. 乙は、扉体の主横桁は設計最大水圧を均等に受ける位置に配置しなければならない。
2. 乙は、シートフレームの設計、製作に当たりコンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全にコンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。
3. 乙は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。
4. 乙は、スルースバルブの巻上機について巻上オネジ及びメネジがその荷重に耐えられる構

造としなければならない。

5. 乙は、オネジの軸受部について開閉が容易に行えるようにベアリングを装置しなければならない。
6. 乙は、巻上機に開閉度を表示する目盛板とハンドルの回転方向による開閉別を区分できる表示板を取付けなければならない。

(土砂吐ゲート)

6-4 土砂吐ゲート

1. 乙は、扉体の主桁は設計最大深を均等に受ける位置に配置し、その水圧に対して十分な強度を有する構造としなければならない。
2. 乙は、シートフレームの設計、製作に当たり、コンクリートにより弾性支持されるレールと考えられるので、扉体に作用する水圧を有効かつ安全に側壁コンクリートへ分布伝達できるようにしなければならない。
3. 乙は、水密部となる扉体及びシートフレームを平削加工したうえ、共摺合せを十分に行い完全なる水密を保たなければならない。
4. 乙は、巻上が円滑に行える構造としなければならない。

(浚渫工)

7-1 浚渫工

1. 乙は、第4種建設発生土相当以下の泥土等軟弱な土砂を現場外へ搬出する必要がある場合は、甲と協議するものとする。
2. 乙は、浚渫に取りかかる前に目視によって現地の浚渫範囲を示した図面を作成するとともに甲の確認を受けなければならない。
3. 乙は、泥土を改良する場合は、その施工方法等を施工計画に記載し、甲に提出しなければならない。

(仮設備工)

8-1 道路工

1. 工事用道路は工程計画、安全性を考慮し施工しなければならない。
2. 工事用道路については、施工計画書に記載しなければならない。

8-2 水替工

1. 仮締切、仮廻し水路は、設計図書によるほか、流水等に対し安全な構造とし適切な維持管理をしなければならない。
2. 工事に起因する汚濁水は、環境保全、自然保護等について十分留意し、必要に応じて流末処理（沈砂池等）をするなど十分に注意しなければならない。
3. 乙は、汚濁水の流出等不測の事態が生じた場合は、甲及び関係者に速やかに連絡し迅速に対処しなければならない。
4. 仮締切内の水替は排水計画に万全を期し常時適切に管理をしなければならない。

8-3 仮排水工の管理

1. 仮排水工は、乙の責任において適切な維持管理をしなければならない。
2. 仮排水工の計画流量を超える場合の処置については、予め甲と協議するものとし、緊急時に備えなければならない。

(既設底樋閉塞工)

9-1 閉塞工

この工事に使用する閉塞グラウトの使用区分は次表のとおりとする。

1m3 当り配合量

表 示	普通ポルランドセメント JIS R 5210 (25kg/袋)	ベントナイト (#200 25kg/袋)	アルミ粉	水	備 考
数 量	625kg	125kg	100g	750ℓ	

※参考強度 $\sigma_{28}=1.5\text{N/mm}^2$

9-2 実施(注入)数量の確認

施工に際しては、乙は設計数量に変更が生じる場合は、甲に実施数量の確認を求め協議することとする。

ため池 品質管理基準

種 別	重 要 度	試 験 (測 定) 項 目	管 理 基 準			
			試 験 (測 定) 方 法	規 格 値	試 験 (測 定) 基 準	摘 要
材 料 試 験	必 須	土の粒度試験	JIS A 1204		原則として、当初及び土質の変化時、 ただし規模等により回数は別途表示。	※必須の試験(測定)項目は必 ず実施すること
		土の突固め試験	JIS A 1210			
		土の密度試験	JIS A 1202			
		土の透水試験	JIS A 1218			
		土の含水比試験	JIS A 1203			
	そ の 他	土の一軸試験	JIS A 1216		当初設計に比べ重大な変化が認めら れる場合、発注者と協議してから実施 のこと	※その他の試験(測定)項目は 必要に応じて実施すること
		土の三軸圧縮試験	土木試験基準			
		土の圧密試験	JIS A 1217			
		土のセン断試験	土木試験基準			
		土の液性限界試験	JIS A 1205			
		土の塑性限界試験	JIS A 1206			
施 工 試 験	必 須	土の含水比試験	JIS A 1203	施工含水比は、標準突き固め最適含水比の ±5.0%の範囲にあること。		※その他の試験(測定)項目は 必要に応じて実施すること
		現場密度試験	JIS A 1214	D値95%以上	遮水性ゾーン： 盛土1m毎、延長50m毎に1回、 1回当り3個 ランダムゾーン： 盛土2m毎、延長50m毎に1回、 1回当り3個	

ため池 出来形管理基準(写真撮影)

種 類	細 目	撮 影 箇 所	撮 影 頻 度	摘 要
堤体工		盛土幅員, まき出し厚, 転圧, 法長, 法面(芝)法勾配, 排水側溝その他必要な箇所を撮影する	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	
洪水吐工		床掘, 基礎, 幅, 高さ, 厚さ, 配筋, 打継目, パイプ敷設, 外観検査, ジョイント関係, その他必要箇所を撮影する。	概ね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	
樋管工		床掘, 基礎, 幅, 高さ, 厚さ, 配筋, 打継目, その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね10mにつき1箇所の割合で撮影する。箇所単位の構造物については適宜撮影する。	
ボーリング グラウト工		.	各孔について撮影する。	
	掘削穿孔	施工状況	必要箇所	
	検尺	ロッド長残尺高	全数	
	注入状況	注入圧力	必要箇所	
	注入材料	搬入時及び空袋写真	必要箇所	
工事用道路工 (盛土)		幅, 法長, 法勾配, その他必要な箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記に満たない場合は2箇所撮影する。	
地盤改良 (浅層混合)		改良前に改良深の確認状況その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。	
浚渫工		浚渫後に掘削幅員, 深さ, 法長, 法勾配, その他必要箇所を撮影する。	施工延長概ね20～40mにつき1箇所の割合で撮影する。	

ため池 段階確認事項

地盤支持力の確認		
		洪水吐
		土砂吐
		底樋
		※キャスポルにて支持力を確認
準備工		丁張り確認
盛土工		現場密度試験
洪水吐・土砂吐・底樋		作業土工 床堀完了時
		本体工 鉄筋組立完了時
準備工		丁張り確認
堤体基礎地盤面		透水試験 $1 \times 10^{-4} \text{cm/sec}$ 以下を確認

構造物 許容支持力の確認値

工 種			常 時	地 震 時	備 考
底 樋 工			別途, 指示するものとする	—	
土 砂 吐 工			別途, 指示するものとする	—	

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.07.01(0)		
諸経費体系	9 公共(011015 ~)		
	当世代		前世代
諸経費工種 工事費端数区分 週休補正区分 施工地域・工事場所区分 契約保証費区分 前払支出割合区分 軽油区分 復興補正区分 I C T補正区分	21 ため池工事 01 千円未満切捨 00 補正なし 05 中山間地域 01 金銭的保証(0.04%) 00 補正なし 00 一般軽油使用 00 補正なし 00 補正なし		

本工事費

内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										
ため池									レベル1	
	1			式						
ため池工									レベル2	
	1			式						
掘削工									レベル3	
	1			式						
土砂掘削 【土質】									レベル4	
				m3						
表土剥取 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 処分土	58			m3					00	単第 0 -0001号表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 軟弱土・処分土	7			m3					00	単第 0 -0002号表
掘削 土砂 片切掘削 段切り 鋼土（現況堤体土）	8			m3					00	単第 0 -0003号表
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満 鋼土（現況堤体土）	67			m3					00	単第 0 -0002号表

本工事費

内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り 土砂 標準 土留方式無し 障害無し 鋼土（現況堤体鋼土）・砂質土	520	m3				00 単第 0 -0004号表
流用土盛土	1	式				レベル 3
盛土・埋戻 【土質】		m3				レベル 4
流用土盛土A 砂質土 W<1.0 振動ローラ0.8～1.1t	3	m3				00 単第 0 -0005号表
流用土盛土B 鋼土（現況堤体土） 1.0 W<2.5 振動ローラ3～4t	30	m3				00 単第 0 -0009号表
流用土盛土B ランダム材 1.0 W<2.5 振動ローラ3～4t	18	m3				00 単第 0 -0012号表
流用土盛土E ランダム材 構造物周辺 タンパ60～100kg	6	m3				00 単第 0 -0013号表
路床盛土D 砂質土 4.0<W 振動ローラ11～12t	130	m3				00 単第 0 -0017号表
流用土盛土E 砂質土 構造物周辺 タンパ60～100kg	6	m3				00 単第 0 -0019号表

本工事費

内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
流用土埋戻A 鋼土（現況堤体土） W<1.0 振動ローラ0.8～1.1t	30		m3						00	単第 0 -0020号表
流用土埋戻B 鋼土（現況堤体土） 1.0 W<2.5 振動ローラ3～4t	67		m3						00	単第 0 -0021号表
流用土埋戻B 砂質土 1.0 W<2.5 振動ローラ3～4t	27		m3						00	単第 0 -0022号表
流用土埋戻B ランダム材 1.0 W<2.5 振動ローラ3～4t	47		m3						00	単第 0 -0023号表
流用土埋戻D 鋼土 4.0<W 振動ローラ11～12t	13		m3						00	単第 0 -0024号表
流用土埋戻E 鋼土（現況堤体土）構造物周辺 タンパ60～100kg	61		m3						00	単第 0 -0026号表
流用土埋戻E ランダム材 構造物周辺 タンパ60～100kg	18		m3						00	単第 0 -0027号表
流用土埋戻E 砂質土 構造物周辺 タンパ60～100kg	18		m3						00	単第 0 -0028号表
残土盛土 鋼土（現況堤体土） W<1.0 振動ローラ0.8～1.1t	52		m3						00	単第 0 -0029号表

本工事費

内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
整形工									レベル 3	
1				式					レベル 4	
基面整正工 【添加剤区分】				m2					00	
基面整正 鋼土・ランダム材	130			m2					単第 0 -0030号表	
法面整形 【土質】				m2					レベル 4	
法面整形 盛土部 法面締固め無し 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土 鋼土・ランダム材	220			m2					00	
単第 0 -0031号表										
構造物取壊し工									レベル 3	
1				式					レベル 4	
舗装版切断 【構造物種別】				m					00	
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下 t=0.05m	9			m					単第 0 -0032号表	
舗装版取壊し 【舗装種別】				m3					レベル 4	

本工事費

内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下 t=0.05m	100		m2						00	単第 0 -0033号表
石積取壊し			m3							レベル 4
石積類機械とりこわし 空積 控 2 0 cm以上 6 0 cm未満 とりこわし t=0.3m	2.2		m2						00	単第 0 -0034号表
石積類機械とりこわし 空積 控 2 0 cm以上 6 0 cm未満 破碎材集積 t=0.3m	2.2		m2						00	単第 0 -0036号表
コンクリート構造物取壊し 【殻種別】			m3							レベル 4
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	27		m3						00	単第 0 -0037号表
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	3.6		m3						00	単第 0 -0038号表
処分品撤去工 【施工区分】			式							レベル 4
高密度ポリエチレン管機械撤去工 φ800	16		m						00	単第 0 -0039号表

本工事費

内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	0.4	t			00
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					00
ヒューム管	2.2	m3			単第 0 -0038号表
硬質塩化ビニル管撤去工 φ200					00
	3.3	m			単第 0 -0041号表
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A,B,C(支柱間隔2m)	10	m			単第 0 -0043号表
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊	0.2	t			00
作業残土処理 【殻種別】		m3			レベル4
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.5km以下(5.5km超) 表土剥取	58	m3			単第 0 -0044号表
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超) 泥土掘削	7	m3			単第 0 -0045号表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離11.5km以下(6.5km超) 舗装版破碎	5	m3			単第 0 -0046号表

本工事費

内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
石積殻運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離6.5km以下(5.5km超) 石積類機械とりこわし	0.7	m3							00	単第 0 -0047号表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超) 構造物とりこわし(無筋)	27	m3							00	単第 0 -0048号表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超) 構造物とりこわし(有筋)	3.6	m3							00	単第 0 -0049号表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.4	t							00	
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超) ヒューム管	2.2	m3							00	単第 0 -0049号表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)	0.03	t							00	
処分費対象額調整(直接工事費計上分) 「処分費等」の取扱いによる										
処分費 表土									00	
表土剥取	58	m3								
処分費 粘性土									00	
泥土泥土	7	m3								

本工事費

内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
殻処分費 AS殻									00	
舗装版破碎 石積殻処分費	12		t						00	
	0.7		m3							
殻処分費 Co殻（無筋）									00	
構造物とりこわし（無筋）	64		t							
殻処分費 Co殻（有筋）									00	
構造物とりこわし（有筋）	9.0		t							
処分費 廃プラ									00	
プレスト管	0.4		t							
殻処分費 Co殻（有筋）									00	
ヒューム管	5.5		t							
処分費 廃プラ									00	
	0.03		t							
スクラップ処理 【殻種別】									レベル4	
			t							
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離20.0km以下(17.0km超)	0.2		t						00	

本工事費

内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計経費（技術管理費計上分） 共通仮設費[対象外]，現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					
スクラップ 鉄屑(ヘビーH1) 厚さ6mm以上,幅高500mm以下，長さ1,200mm以 下;土木設計資材単価T100E007準用	0.2	t			00
法面植生工					レベル3
	1	式			
種子散布 【材料種別】		m2			レベル4
種子散布工 [規]100m2以上250m2未満					00
	140	m2			単第 0 -0050号表
侵食防止工					レベル3
	1	式			
コンクリートブロック張 【材料種別】		m2			レベル4
コンクリートブロック張工 目地モルタルを使用しない場合 ブロック厚さ 12cm					00
	56	m2			単第 0 -0051号表
裏込工(ブロック張) ブロック張り 再生クラッシャーラン (R C - 4 0)					00
	8	m3			単第 0 -0053号表

本工事費

内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	天端コンクリート 張ブロック									00	
		8		m						単第 0 -0054号表	
	基礎コンクリート 張ブロック									00	
		18		m						単第 0 -0057号表	
擁壁工										レベル 3	
		1			式						
コンクリートブロック積み 【構造種別】										レベル 4	
					m2						
コンクリートブロック積工(練積) 滑面ブロック 18-8-40BB										00	
		8		m2						単第 0 -0059号表	
裏込砕石 間知・平・連節・緑化ブロック C-40										00	
		3		m3						単第 0 -0060号表	
防砂シート設置工										00	
		11		m2						単第 0 -0061号表	
基礎コンクリート 腰積ブロック										00	
		3.8		m						単第 0 -0062号表	
洪水吐工										レベル 2	
		1			式						

本工事費

内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
躯体構造物工						レベル3
	1		式			
接近水路 【規格】			m			レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設	40		m3			00 単第 0 -0063号表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	109		m2			00 単第 0 -0064号表
均しコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	3.4		m3			00 単第 0 -0065号表
均しコン型枠 一般型枠 均しコンクリート	2.1		m2			00 単第 0 -0066号表
鉄筋工 SD295 D13 一般構造物 [規]10t未満	1.02		t			00 単第 0 -0067号表
鉄筋工 SD295 D16 一般構造物 [規]10t未満	0.412		t			00 単第 0 -0068号表
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm	3		m2			00 単第 0 -0056号表

本工事費

内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
水膨張パッキン 620									00	
放水路・摺付水路 【規格】	6.7		m						レベル4	
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設	65		m3						00	
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	155		m2						単第 0 -0063号表 00	
均しコンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	5.6		m3						単第 0 -0064号表 00	
均しコン型枠 一般型枠 均しコンクリート	4.5		m2						単第 0 -0065号表 00	
鉄筋工 SD295 D13 一般構造物 [規]10t未満	2.52		t						単第 0 -0066号表 00	
目地板 1工事当り使用量30m2未満 瀝青繊維質目地板 t=10mm	10		m2						単第 0 -0067号表 00	
水膨張パッキン 620	5.5		m						単第 0 -0056号表 00	

本工事費

内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダウエルバー取付 異形棒鋼 D 1 6	34		本			00 単第 0 -0069号表
止水板 CF 300*7	10		m			00 単第 0 -0070号表
サイド・アンダードレーン工（サイドドレーン） クラッシャーラン（C - 4 0）	14.3		m			00 単第 0 -0071号表
ウィープホール取付 型枠及び鉄筋 側壁 5 0 mm 集水	5		箇所			00 単第 0 -0072号表
越流堰 無筋構造物 $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$	1		式			00 単第 0 -0073号表
操作台 鉄筋構造物 $\sigma_{ck} = 21\text{N/mm}^2$	1		式			00 単第 0 -0076号表
階段工 無筋構造物 $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$	1		式			00 単第 0 -0079号表
1号止壁 無筋構造物 $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$	1		式			00 単第 0 -0081号表
2号止壁 無筋構造物 $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$	1		式			00 単第 0 -0082号表

本工事費

内訳表

頁0 -0015

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	ボックスカルバート工 B2000×H1000 L=12.0m 二次製品									00	
		1		式						単第 0 -0084号表	
	止水壁 無筋構造物 σ ck = 18N/mm2									00	
		1		式						単第 0 -0088号表	
	手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場									00	
		25		掛	m2					単第 0 -0089号表	
取水工										レベル 2	
		1		式							
取水施設工										レベル 3	
		1		式							
取水工 【規格】										レベル 4	
				式							
	硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm 施工規模 20m未満 市場単価 [機・労・材]									00	
		1.7		m						単第 0 -0090号表	
	硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 200mm 施工規模 20m未満 市場単価 [機・労・材]									00	
		3.3		m						単第 0 -0091号表	
	堰板 ラワン合板 t-3.0									00	
		0.2		m2							

本工事費

内訳表

頁0 -0016

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装工										レベル 2	
		1			式						
アスファルト舗装工										レベル 3	
		1			式						
表層										レベル 4	
					m2						
表層(車道・路肩部)										00	
平均幅員3.0m超											
1層当り平均仕上厚50mm		100			m2					単第 0 -0092号表	
路盤工										レベル 4	
					m2						
上層路盤(車道・路肩部)										00	
RM-30											
全仕上り厚100mm 1層施工		100			m2					単第 0 -0093号表	
オーバーレイ										レベル 4	
【施工区分】					m2						
オーバーレイ										00	
平均幅員3.0m超											
1層当り平均仕上厚6mm		55			m2					単第 0 -0094号表	
アスカーブ										00	
断面積215cm2以上235cm2未満											
再生細粒度アスファルト混合物(13)		18			m					単第 0 -0095号表	

本工事費

内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
防護柵工									レベル 2	
	1			式						
転落防止柵工									レベル 3	
	1			式						
ガードレール									レベル 4	
				m3						
防護柵設置工(Gr) 土中建込 - 塗装品_Gr-C-4E [規]21m未満	7.8			m					00	
転落防止柵									単第 0 -0096号表 レベル 4	
				m3						
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	27			m					00	
									単第 0 -0097号表	
防護柵等の支柱削孔 φ 1 5 0 mm以下	16			本					00	
									単第 0 -0098号表	
チェーン 3本掛け SUS製 5mm	2.4			m					00	
仮設工									レベル 1	
	1			式						

本工事費

内訳表

頁0 -0018

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
仮設工										レベル 2	
		1		式							
工事用道路工										レベル 3	
		1		式							
敷砂利										レベル 4	
				m2							
砂利舗装工 敷均し幅2.5m以上 バックホウ敷均し 不陸整正 + 敷均し		38		m2						00	
仮水路工										単第 0 -0100号表 レベル 3	
		1		式							
仮排水管										レベル 4	
				m							
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm		40		m						00	
										単第 0 -0102号表	
現場発生品及び支給品積込み・荷卸し クレーン装置付BT2t級2.9t吊		0.2		t						00	
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離11.0km以下(8.5km超)		0.2		t						00	

本工事費

内訳表

頁0 -0019

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分費対象額調整（直接工事費計上分） 「処分費等」の取扱いによる						
処分費 廃プラ						00
直接工事費		0.2	t			
共通仮設費率 分額						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費						
工事原価						
一般管理費率 分						

本工事費

内訳表

頁0 -0020

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
契約保証費						
一般管理費計						
* * 工事価格計 * *						
* * 消費税相当額計 * *						
* * 請負工事費計 * *						

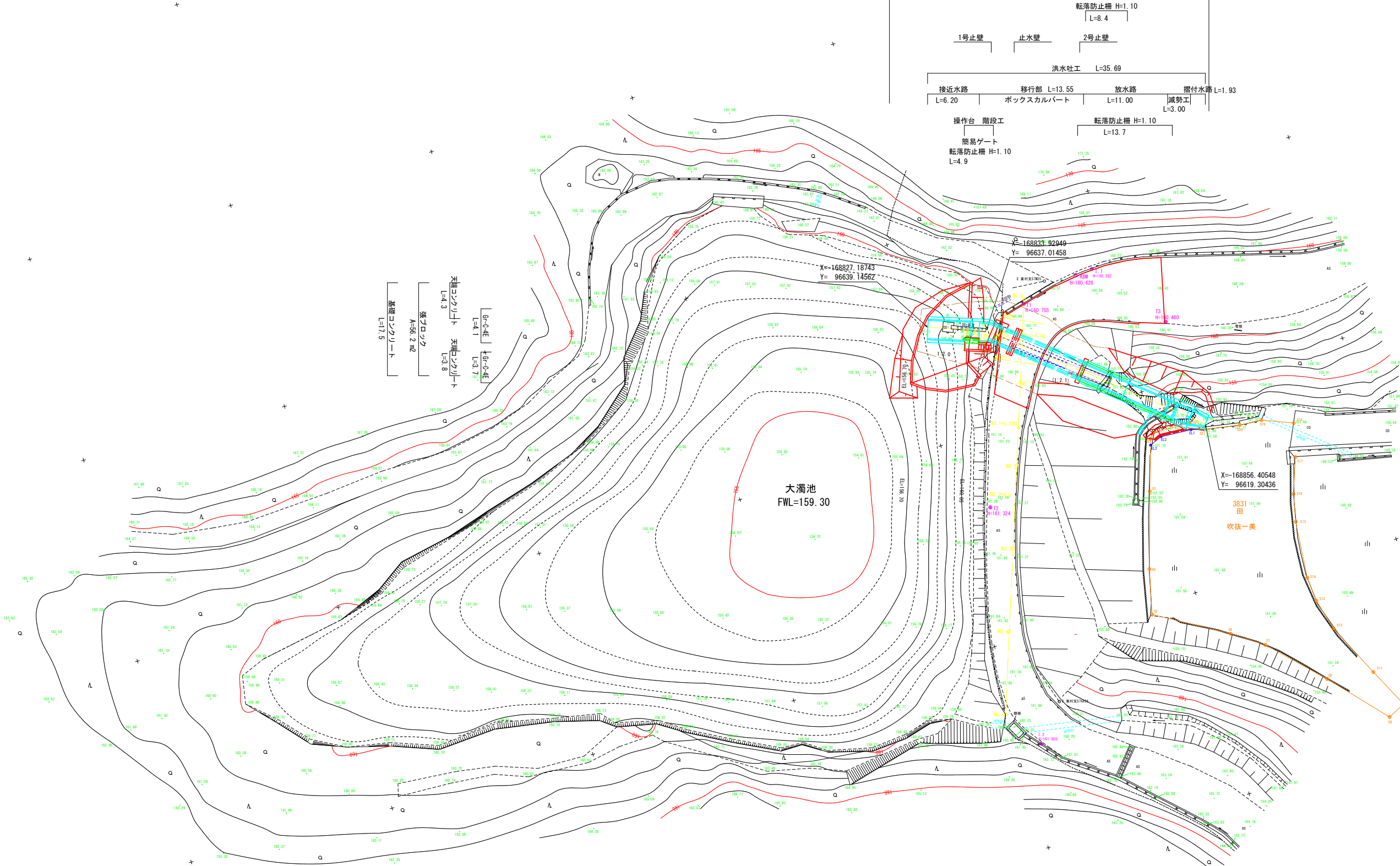
尾道市

工事箇所

図面番号	1 24	縮尺	図示
工種			
工事名	大濁池改良工事		
工事位置	福山市 東村町 地内		
工事年度	令和 7 年 度		
福 山 市			

平面図

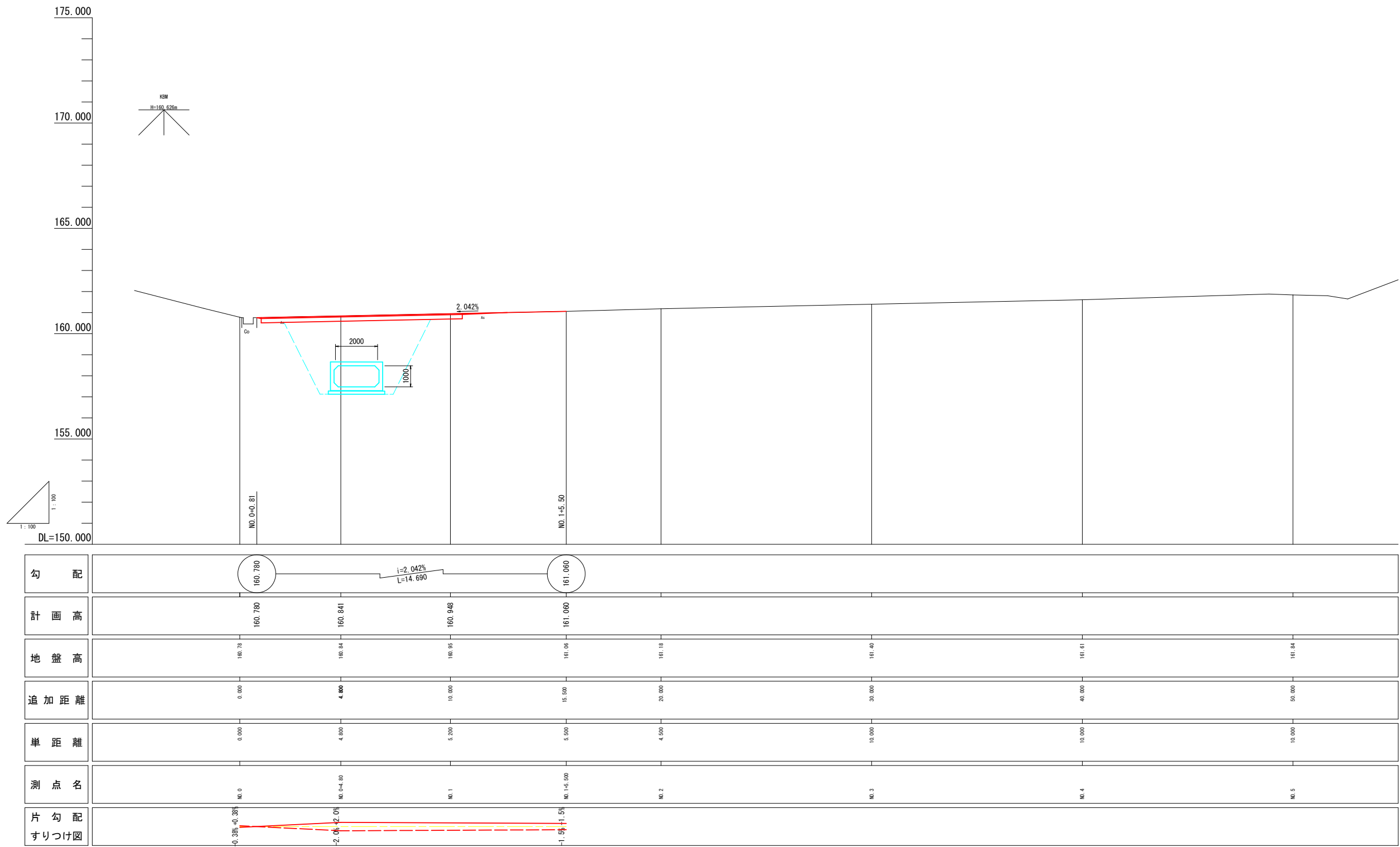
S=1:250



大濁池

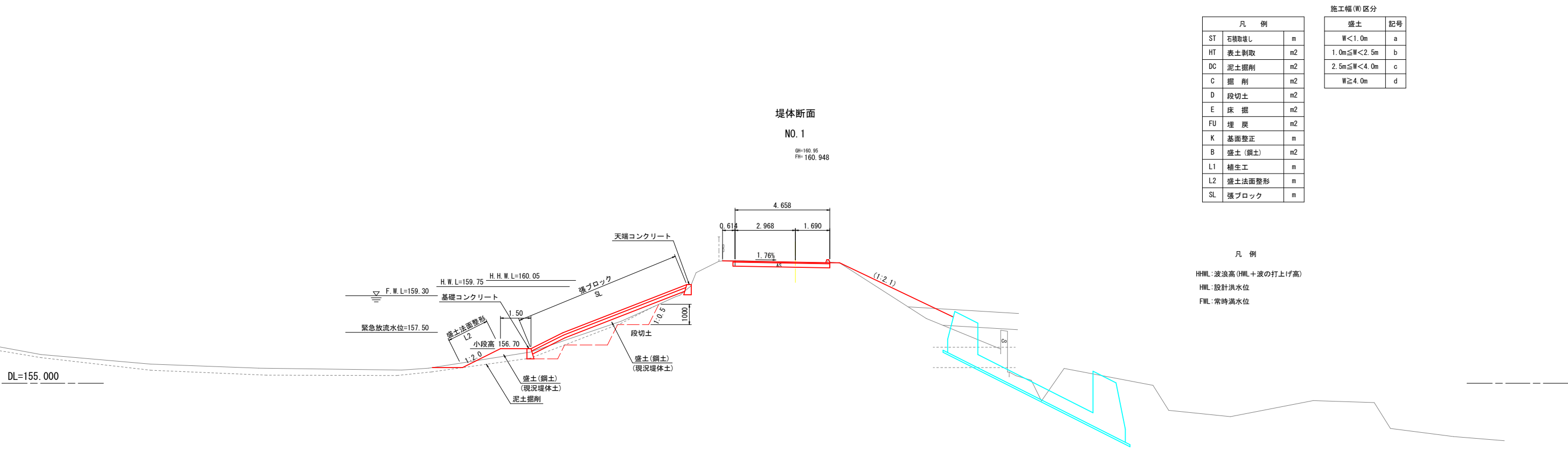
図面の名称		図面番号
平面図		2
縮尺 S=1:250		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

堤体工縦断面図



大濁池		図面番号
図面の名称	堤体工縦断面図	3
縮尺	V=1:100, H=1:100	24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

標準断面図 S=1:100

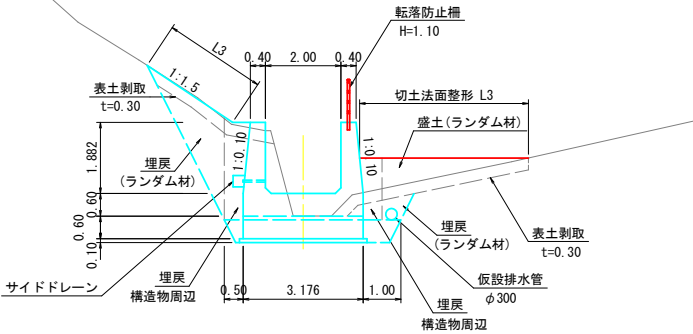
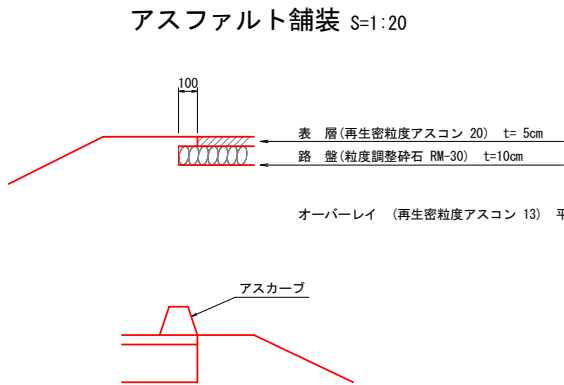


凡 例		
ST	石積取返し	m
HT	表土剥取	m2
DC	泥土掘削	m2
C	掘 削	m2
D	段切土	m2
E	床 掘	m2
FU	埋 戻	m2
K	基面整正	m
B	盛土 (鋼土)	m2
L1	槽生工	m
L2	盛土法面整形	m
SL	張ブロック	m

施工幅 (W) 区分	
盛土	記号
W<1.0m	a
1.0m≦W<2.5m	b
2.5m≦W<4.0m	c
W≧4.0m	d

凡 例
HML:波浪高 (HML+波の打上げ高)
HWL:設計洪水位
FWL:常時満水位

洪水吐断面
NO. 0+25.253



凡 例		
HT	表土剥取	m2
E	床 掘	m2
FU1	埋戻 (鋼土)	m2
FU2	埋戻 (ランダム材)	m2
FU3	埋戻 (砂質土)	m2
K	基面整正	m
B1	盛土 (鋼土)	m2
B2	盛土 (ランダム材)	m2
B3	盛土 (砂質土)	m2
B4	路床盛土	m2
L2	盛土法面整形	m
L3	切土法面整形	m

施工幅 (W) 区分	
盛土・埋戻	記号
W<1.0m	a
1.0m≦W<2.5m	b
2.5m≦W<4.0m	c
W≧4.0m	d
構造物周辺 0.5m	e

特記) 堤体盛土の仕様を以下に示す。

鋼 土 : 堤体の遮水を目的とした遮水性盛土
(施工後の透水係数 (K1) は 5.0×10^{-5} cm/s 以下を原則とし、 $K1 \leq 1.0 \times 10^{-5}$ cm/s を目標値とする。)
有効応力 $C' = 7.7$ kN/m²以上の土とする。

堤体 (鋼土) 掘削残土は底樋土管部を避けて前法洗堀部に盛土とする。

注意事項

締面め密度95%以上で埋戻すこと

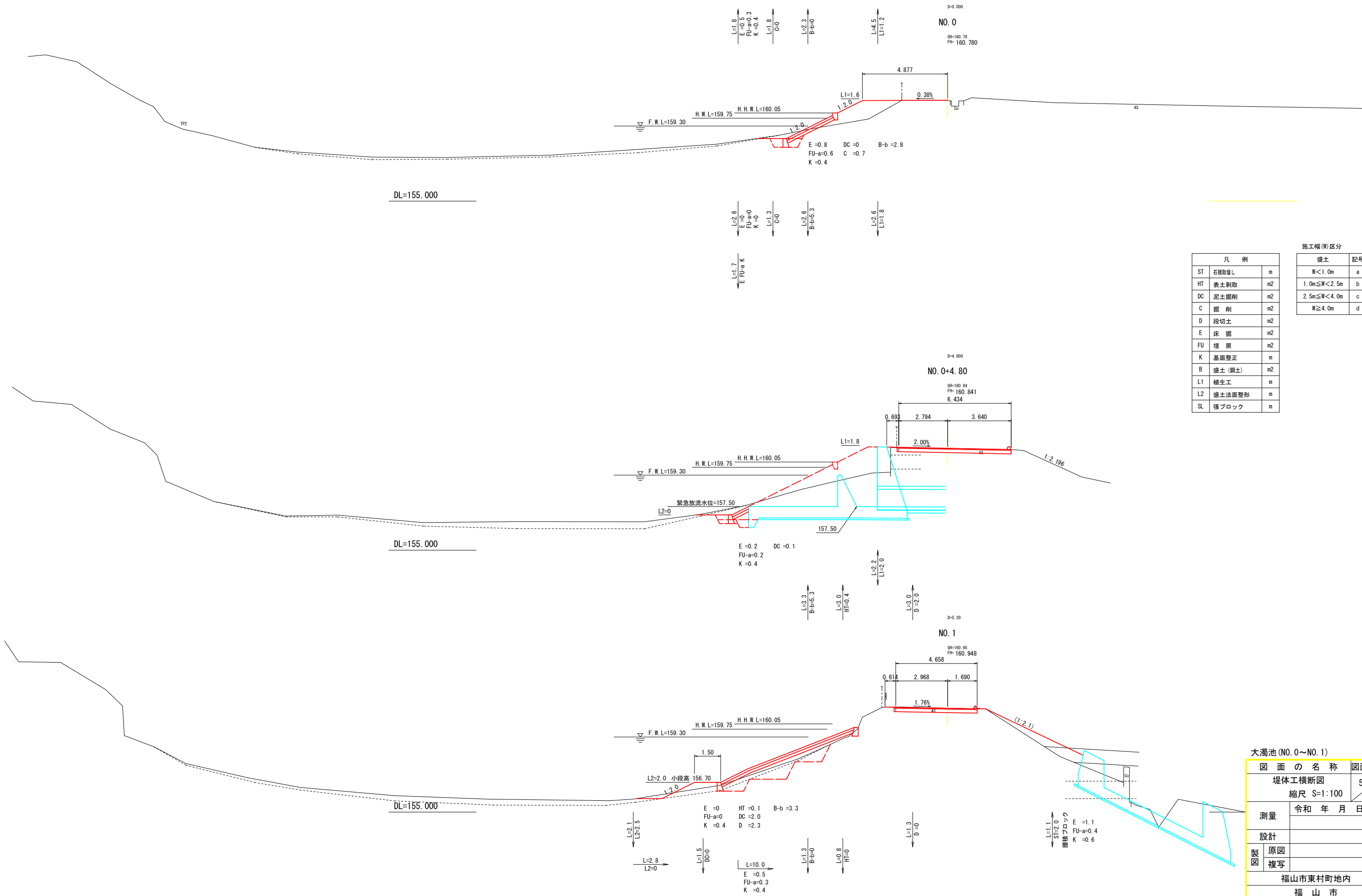
現場支持力の確認値
洪水吐=51.359 kN/m²以上
ボックスカルバート呑口部=105.300 kN/m²以上
ボックスカルバート=73.800 kN/m²以上
線積ブロック擁壁=53.178 kN/m²以上

平面図より洪水吐断面を作成

大濁池

図 面 の 名 称		図面番号
標準断面図 縮尺 図示		4 24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

堤体工横断図 S=1:100

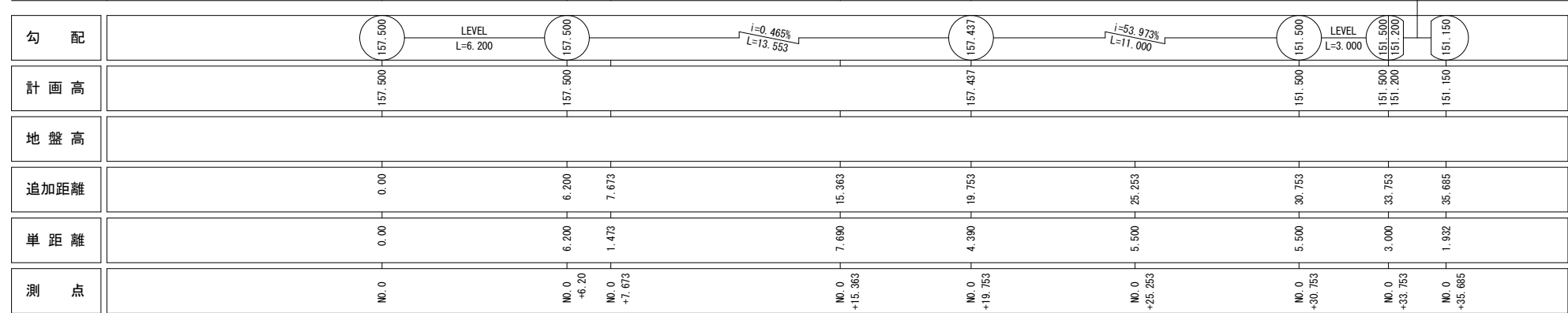


凡 例		
ST	石積取壊し	m
HT	表土剥取	m2
DC	泥土掘削	m2
C	掘 削	m2
D	段切土	m2
E	床 掘	m2
FU	埋 戻	m2
K	基面整正	m
B	盛土 (鋼土)	m2
L1	植生工	m
L2	盛土法面整形	m
SL	張ブロック	m

施工幅 (W) 区分		記号
盛土	W < 1.0m	a
	1.0m ≤ W < 2.5m	b
	2.5m ≤ W < 4.0m	c
	W ≥ 4.0m	d

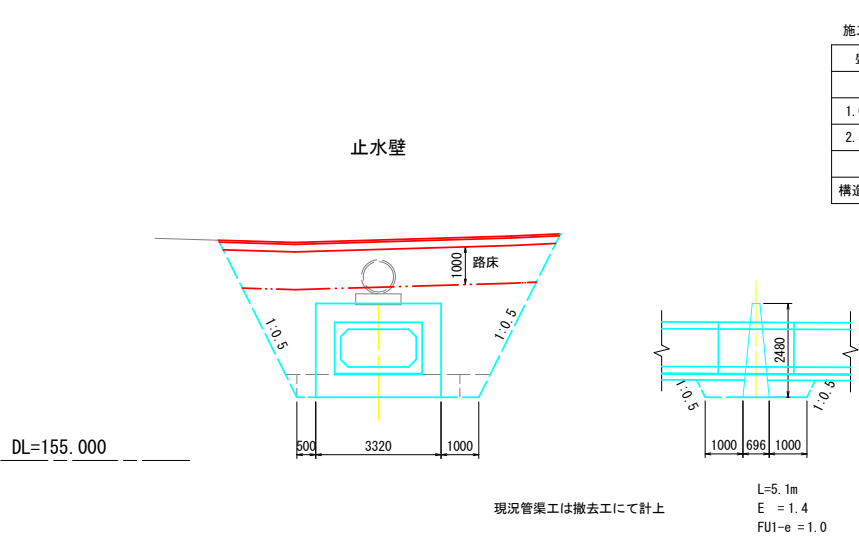
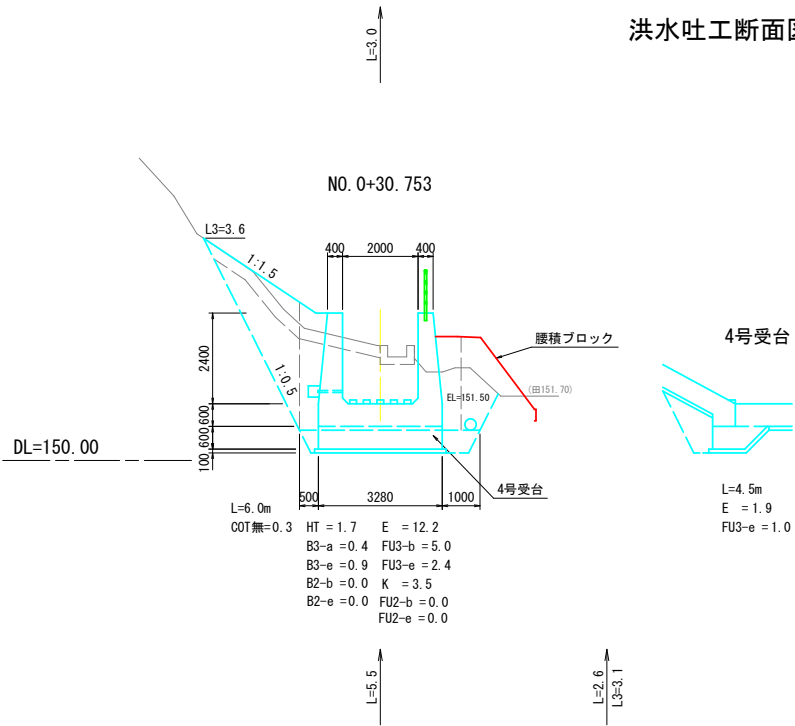
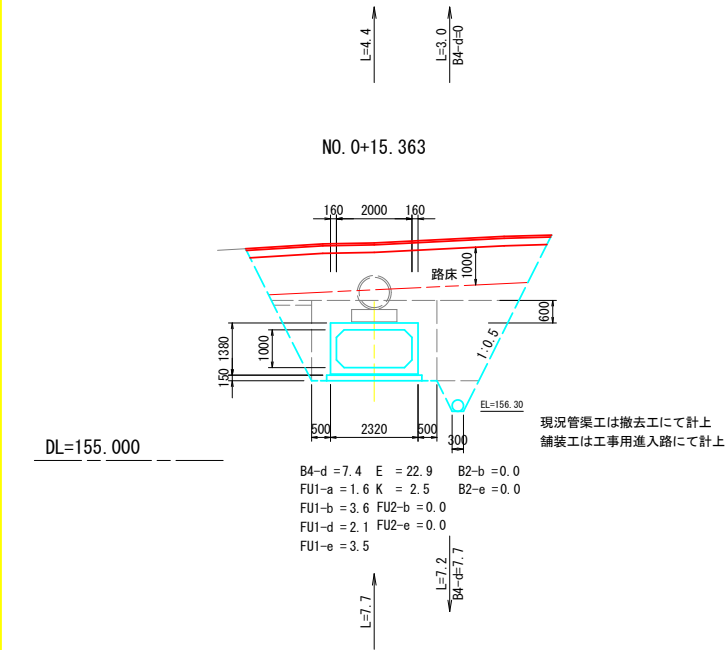
大濁池 (NO. 0 ~ NO. 1)

図 面 の 名 称		図面番号
堤体工横断図		5
縮尺 S=1:100		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		



大濁池			
図 面 の 名 称		図面番号	
洪水吐工縦断図 縮尺 S=1:100		6 24	
測量		令和 年 月 日終了	
設計			
製図	原図		
	複写		
福山市東村町地内			
福 山 市			

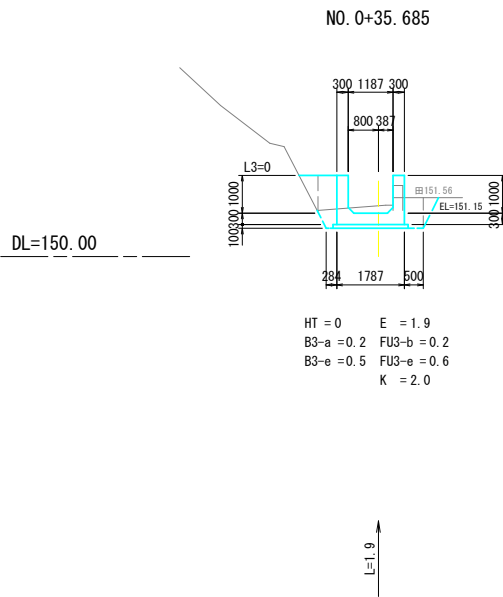
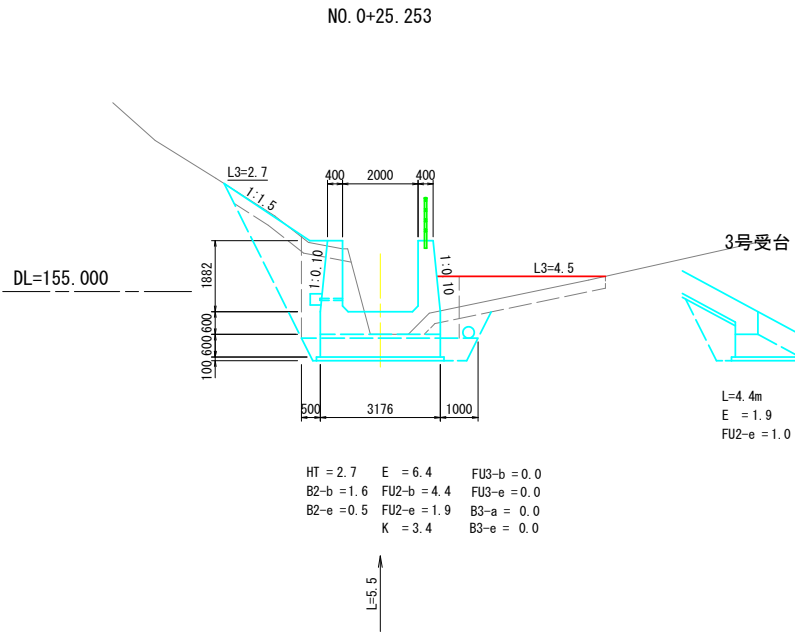
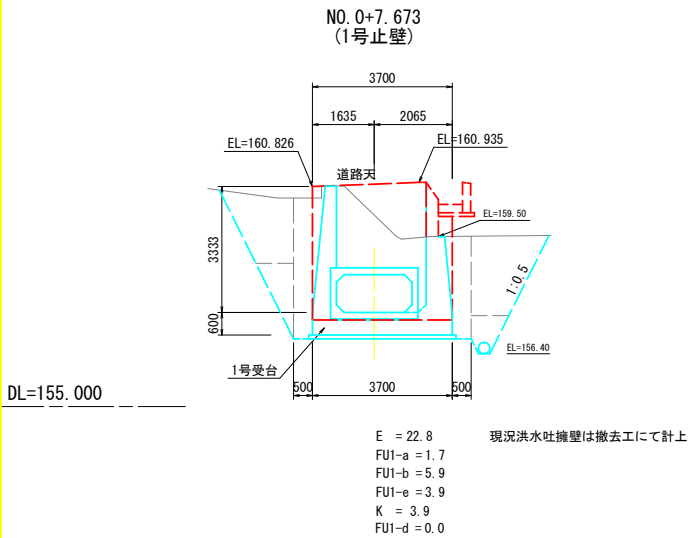
洪水吐工断面図 S=1:100



施工幅(W)区分

盛土・埋戻	記号
W<1.0m	a
1.0m≦W<2.5m	b
2.5m≦W<4.0m	c
W≧4.0m	d
構造物周辺 0.5m	e

凡 例		
COT無	コンクリート取壊し	m2
HT	表土剥取	m2
E	床 掘	m2
FU1	埋戻(鋼土)	m2
FU2	埋戻(ランダム材)	m2
FU3	埋戻(砂質土)	m2
K	基面整正	m
B1	盛土(鋼土)	m2
B2	盛土(ランダム材)	m2
B3	盛土(砂質土)	m2
B4	路床盛土	m2
L2	盛土法面整形	m
L3	切土法面整形	m



注意事項

締固め密度95%以上で埋戻すこと

現場支持力の確認値

洪水吐=51.359 kN/m2以上

縁積ブロック擁壁=53.178 kN/m2以上

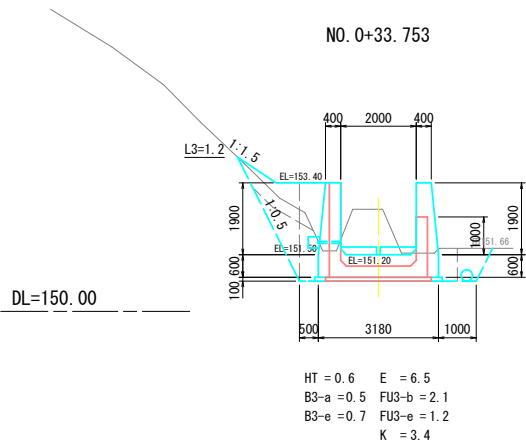
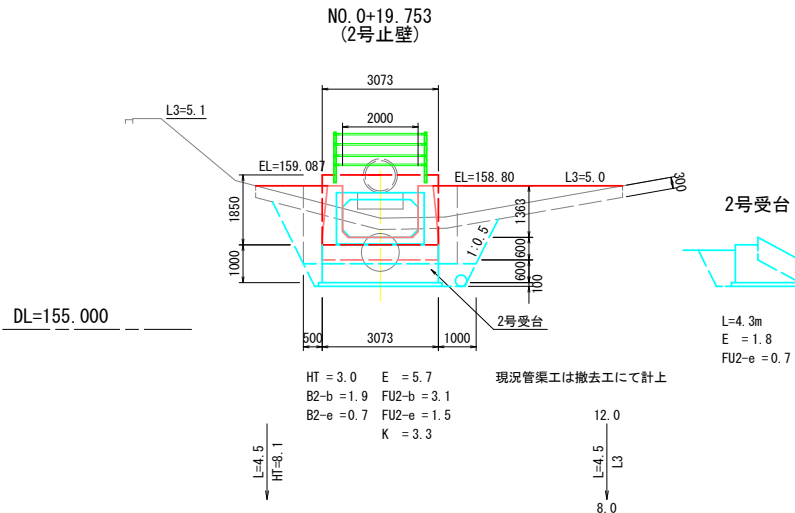
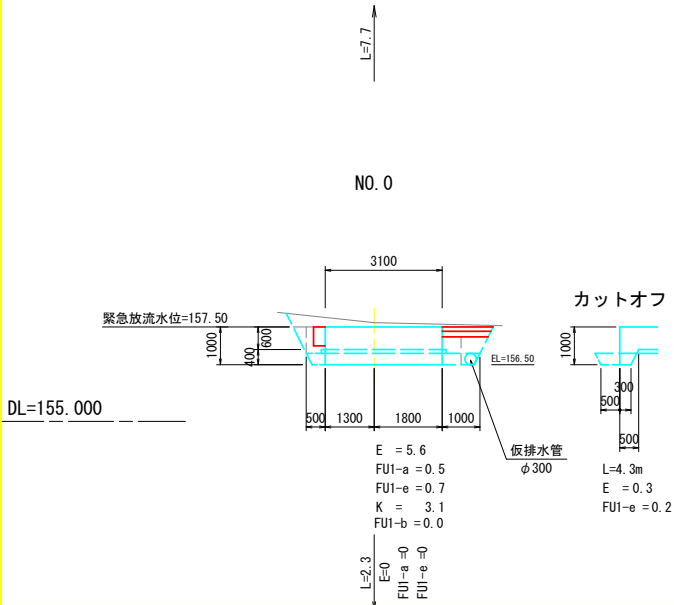
埋戻について

右岸側

ボックスカルバート吐口2号止壁までの法面勾配は1:2.1の計画である。
縁積ブロック高に向けて現況法面勾配となるよう埋め戻す計画である。

左岸側

放水路天から堤体横断方向で堤体改修法面勾配1:2.1の計画である。

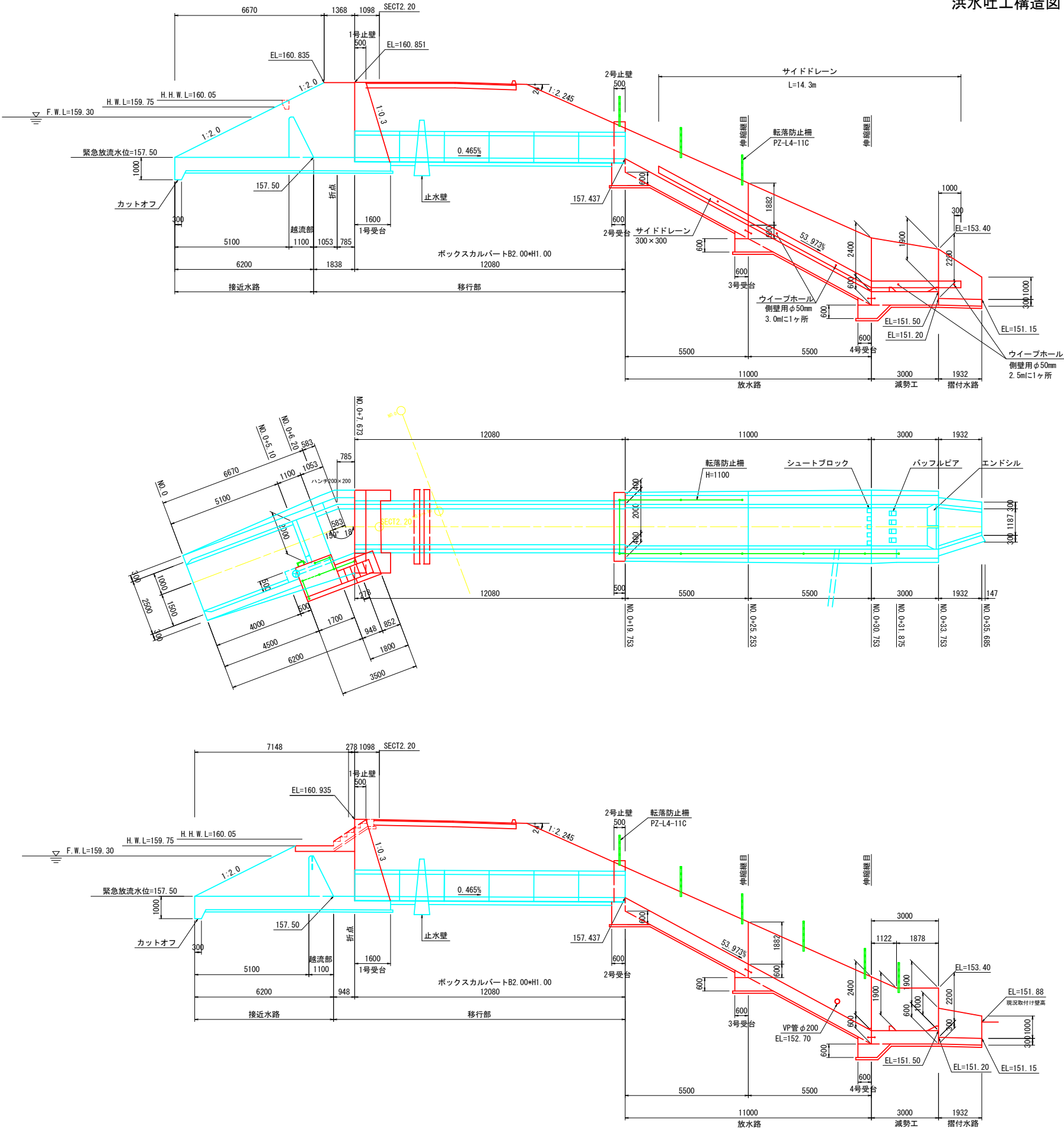


平面図より断面を作成

大濁池

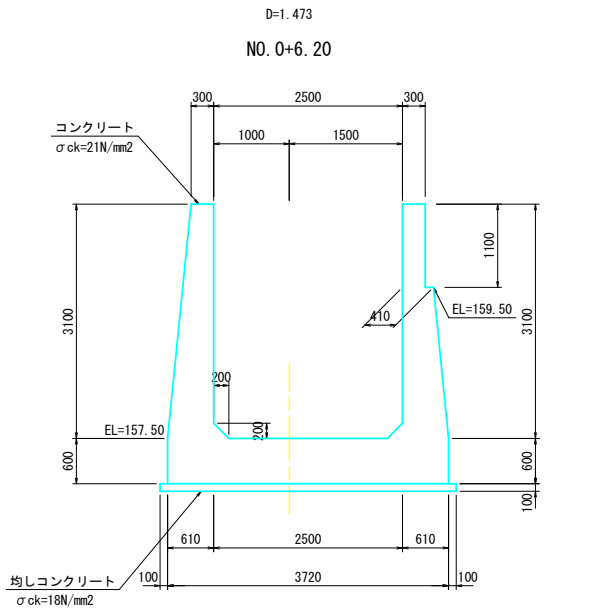
図 面 の 名 称		図面番号
洪水吐工断面図		7
縮尺 S=1:100		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

洪水吐工構造図 S=1:100



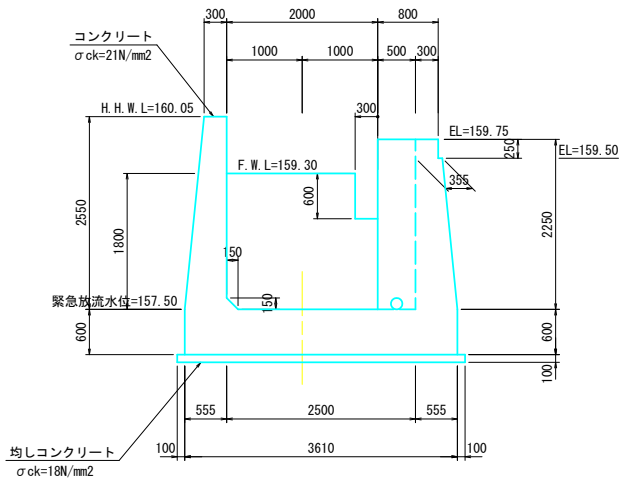
大濁池	
図面の名称	図面番号
洪水吐工構造図	8
縮尺 S=1:100	24
測量	令和 年 月 日 終了
設計	
製図	原図
複写	
福山市東村町地内	
福 山 市	

洪水吐工構造図 1 S=1:50



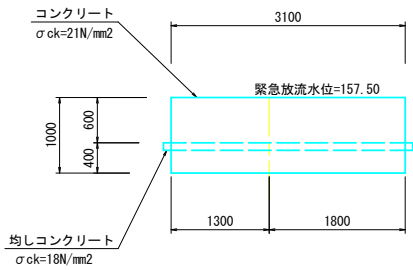
CO = 4.66
PL = 11.13
CO' = 0.39
PL' = 0.20

D=1.100
NO.0+5.10



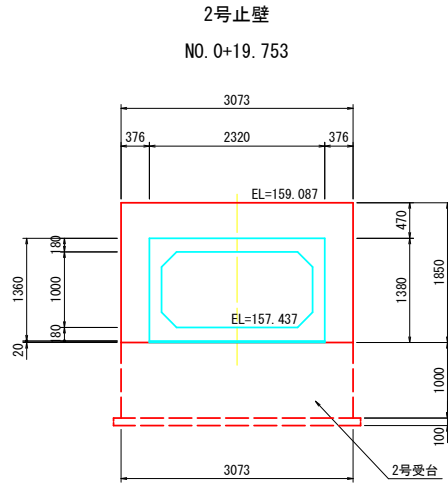
CO = 4.17
PL = 10.17
CO' = 0.38
PL' = 0.20

D=5.100
NO.0

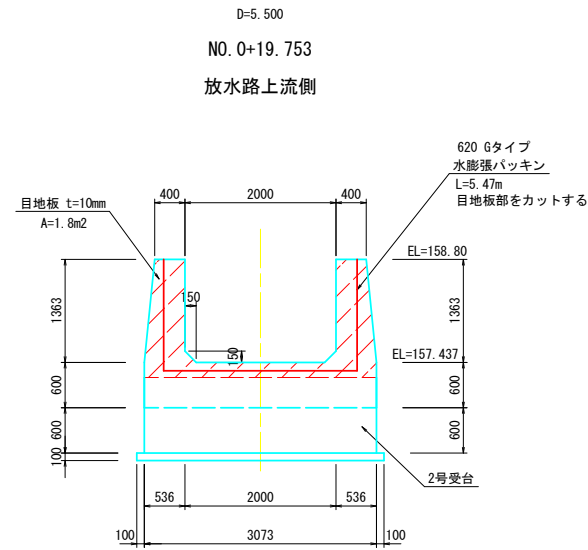
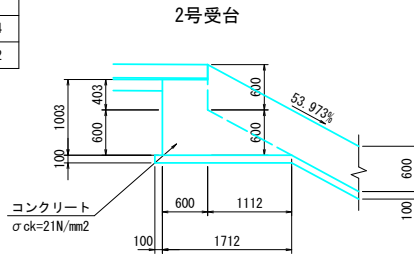
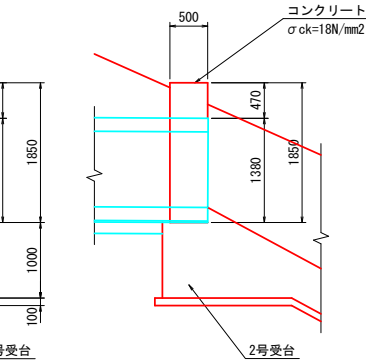


CO = 1.86
PL = 1.20
CO' = 0.33
PL' = 0.20

カットオフ材料表				1箇所当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=21N/mm2	m3	0.50	
型 枠	鉄筋構造物	m2	3.42	



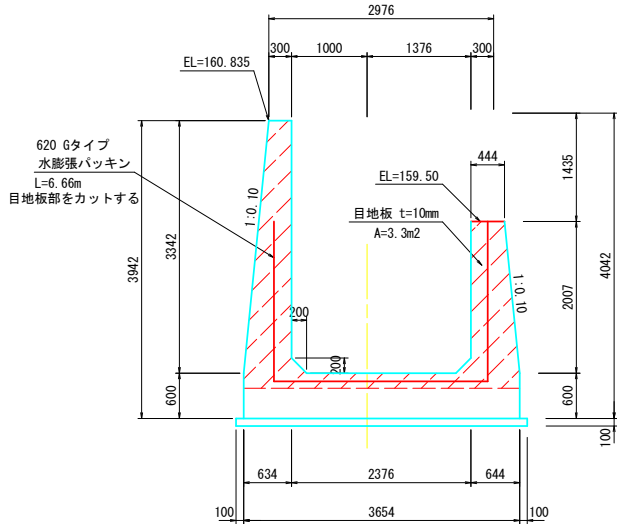
2号止壁材料表				一式所当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	1.24	
型 枠	無筋構造物	m2	6.82	



CO = 3.14
PL = 6.79
CO' = 0.33
PL' = 0.20

2号受台材料表				1箇所当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=21N/mm2	m3	2.87	
型 枠	鉄筋構造物	m2	4.95	
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.23	
均しコン型枠		m2	0.47	

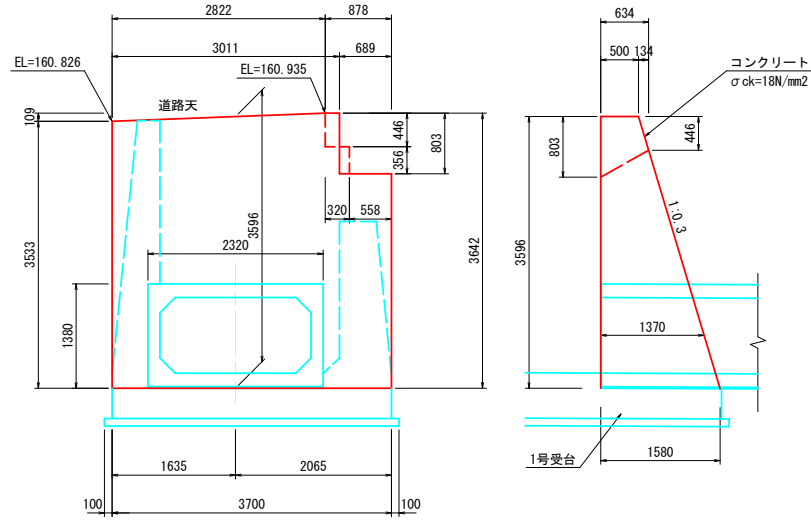
NO.0+7.673



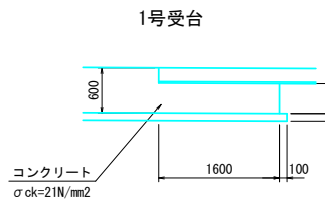
CO = 4.78
PL = 11.32
CO' = 0.39
PL' = 0.20

目地材= 3.3 m2
水膨張パッキン
= 6.66 m

1号止壁
NO.0+7.673



1号止壁材料表				一式所当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	9.15	
型 枠	無筋構造物	m2	29.22	



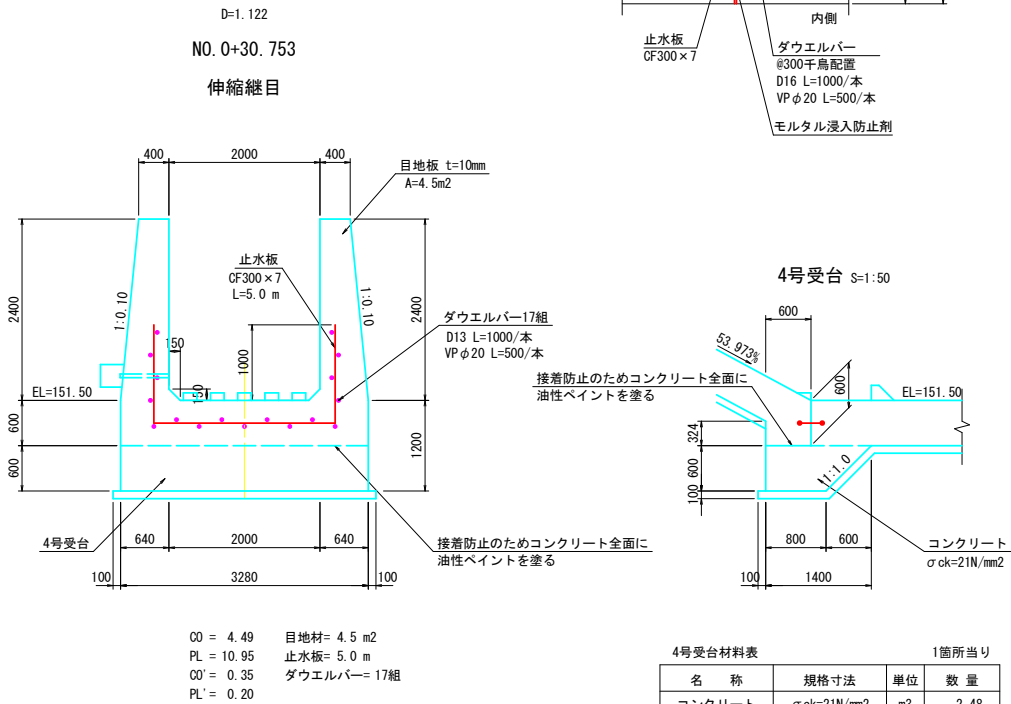
1号受台材料表				1箇所当り
名 称	規格寸法	単位	数 量	
コンクリート	σck=21N/mm2	m3	2.37	
型 枠	鉄筋構造物	m2	3.50	
均しコンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.66	
均しコン型枠		m2	0.73	

凡 例	
CO =	コンクリート
PL =	型枠
CO' =	均しコンクリート
PL' =	均しコン型枠

大濁池

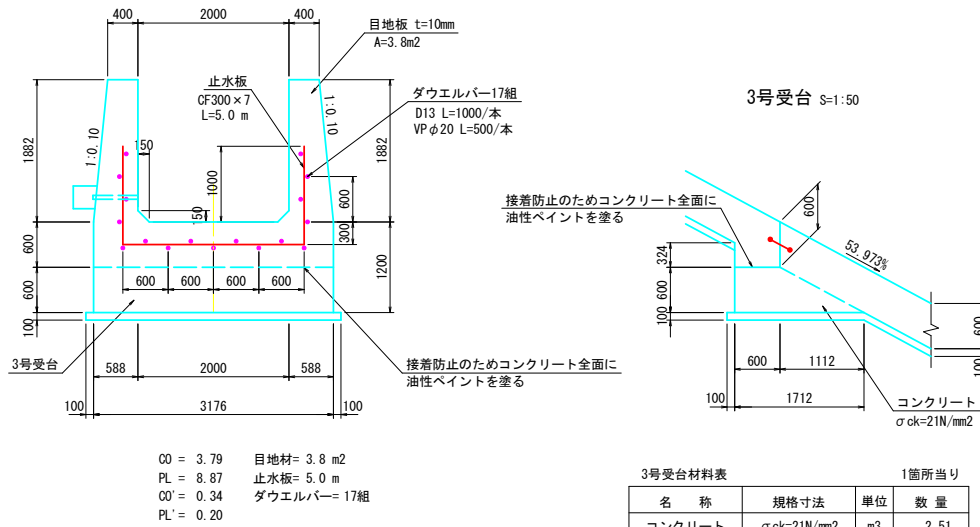
図 面 の 名 称		図面番号
洪水吐工構造図 1/3		9
縮尺 S=1:50		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

伸縮継目工詳細図 S=1:20



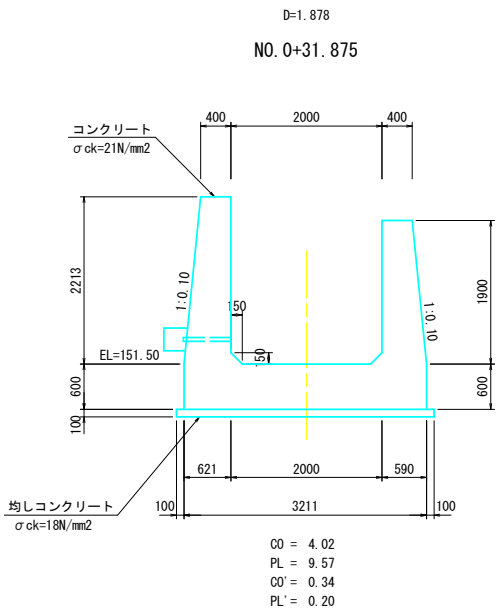
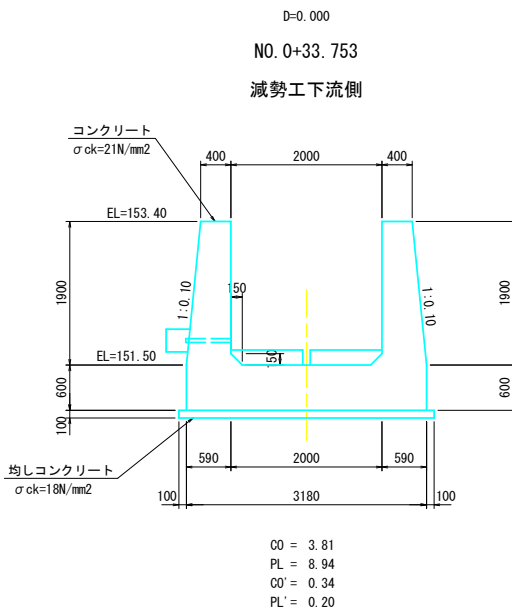
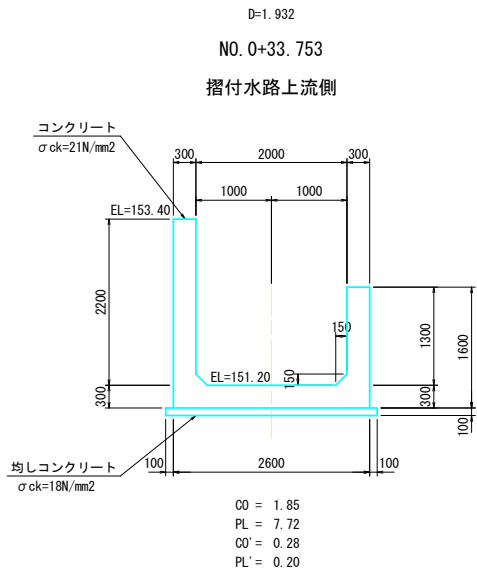
4号受台材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	σck=21N/mm²	m³	2.48
型 枠	鉄筋構造物	m²	4.55
均しコンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.03
均しコン型枠		m²	0.37

D=5.500
NO. 0+25.253
伸縮継目

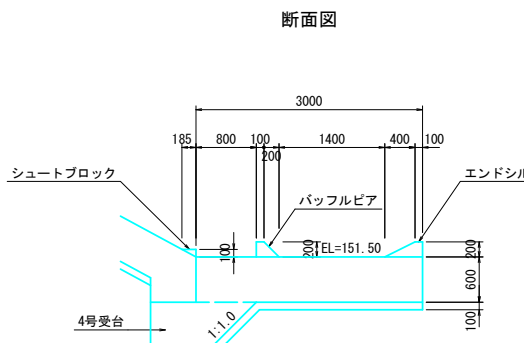
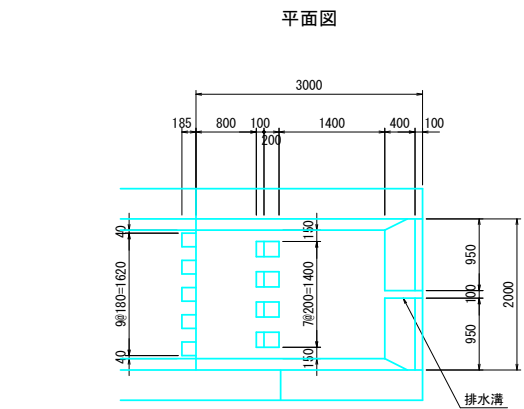


3号受台材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	σck=21N/mm²	m³	2.51
型 枠	鉄筋構造物	m²	4.52
均しコンクリート	σck=18N/mm²	m³	0.03
均しコン型枠		m²	0.36

洪水吐工構造図 2 S=1:50

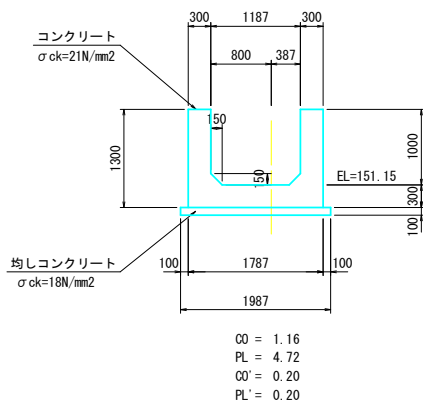


減勢工詳細図 S=1:50



材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	σck=21N/mm²	m³	0.008
型 枠	鉄筋構造物	m²	0.14

NO. 0+35.685
摺付水路下流側

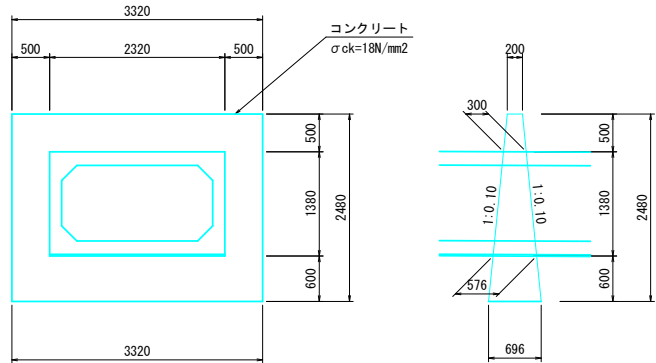


凡 例	
CO =	コンクリート
PL =	型枠
CO' =	均しコンクリート
PL' =	均しコン型枠

大濁池	
図 面 の 名 称	図面番号
洪水吐工構造図 2/3	10
縮 尺 図 示	24
測 量	令和 年 月 日終了
設 計	
製 原 図	
図 複 写	
福山市東村町地内	
福 山 市	

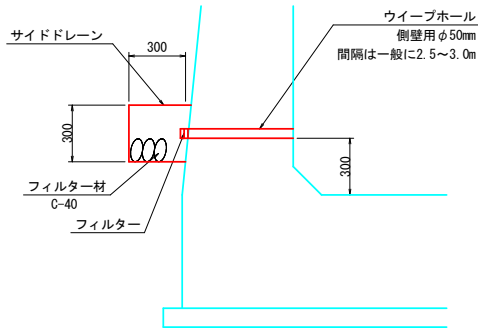
洪水吐工構造図 3

止水壁 S=1:50



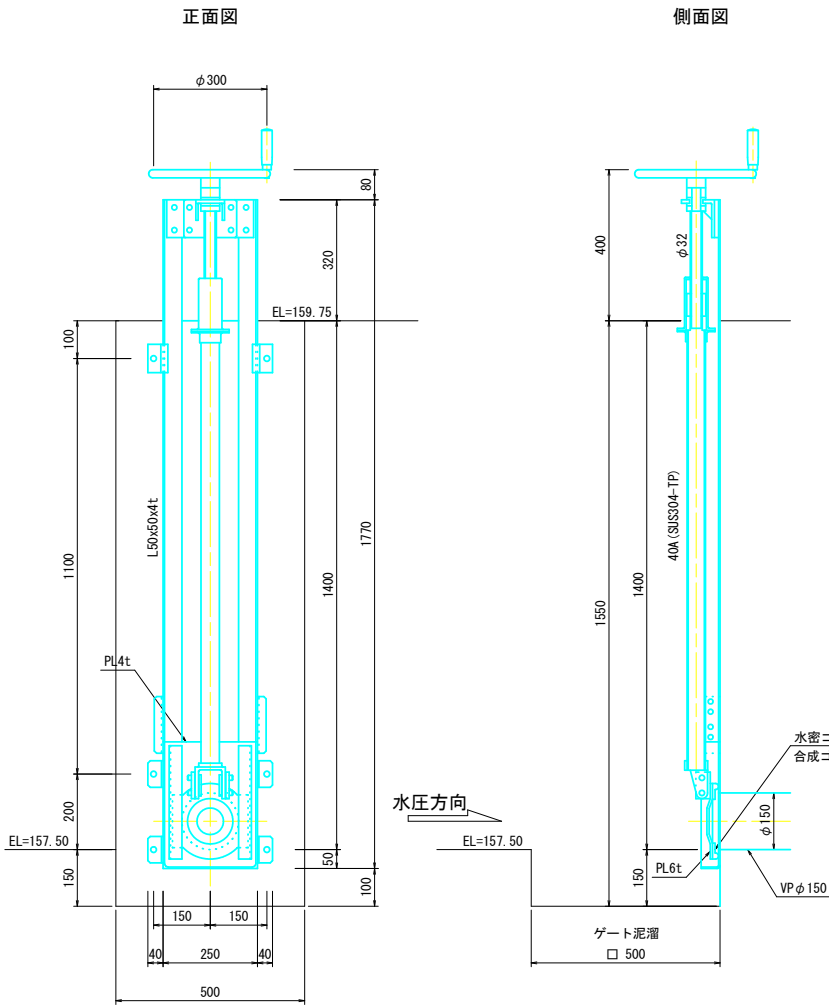
止水壁材料表		一式当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	2.29
型 枠	無筋構造物	m ²	12.31

サイドドレーン S=1:20

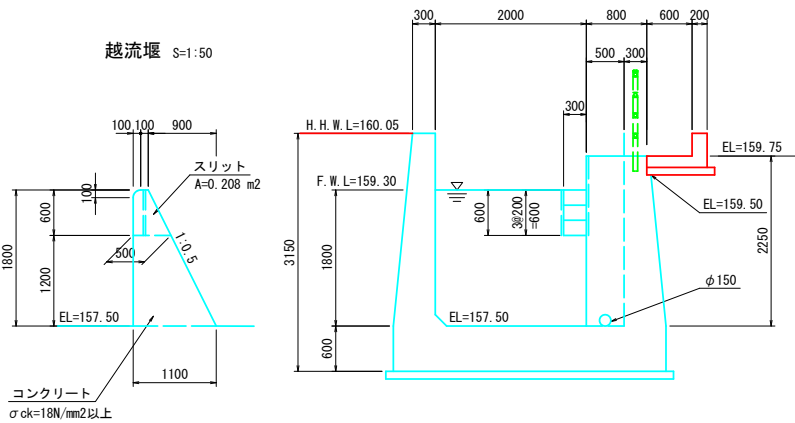


材料表		10m当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
フィルター材	砕石RC-40	m ³	0.90
ウィーブホール	側壁用φ50mm	ヶ所	-

ステンレス鋼製 内ねじ式ゲート S=1:10



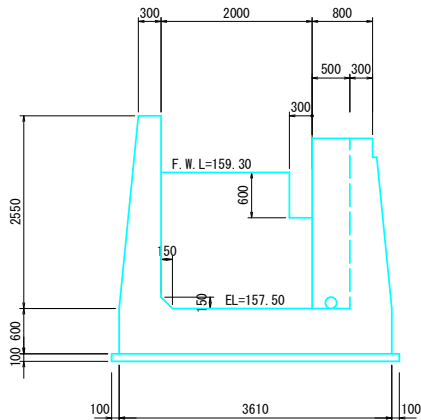
NO. 0+5.10 (堰上流)



越流堰材料表		一式当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	2.27
型 枠	無筋構造物	m ²	7.42
円形型枠		m ²	0.27
堰 板	350×200	枚	3.0

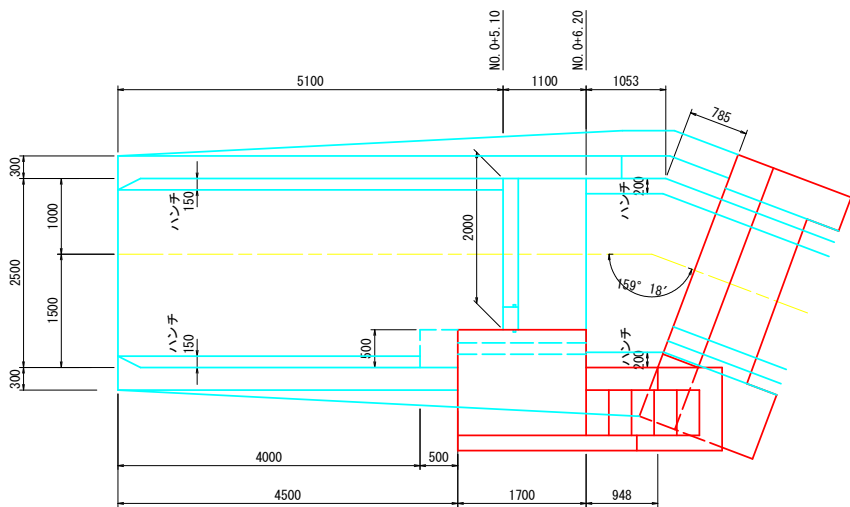
ハンチ S=1:50

NO. 0+5.10



鉛直擁壁の高さ
* 1.00以上2.50m未満

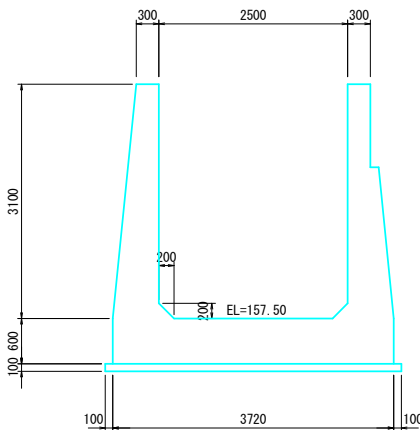
ハンチ
150×150



ハンチ材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単 位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	0.16
型 枠	鉄筋構造物	m ²	13.23

ハンチ S=1:50

NO. 0+6.20



鉛直擁壁の高さ
* 2.50m以上

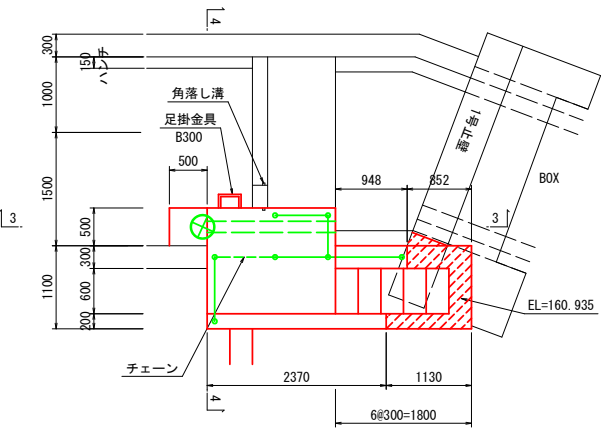
ハンチ
200×200

大濁池

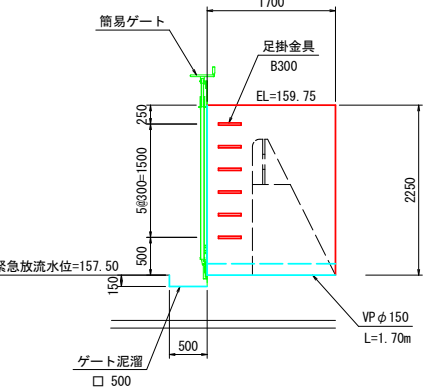
図 面 の 名 称		図面番号
洪水吐工構造図 3/3		11
縮尺 図示		24
測 量	令和 年 月 日終了	
設 計		
製 図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

操作台構造図 S=1:50

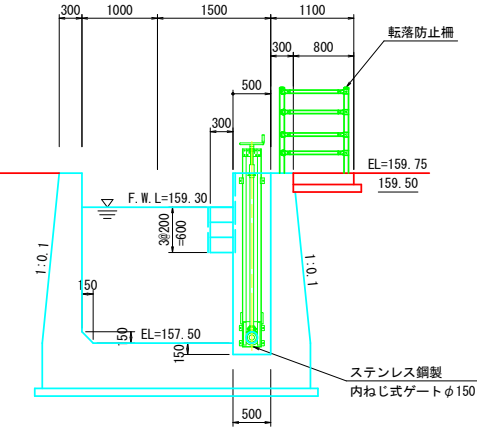
平面図



3-3断面



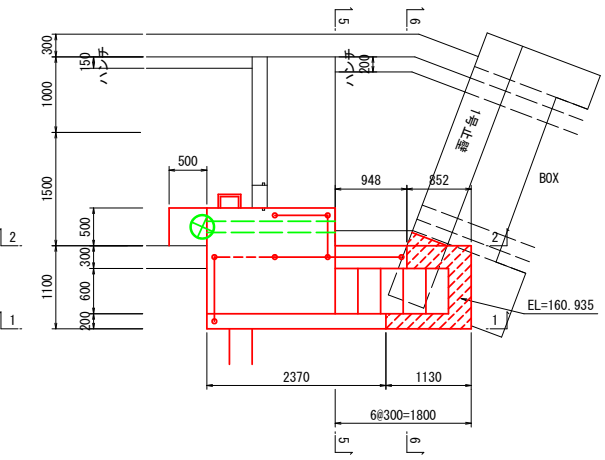
4-4断面



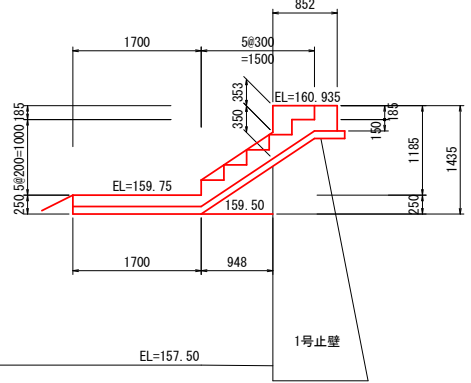
操作台材料表		一式当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	1.88
型 枠	鉄筋構造物	m ²	2.55
簡易ゲート	$\phi 150$	門	1.0
VP管	VP $\phi 150$	m	1.70
足掛金具	B300	ヶ	6.0

階段工構造図 S=1:50

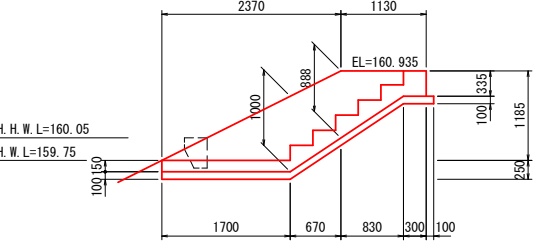
平面図



2-2断面

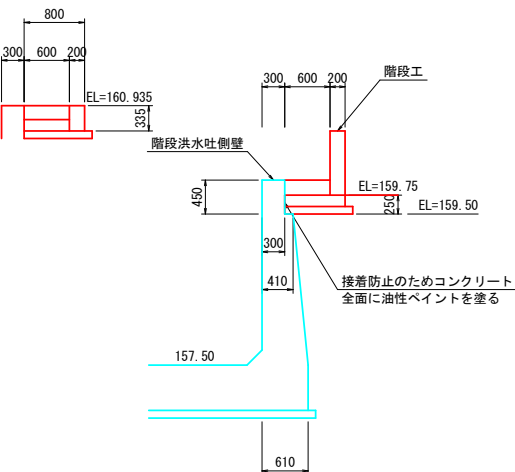


1-1断面



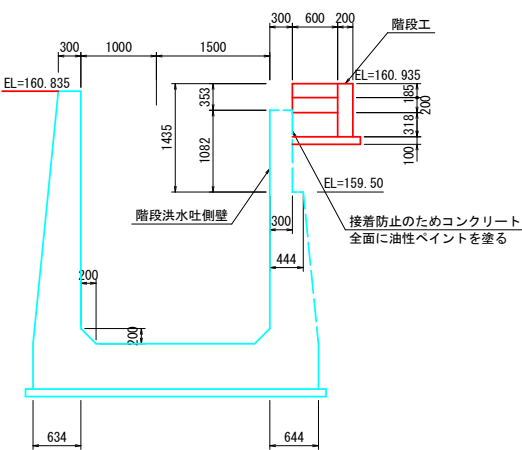
階段工材料表		一式当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.62
型 枠	小型構造物	m ²	6.39
均しコンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	m ³	0.32
均しコン型枠		m ²	0.65

5-5断面



階段洪水吐側壁材料表		1箇所当り	
名 称	規格寸法	単位	数 量
コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	0.39
型 枠	鉄筋構造物	m ²	2.59

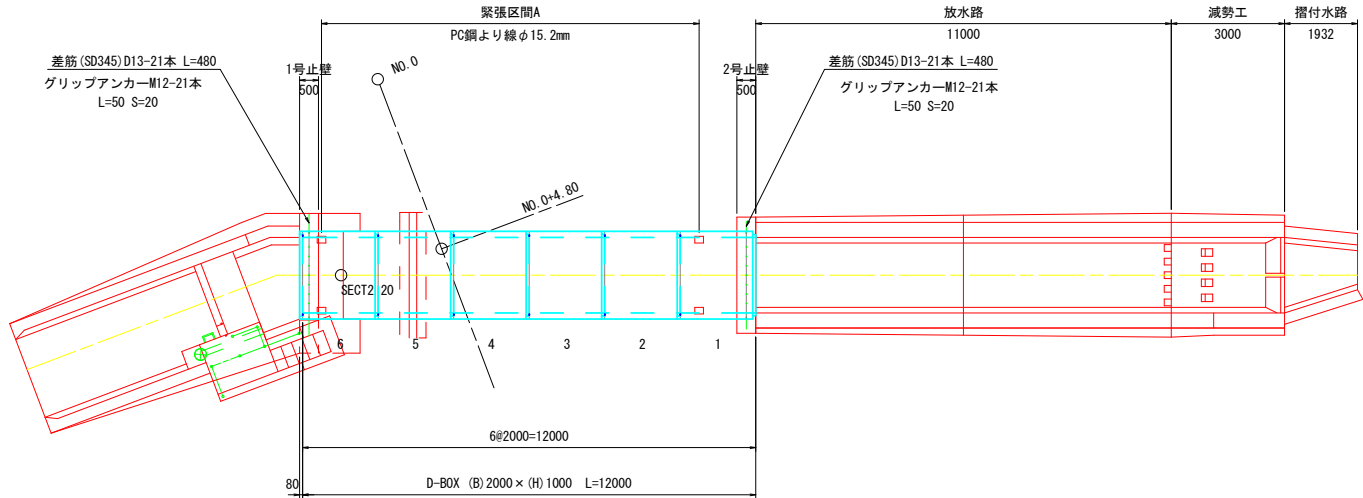
6-6断面



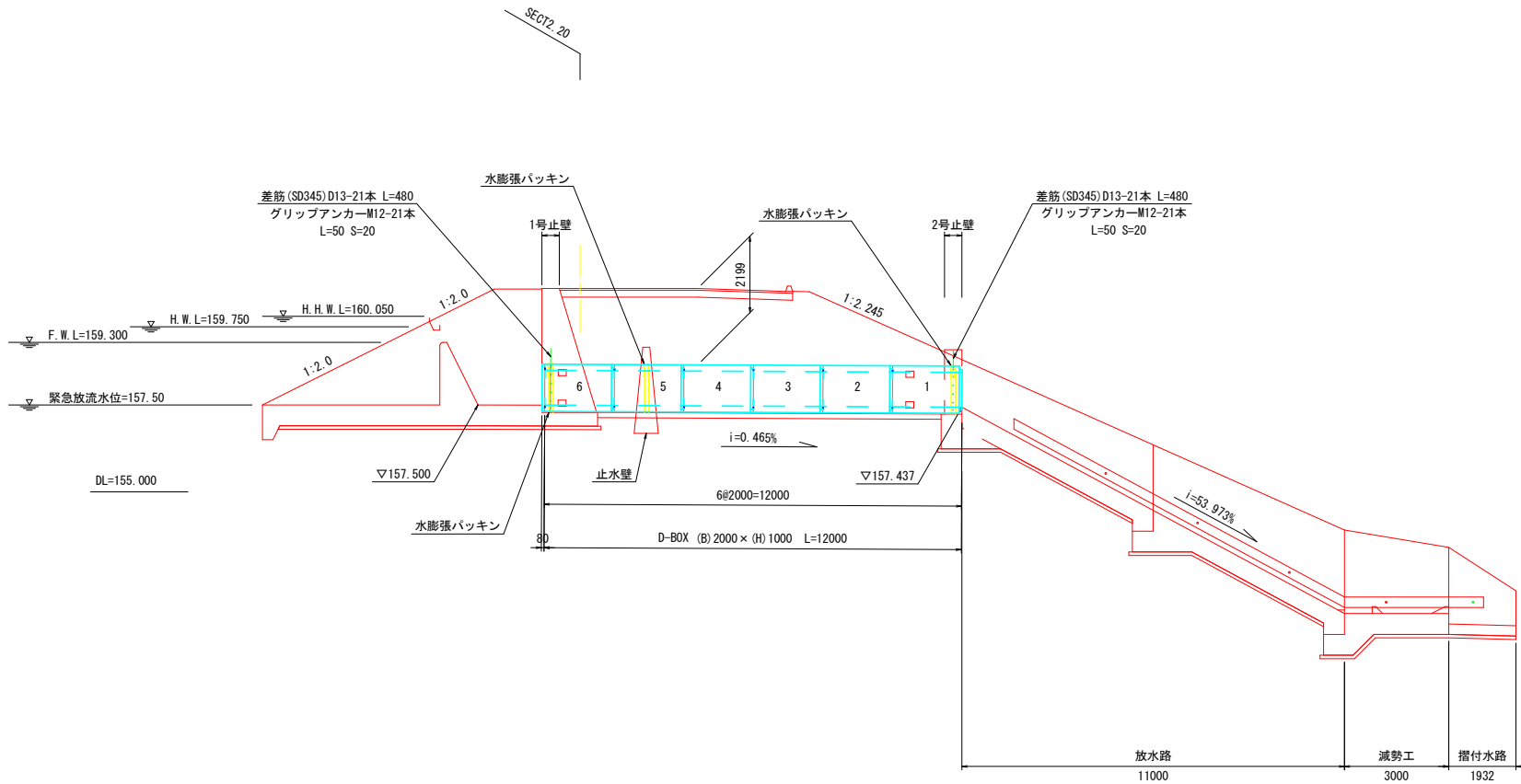
大濁池

図 面 の 名 称		図面番号
操作台 階段工構造図		12
縮尺 S=1:50		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

平面図
S = 1/100

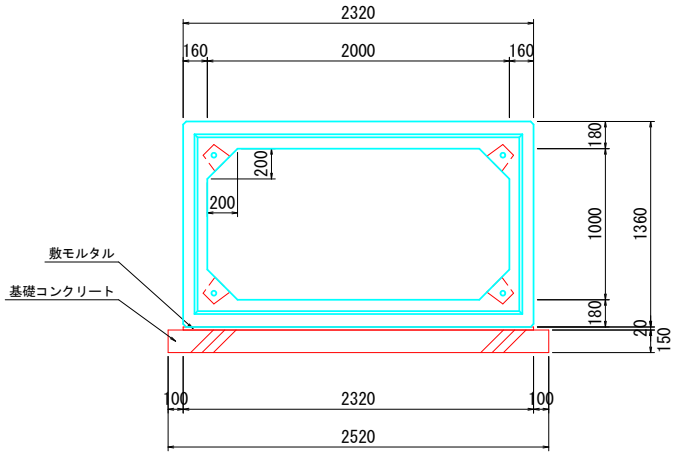


縦断面図
S = 1/100

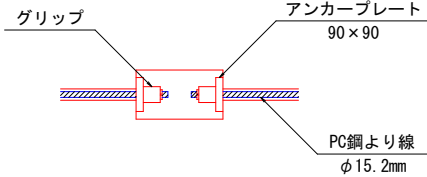


ボックスカルバート参考割付図
BOX (B) 2000 × (H) 1000 (T-25)

標準断面図
S = 1/25



定着部詳細図
S = 1/10



緊張力算出式

$$P_t \geq \frac{\mu \cdot W \cdot n}{4} \geq 50 \text{ (kN)}$$

- ※ P_t : プレストレッシング直後の緊張力 (kN)
- ※ μ : 摩擦係数 (=1.0)
- ※ W : 製品1本の質量 (kN)
- ※ n : 1つの連結区間における製品本数
- ※ 緊張は4本同時に行うものとする
- ※ $1t = 10kN$
- ※ 緊張荷重は95kN

ボックスカルバート数量表

名 称	規 格	番 号	本 数	参考重量
D-ボックスカルバート (B) 2000 × (H) 1000 T - 25	L = 2000	2-5	4本	W=6180kg
	L = 2000 箱 差筋付	1	1本	W=6180kg
	L = 2000 箱 差筋付 特配筋 特配合	6	1本	W=6180kg
合 計			6本	

※製品 NO. 1 ~ 6を集計しています。
※施工の伸びを、見込んでいません。

材料表

名 称	規 格	算 式	単 位	数 量
差筋	SD345 D13 L=450mm		本	42
水膨張パッキン	タクロン L=7610		本	6
			m	45.660
敷モルタル	C:S = 1:3	$0.020 \times 2.320 \times 12.080$	m ³	0.561
基礎コンクリート	$\sigma_{ck} = 18N/mm^2$	$0.150 \times 2.520 \times 9.880$	m ³	3.735
同上型枠		$0.150 \times 9.880 \times 2$	m ²	2.964

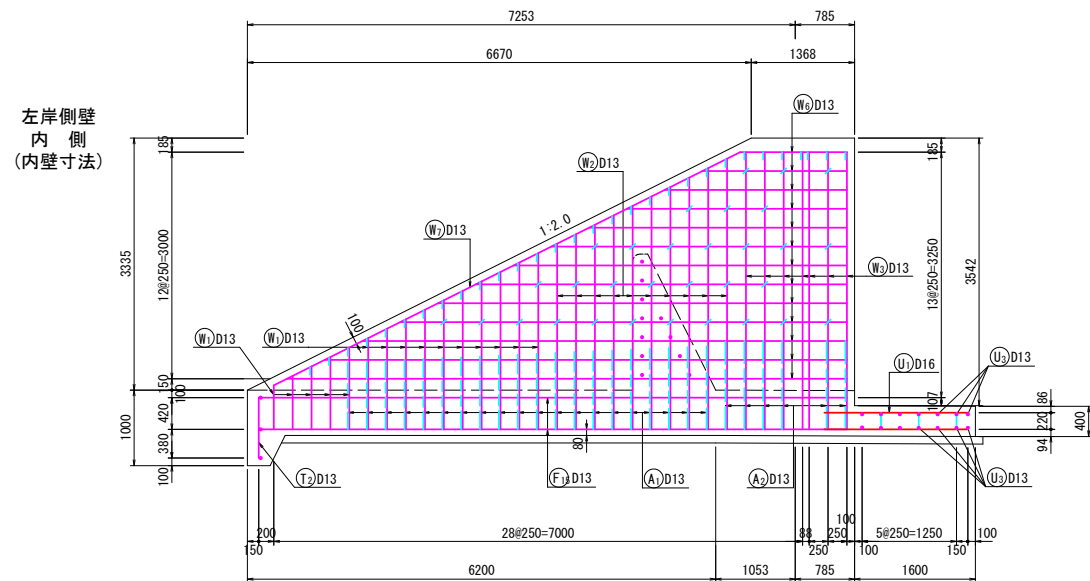
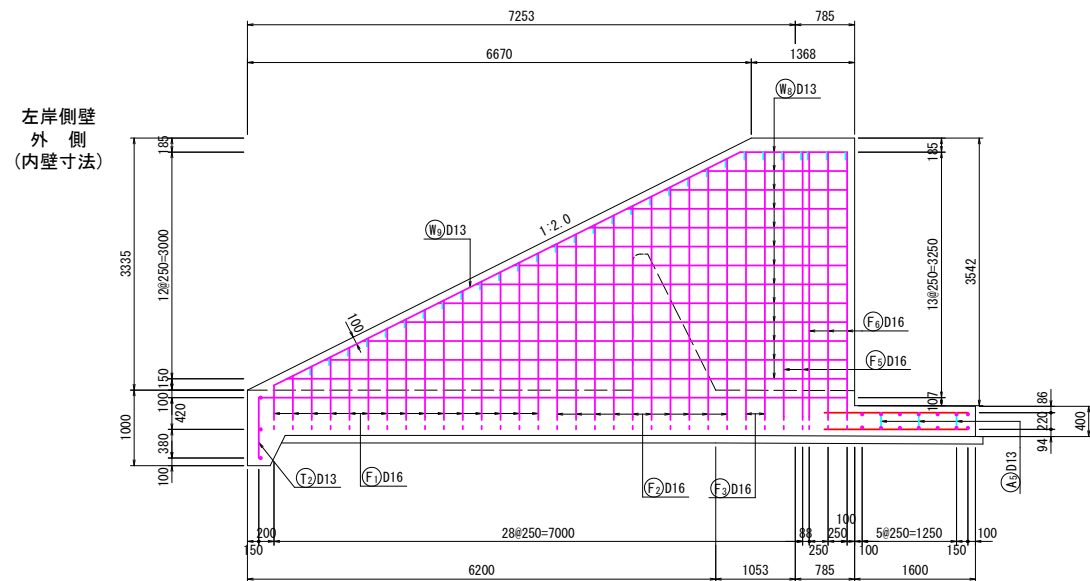
差筋は50mmのかぶりを確保して設置のこと

縦締め材料表

名称	規格・詳細	単 位	数 量
PC鋼より線 φ15.2mm	緊張区間A L=11.200m(余長含む)	本	4
アンカープレート	90×90	枚	8
グリッパ	φ15.2mm用	個	8

大濁池

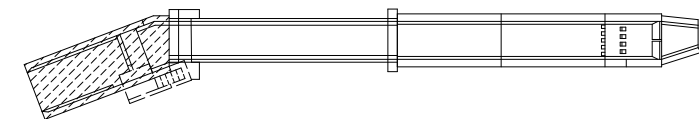
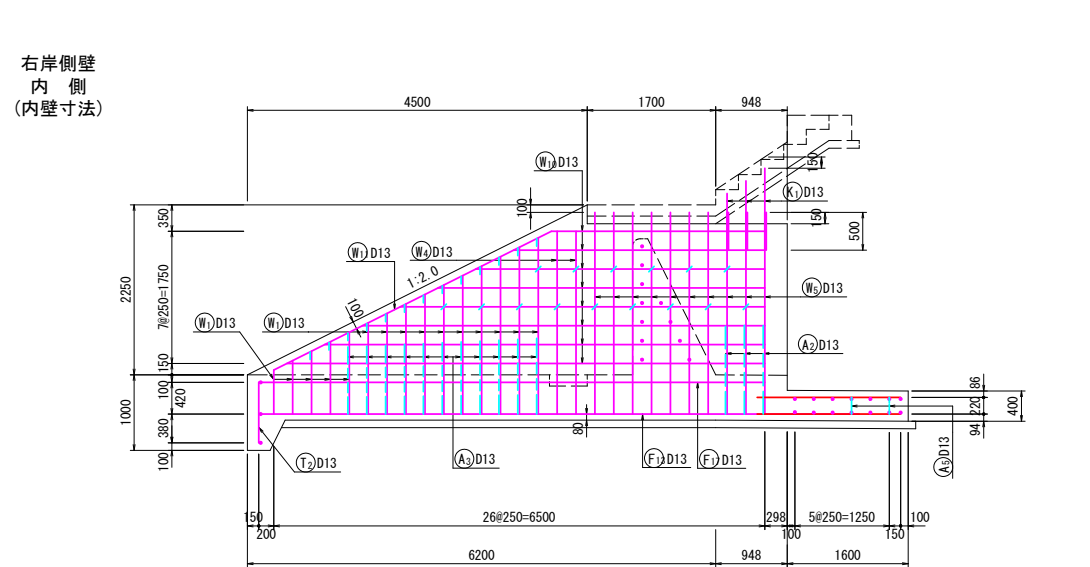
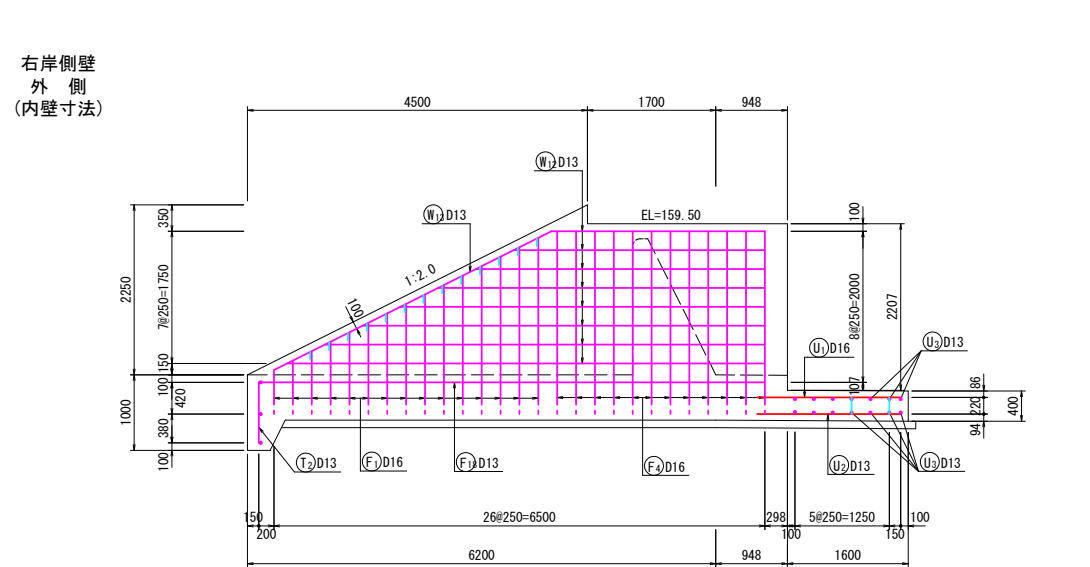
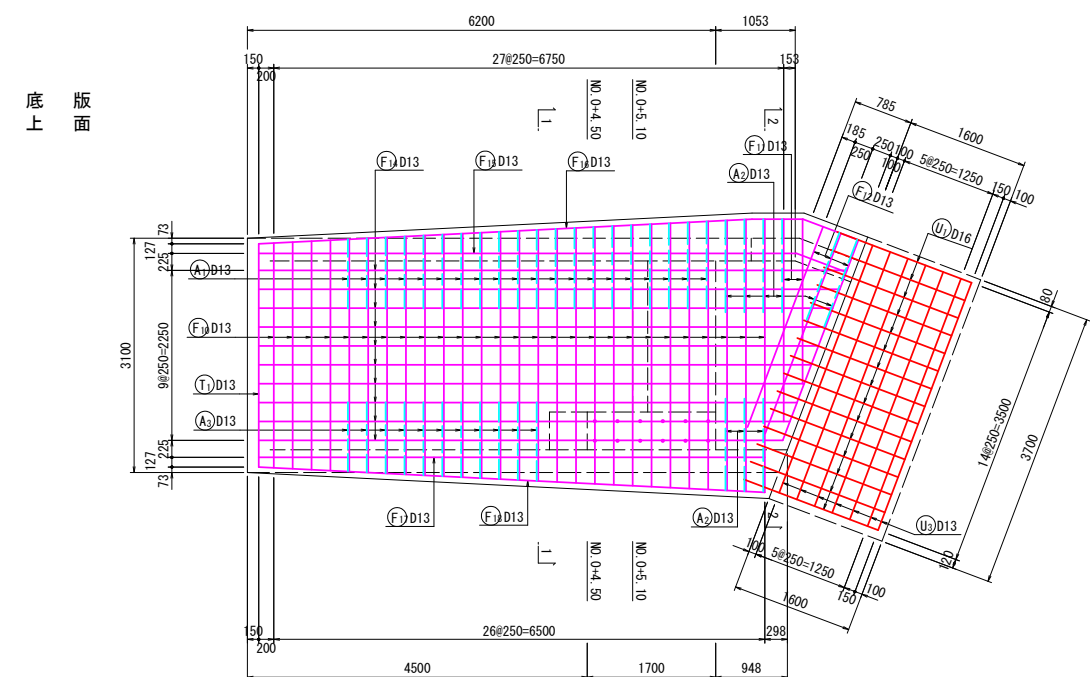
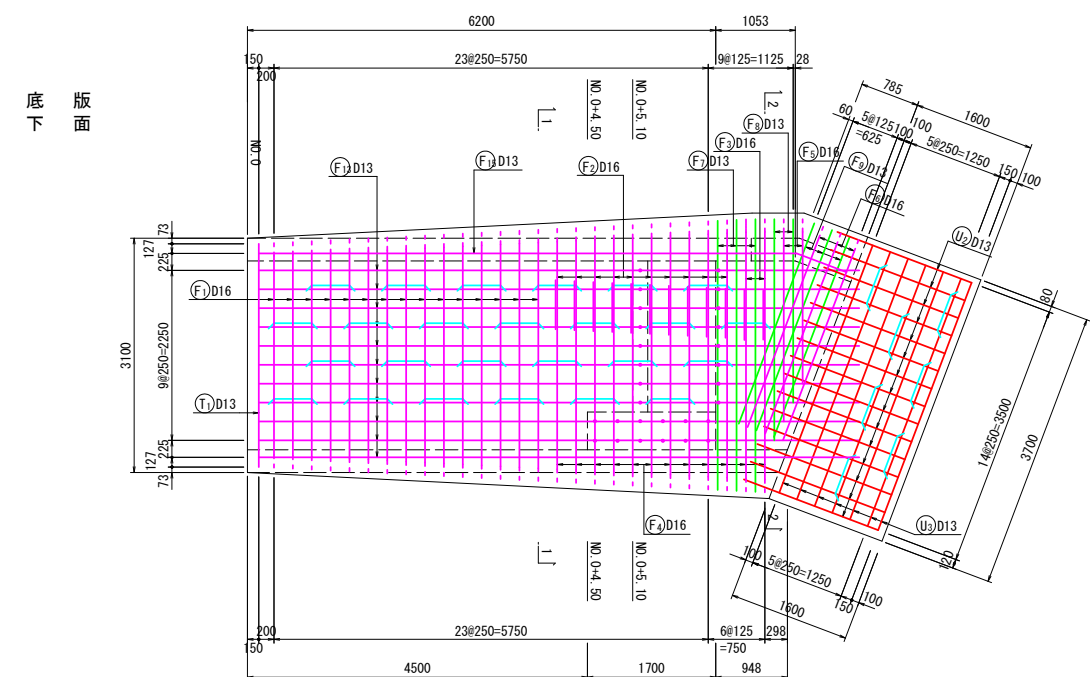
図 面 の 名 称		図面番号
ボックスカルバート参考割付図		13
縮尺 図示		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		



接近水路配筋図 S=1:50

注意事項

1. 継手定着長は30φ以上
2. 継手位置は相互にずらして同一断面に集めてはならない。
3. 継手位置を軸方向に相互にずらす距離は継手長さに鉄筋直径の25倍を加えた長さ以上とする。
4. 継手位置が同一断面となる場合は基本定着長の1.3倍以上とし応力度の大きい部分では継手はできるだけさける。
5. かぶりは80mmを確保する。
6. コンクリート強度 σ_{ck} =21N/mm²
7. 鉄筋の材質は全てSD295Aである。



大濁池

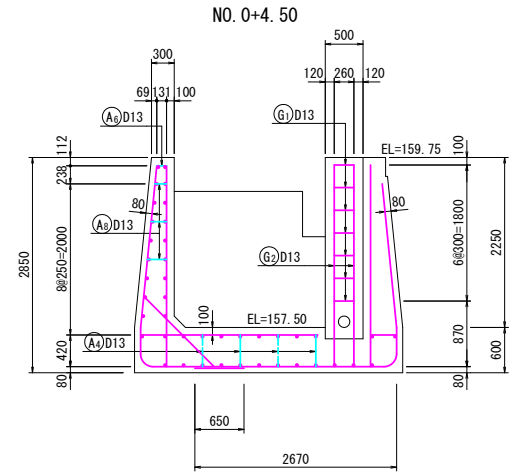
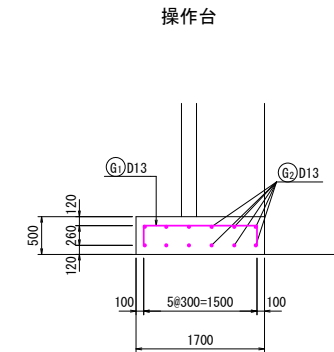
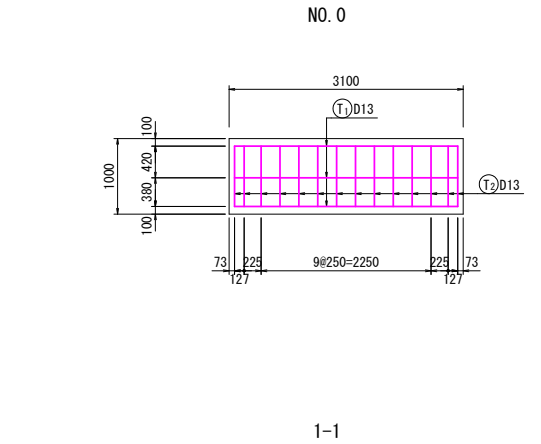
図 面 の 名 称		図面番号
接近水路配筋図 縮尺 S=1:50		14 24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

接近水路配筋図 S=1:50

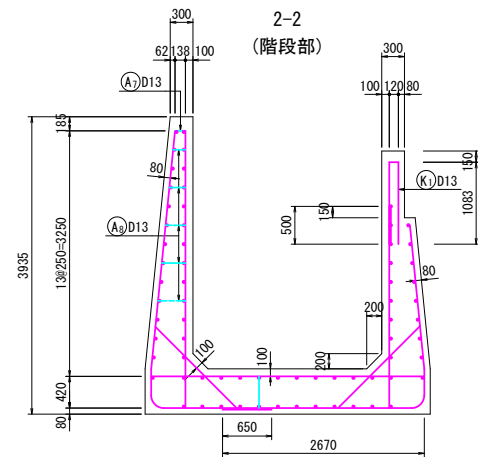
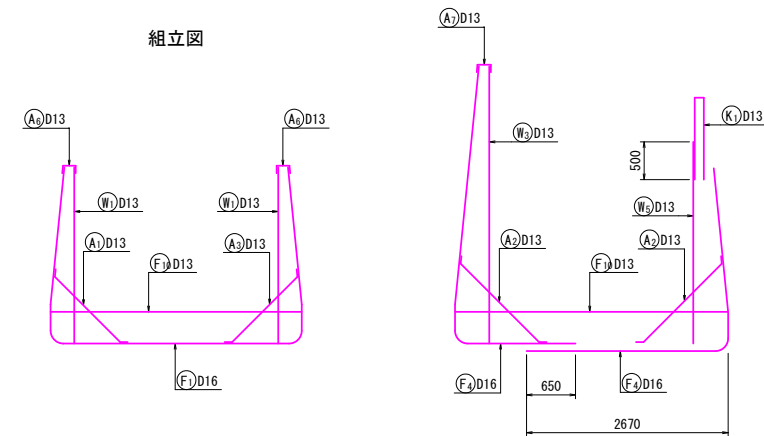
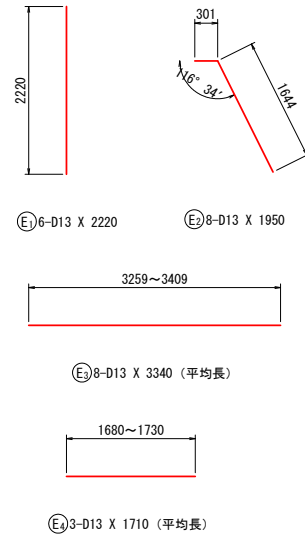
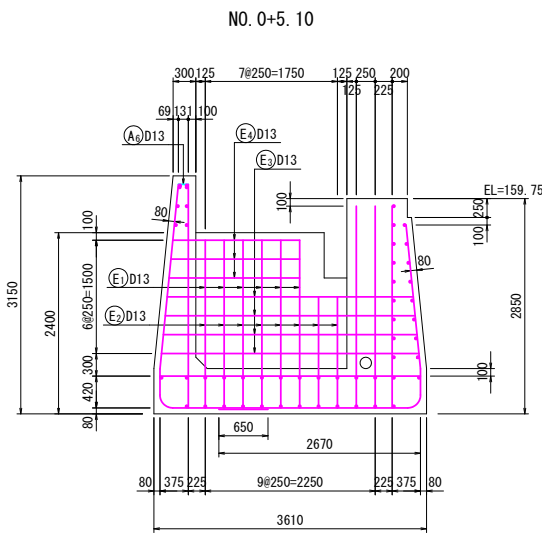
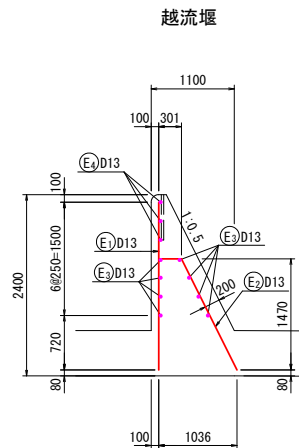
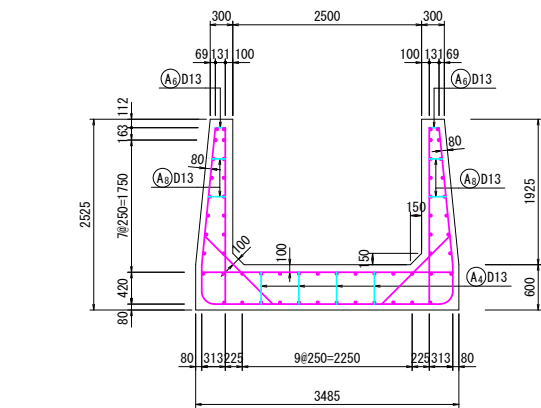
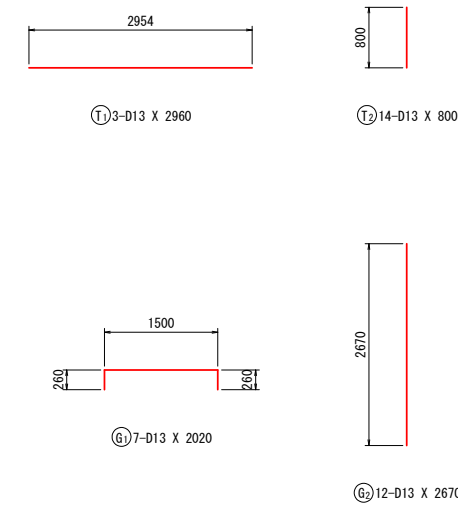
鉄筋加工図

鉄筋質量表						
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量
F 1	D16	5930	15	1.56	9.251	138.765
F 2	D16	4410	10	1.56	6.880	68.800
F 3	D16	5210	2	1.56	8.128	16.256
F 4	D16	5030	12	1.56	7.847	94.164
F 5	D16	6050	2	1.56	9.438	18.876
F 6	D16	6450	3	1.56	10.062	30.186
F 7	D13	3590	3	0.995	3.572	10.716
F 8	D13	2680	2	0.995	2.667	5.334
F 9	D13	2840	3	0.995	2.826	8.478
F 10	D13	3300	27	0.995	3.284	88.668
F 11	D13	2430	2	0.995	2.418	4.836
F 12	D13	2840	3	0.995	2.826	8.478
F 13	D13	7950	11	0.995	7.910	87.010
F 14	D13	7370	10	0.995	7.333	73.330
F 15	D13	7830	2	0.995	7.791	15.582
F 16	D13	8000	1	0.995	7.960	7.960
F 17	D13	6700	1	0.995	6.667	6.667
F 18	D13	6710	1	0.995	6.676	6.676
690.782						
W 1	D13	1460	30	0.995	1.453	43.590
W 2	D13	3030	10	0.995	3.015	30.150
W 3	D13	3670	7	0.995	3.652	25.564
W 4	D13	2420	2	0.995	2.408	4.816
W 5	D13	2670	10	0.995	2.657	26.570
W 6	D13	4460	13	0.995	4.438	57.694
W 7	D13	7010	1	0.995	6.975	6.975
W 8	D13	4630	13	0.995	4.607	59.891
W 9	D13	7020	1	0.995	6.985	6.985
W 10	D13	4580	8	0.995	4.557	36.456
W 11	D13	4210	1	0.995	4.189	4.189
W 12	D13	4590	8	0.995	4.567	36.536
W 13	D13	4220	1	0.995	4.199	4.199
343.615						
A 1	D13	1480	20	0.995	1.473	29.460
A 2	D13	1730	9	0.995	1.721	15.489
A 3	D13	1400	11	0.995	1.393	15.323
A 4	D13	1630	25	0.995	1.622	40.550
A 5	D13	1230	7	0.995	1.224	8.568
A 6	D13	340	36	0.995	0.338	12.168
A 7	D13	340	7	0.995	0.338	2.366
A 8	D13	460	46	0.995	0.458	21.068
144.992						
U 1	D16	1900	15	1.56	2.964	44.460
U 2	D13	1900	15	0.995	1.891	28.365
U 3	D13	3500	14	0.995	3.483	48.762
121.587						
T 1	D13	2960	3	0.995	2.945	8.835
T 2	D13	800	14	0.995	0.796	11.144
19.979						
G 1	D13	2020	7	0.995	2.010	14.070
G 2	D13	2670	12	0.995	2.657	31.884
45.954						
E 1	D13	2220	6	0.995	2.209	13.254
E 2	D13	1950	8	0.995	1.940	15.520
E 3	D13	3340	8	0.995	3.323	26.584
E 4	D13	1710	3	0.995	1.701	5.103
60.461						
K 1	D13	1960	3	0.995	1.950	5.850
5.850						
合 計				D16	411.507	kg
				D13	1021.713	kg
総質量					1433.220	kg

大濁池	
図 面 の 名 称	図面番号
接近水路配筋図加工図	15
縮 尺 S=1:50	24
測 量	令和 年 月 日終了
設 計	
製 図	原図
複写	
福山市東村町地内	
福 山 市	

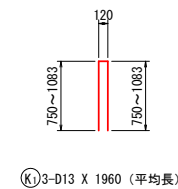


ゲート泥溜部分の底版上面の配筋筋はかぶり100mmとし控除する。

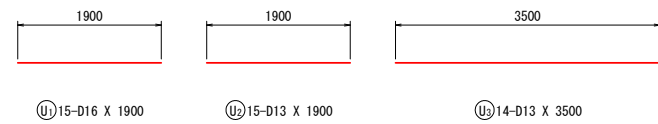
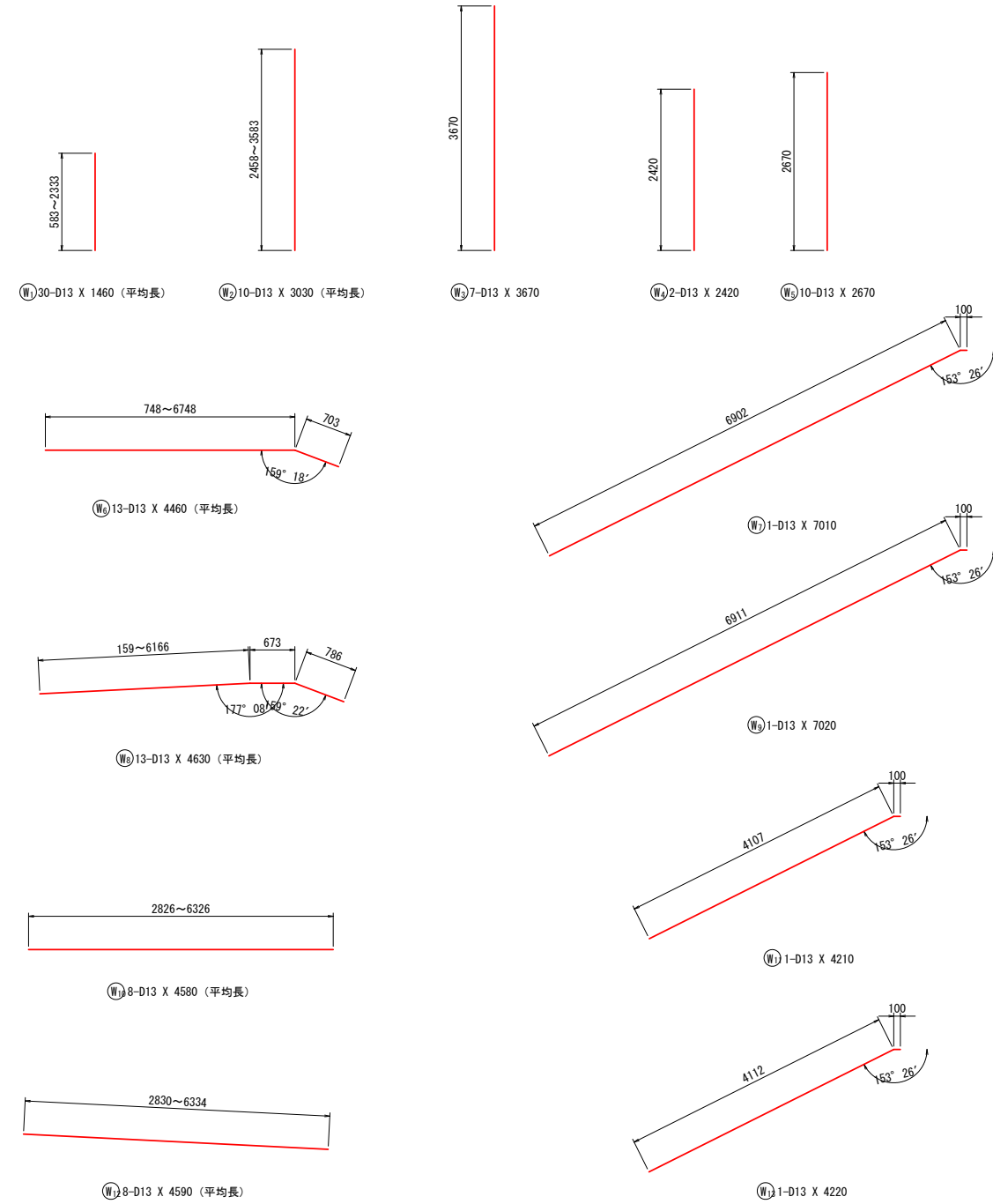
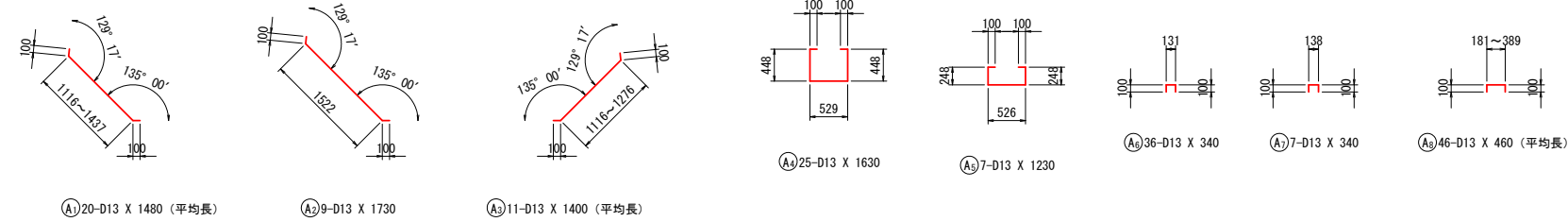
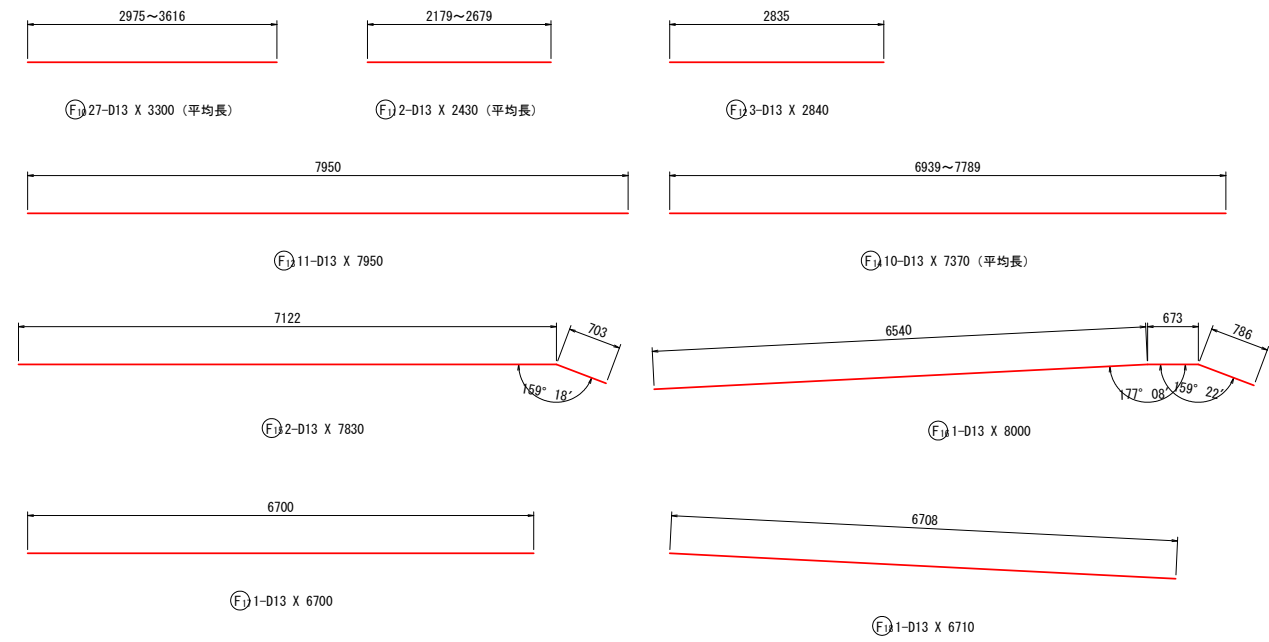
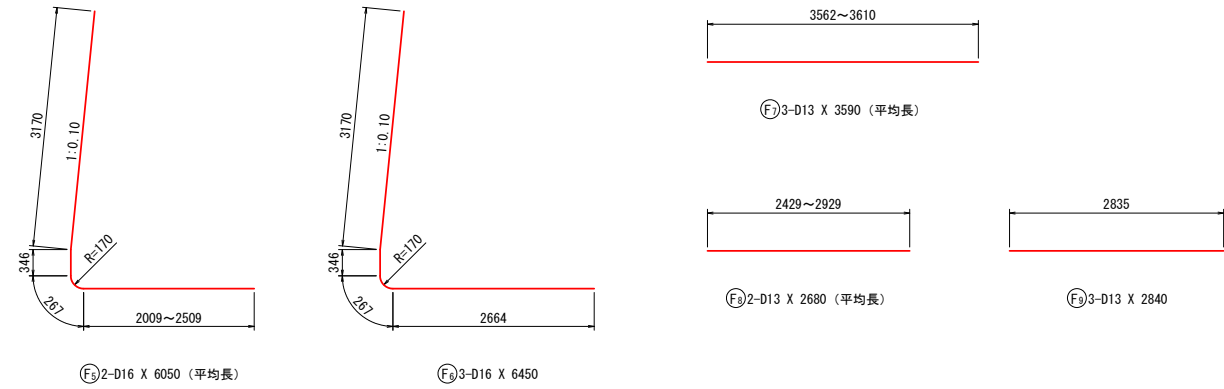
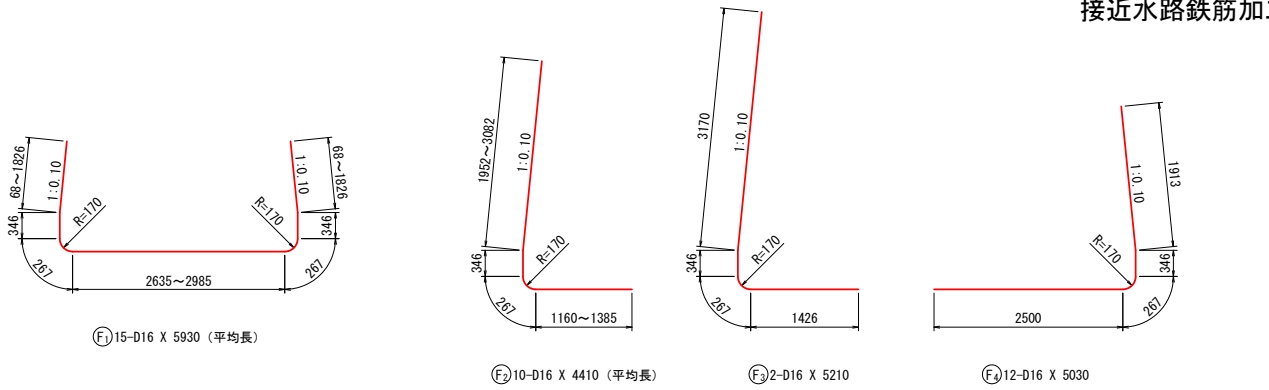


重ね合わせ長さは基本定着長の1.3倍以上

全高の1/4程度の隅角部の範囲を避ける



接近水路鉄筋加工図 S=1:50

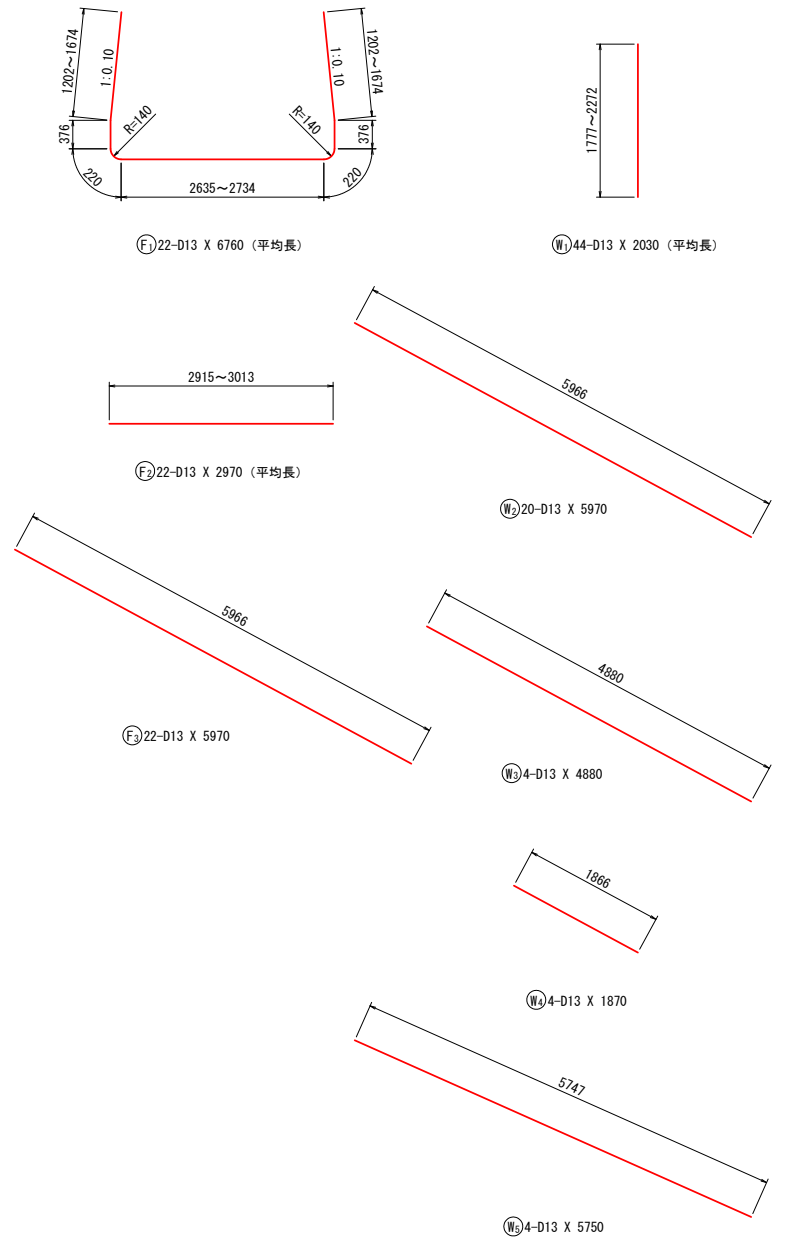
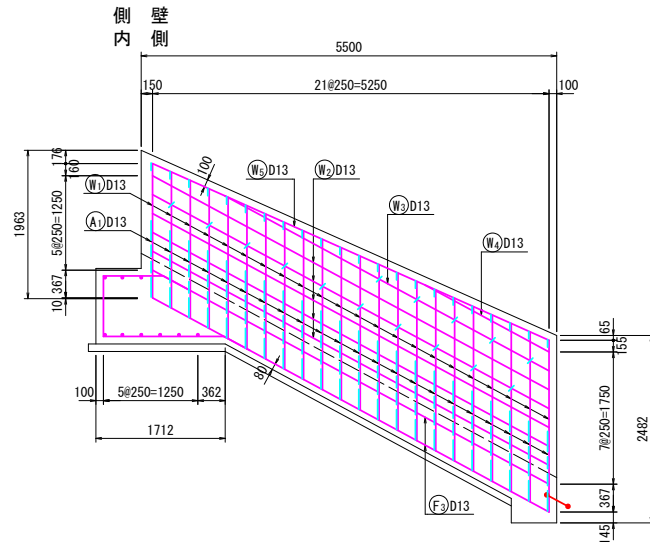
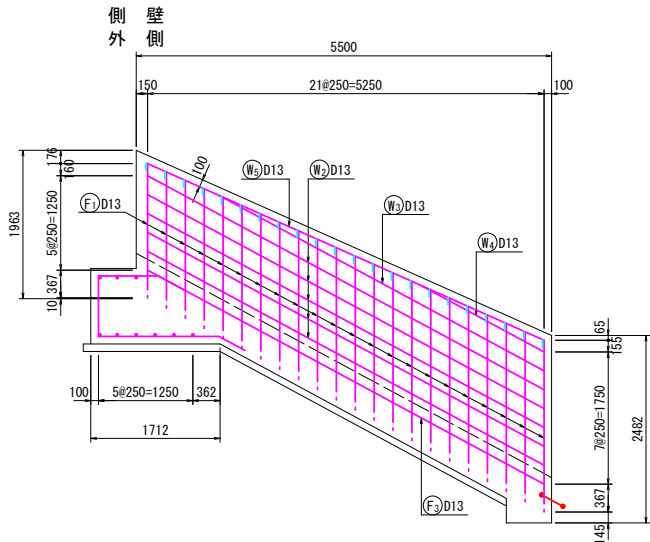
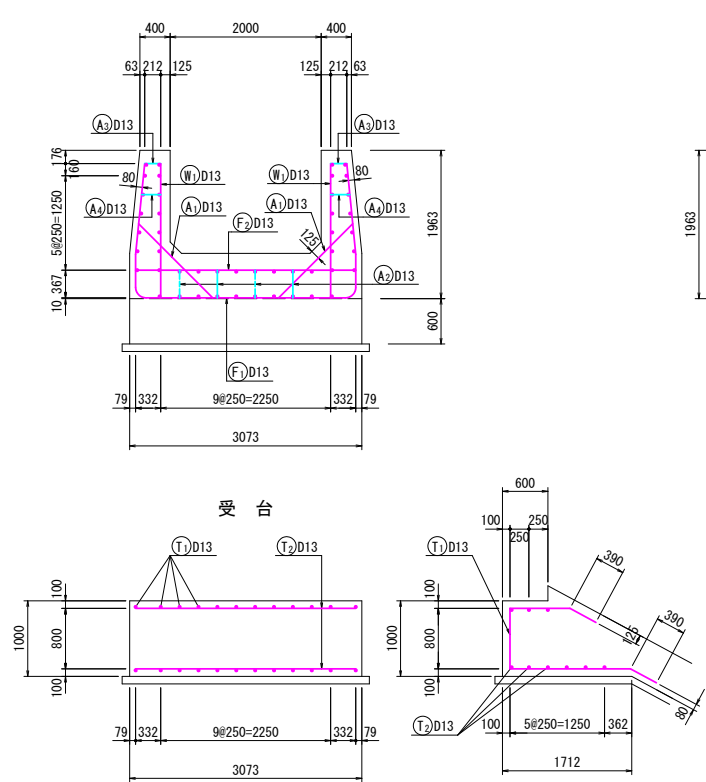


大濁池	
図面の名称	図面番号
接近水路鉄筋加工図	16
縮尺 S=1:50	24
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製図	原図
複写	
福山市東村町地内	
福山市	

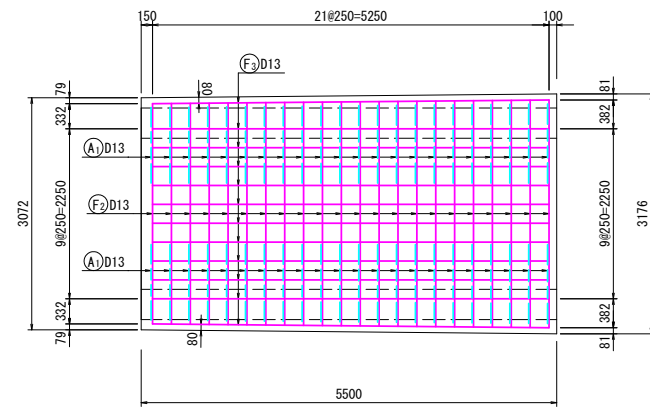
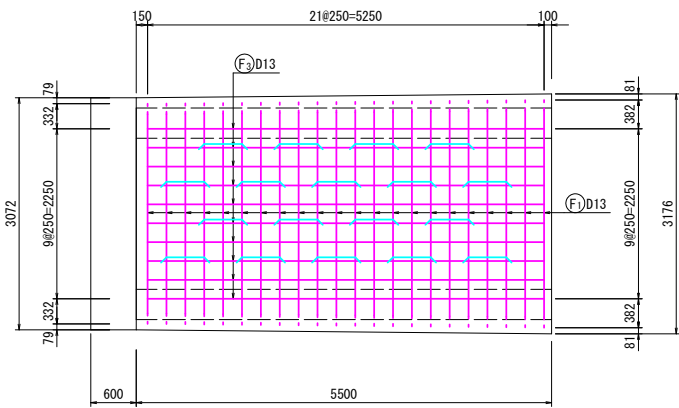
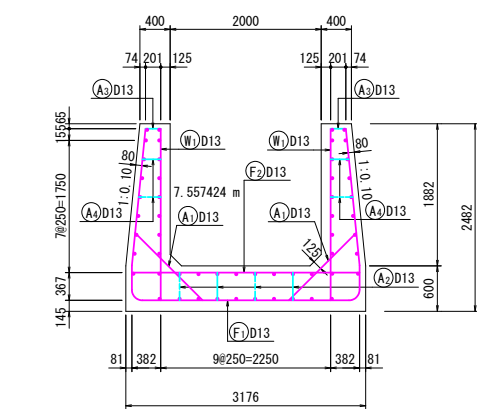
NO. 0+19.753

放水路上流配筋図 S=1:50

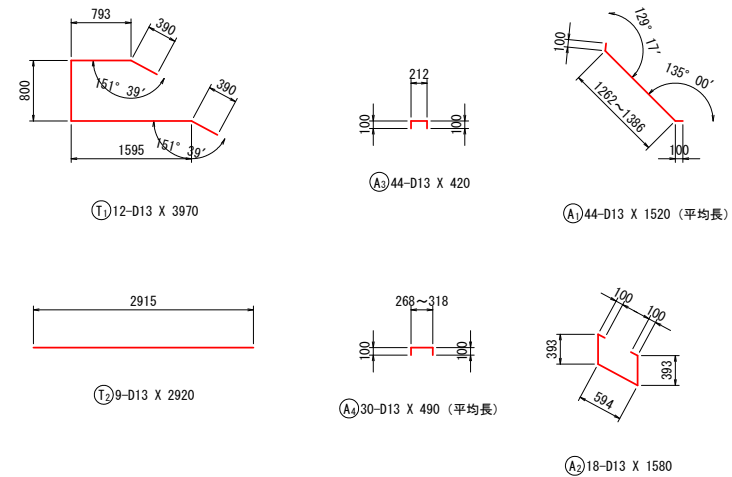
鉄筋加工図



NO. 0+25.253

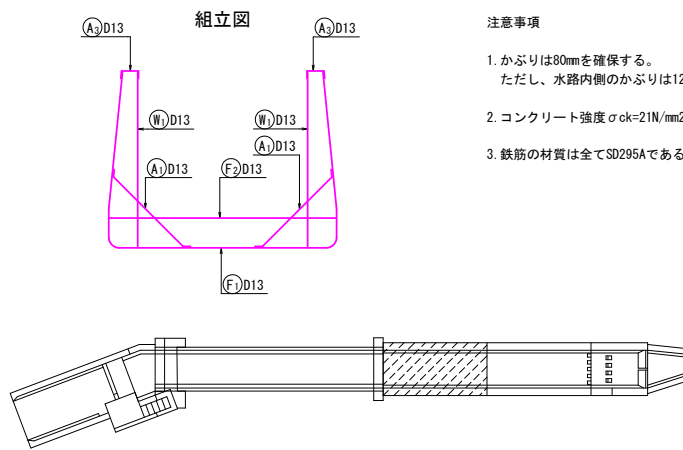


鉄筋質量表						
種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量
F ₁	D13	6760	22	0.995	6.726	147.972
F ₂	D13	2970	22	0.995	2.955	65.010
F ₃	D13	5970	22	0.995	5.940	130.680
						343.662
W ₁	D13	2030	44	0.995	2.020	88.880
W ₂	D13	5970	20	0.995	5.940	118.800
W ₃	D13	4880	4	0.995	4.856	19.424
W ₄	D13	1870	4	0.995	1.861	7.444
W ₅	D13	5750	4	0.995	5.721	22.884
						257.432
A ₁	D13	1520	44	0.995	1.512	66.528
A ₂	D13	1580	18	0.995	1.572	28.296
A ₃	D13	420	44	0.995	0.418	18.392
A ₄	D13	490	30	0.995	0.488	14.640
						127.856
T ₁	D13	3970	12	0.995	3.950	47.400
T ₂	D13	2920	9	0.995	2.905	26.145
						73.545
合計				D13	802.495 kg	
総質量					802.495 kg	



注意事項

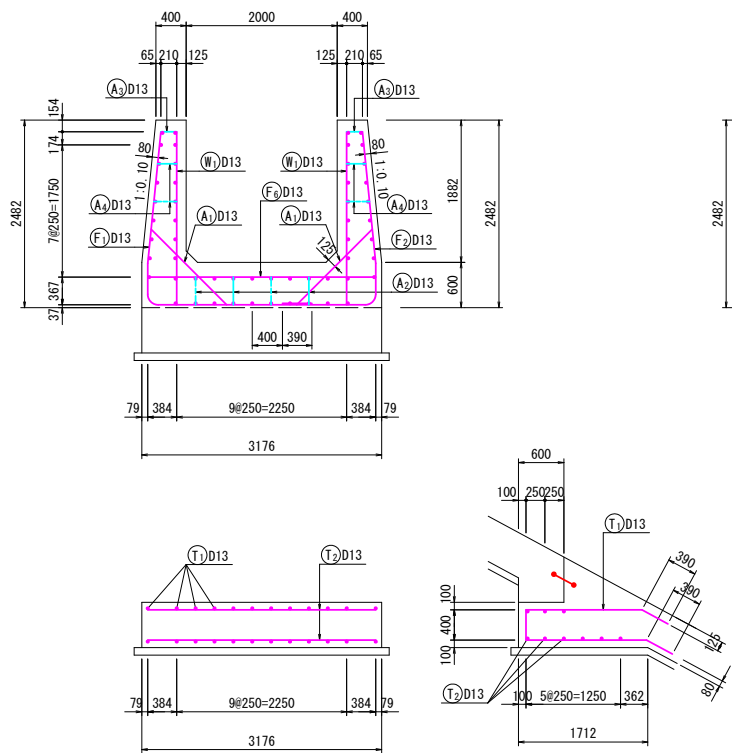
- かぶりは80mmを確保する。
ただし、水路内側のかぶりは125mm (80mm+磨耗層45mm) を確保する。
- コンクリート強度σ_{ck}=21N/mm²
- 鉄筋の材質は全てSD295Aである。



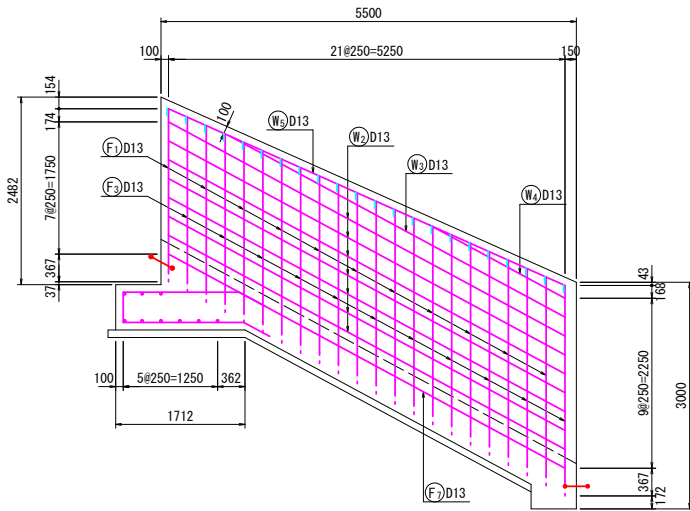
大濁池

図 面 の 名 称		図面番号
放水路上流配筋図加工図		17
縮尺 S=1:50		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

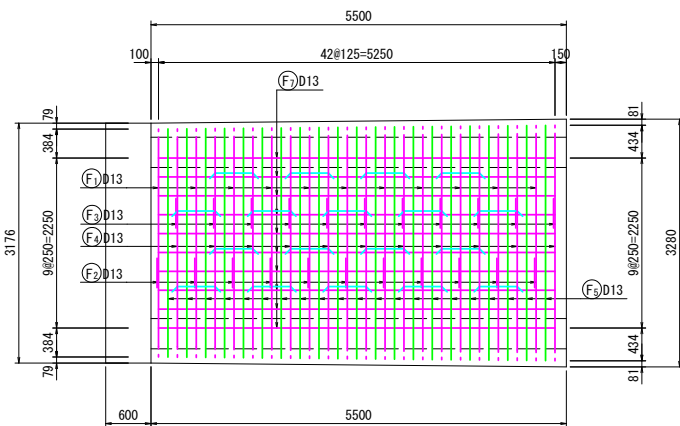
NO. 0+25. 253



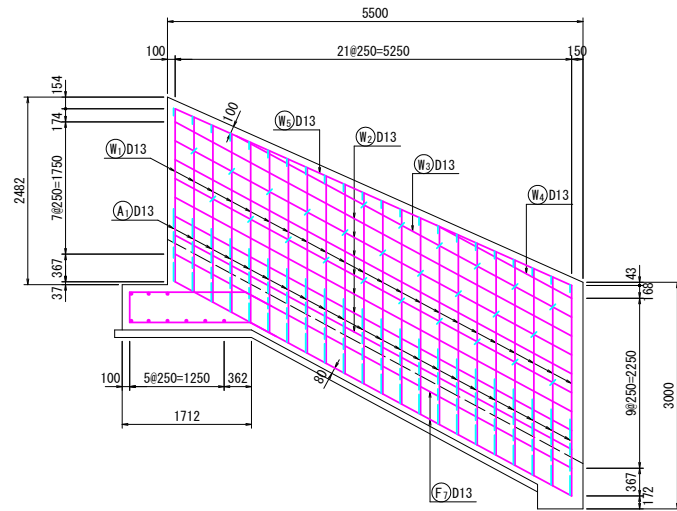
左岸側壁
外側



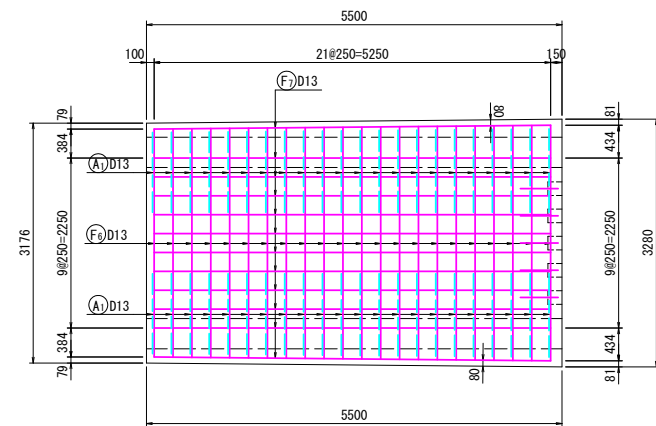
底版
下面



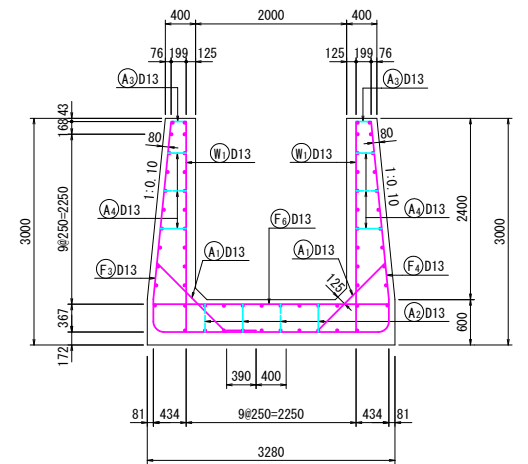
左岸側壁
内側



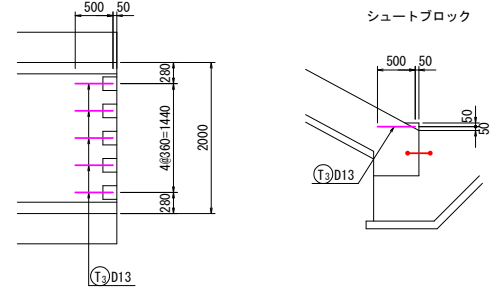
底版
上面



NO. 0+30. 753



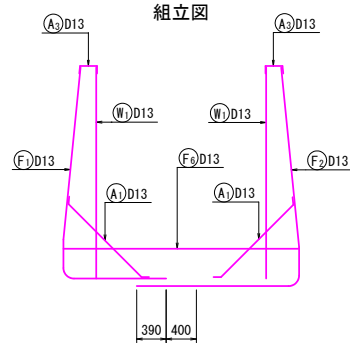
シュートブロック



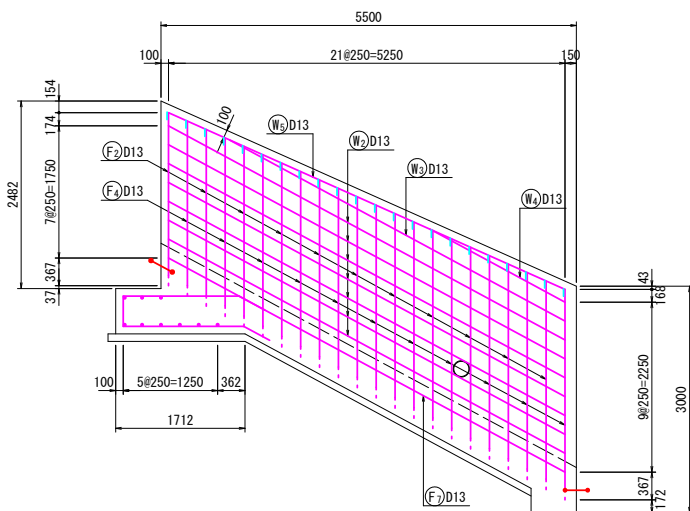
注意事項

- 継手定着長は30φ以上
- 継手位置は相互にずらす同一断面に集めてはならない。
- 継手位置を軸方向に相互にずらす距離は継手長さに鉄筋直径の25倍を加えた長さ以上とする。
- かぶりは80mmを確保する。
ただし、水路内側のかぶりは125mm (80mm+磨耗層45mm) を確保する。
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
- 鉄筋の材質は全てSD295Aである。
- 右岸側壁のVP管φ200に影響する鉄筋は最大300ピッチとしてずらしても良い。

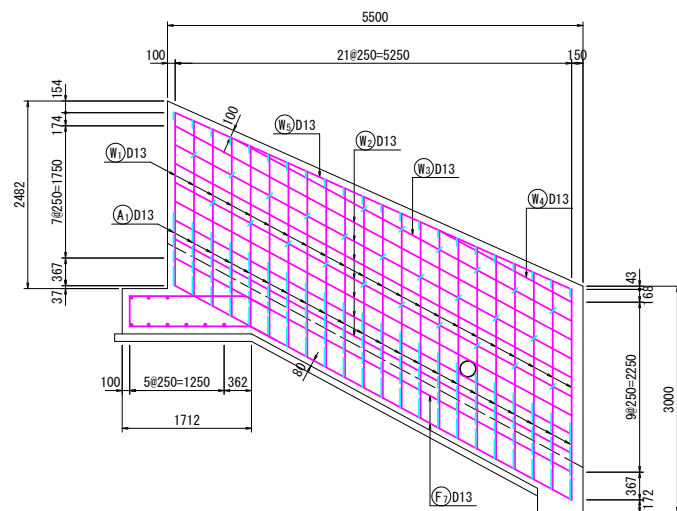
組立図



右岸側壁
外側



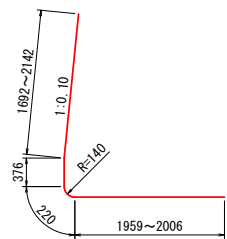
右岸側壁
内側



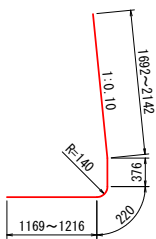
大濁池

図 面 の 名 称		図面番号
放水路下流配筋図 縮尺 S=1:50		18 24
測量		令和 年 月 日終了
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

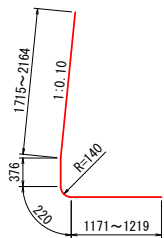
放水路下流鉄筋加工図 S=1:50



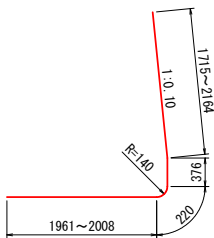
F1 11-D13 X 4500 (平均長)



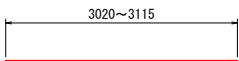
F2 11-D13 X 3710 (平均長)



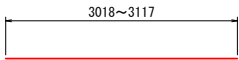
F3 11-D13 X 3740 (平均長)



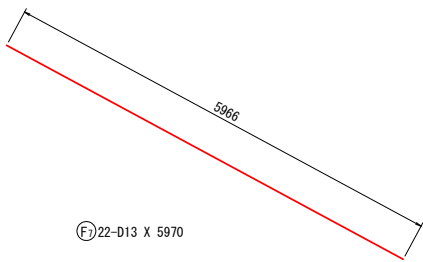
F4 11-D13 X 4520 (平均長)



F5 21-D13 X 3070 (平均長)



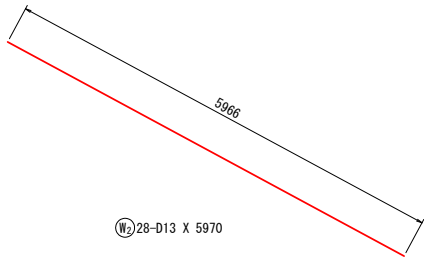
F6 22-D13 X 3070 (平均長)



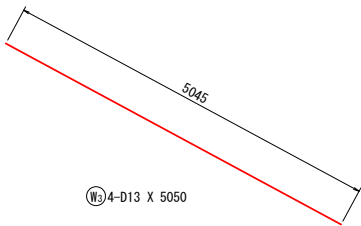
F7 22-D13 X 5970



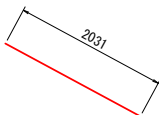
W1 44-D13 X 2540 (平均長)



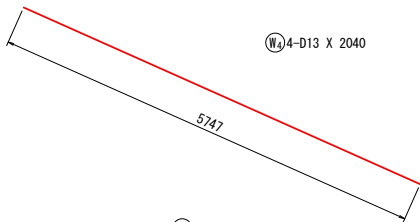
W2 28-D13 X 5970



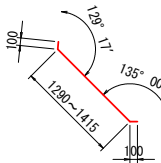
W3 4-D13 X 5050



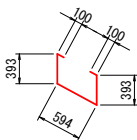
W4 4-D13 X 2040



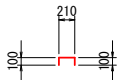
W5 4-D13 X 5750



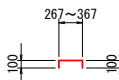
A1 44-D13 X 1560 (平均長)



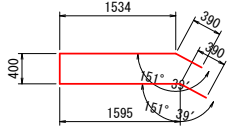
A2 18-D13 X 1580



A3 44-D13 X 410



A4 52-D13 X 520 (平均長)



T1 12-D13 X 4310



T2 9-D13 X 3020



T3 5-D13 X 500

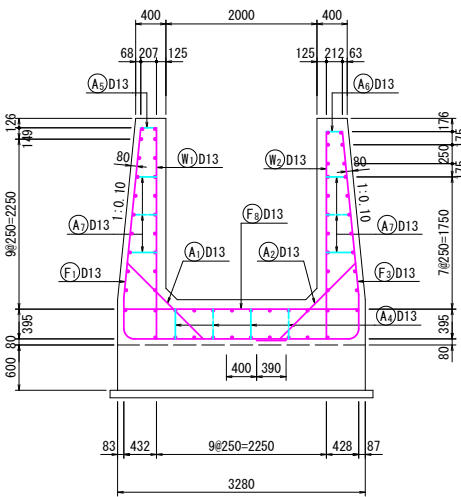
鉄筋質量表						
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量
F 1	D13	4500	11	0.995	4.478	49.258
F 2	D13	3710	11	0.995	3.691	40.601
F 3	D13	3740	11	0.995	3.721	40.931
F 4	D13	4520	11	0.995	4.497	49.467
F 5	D13	3070	21	0.995	3.055	64.155
F 6	D13	3070	22	0.995	3.055	67.210
F 7	D13	5970	22	0.995	5.940	130.680
442.302						
W 1	D13	2540	44	0.995	2.527	111.188
W 2	D13	5970	28	0.995	5.940	166.320
W 3	D13	5050	4	0.995	5.025	20.100
W 4	D13	2040	4	0.995	2.030	8.120
W 5	D13	5750	4	0.995	5.721	22.884
328.612						
A 1	D13	1560	44	0.995	1.552	68.288
A 2	D13	1580	18	0.995	1.572	28.296
A 3	D13	410	44	0.995	0.408	17.952
A 4	D13	520	52	0.995	0.517	26.884
141.420						
T 1	D13	4310	12	0.995	4.288	51.456
T 2	D13	3020	9	0.995	3.005	27.045
T 3	D13	500	5	0.995	0.498	2.490
80.991						
合 計 D13				993.325 kg		
総質量				993.325 kg		

大濁池

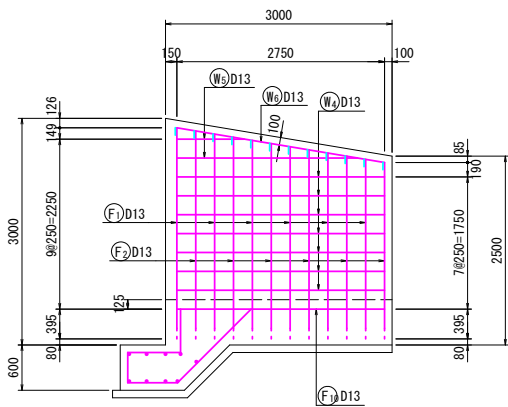
図 面 の 名 称		図面番号
放水路下流鉄筋加工図		19
縮尺 S=1:50		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

減勢工配筋図 S=1:50

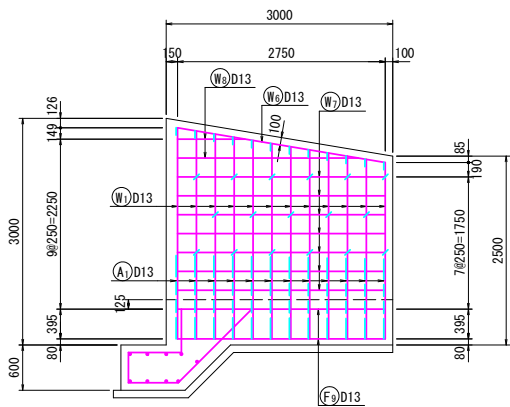
NO. 0+30. 753



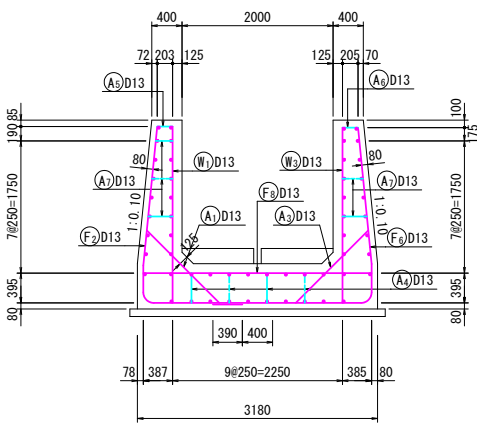
左岸側壁
外側



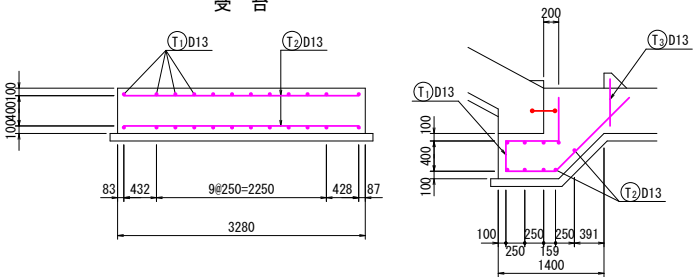
左岸側壁
内側



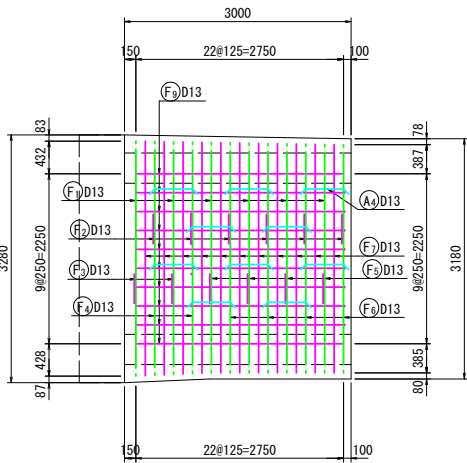
NO. 0+33. 753



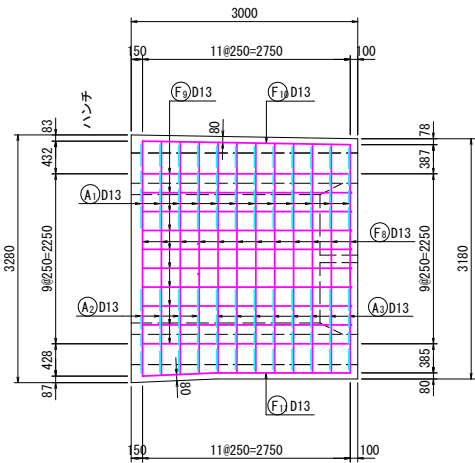
受台



底版
下

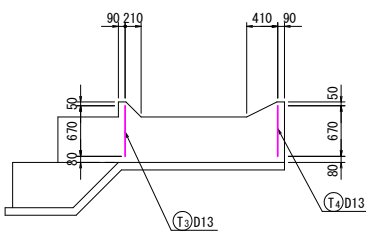


底版
上



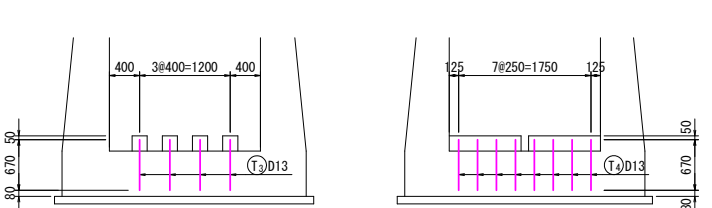
バップルピア

エンドシル

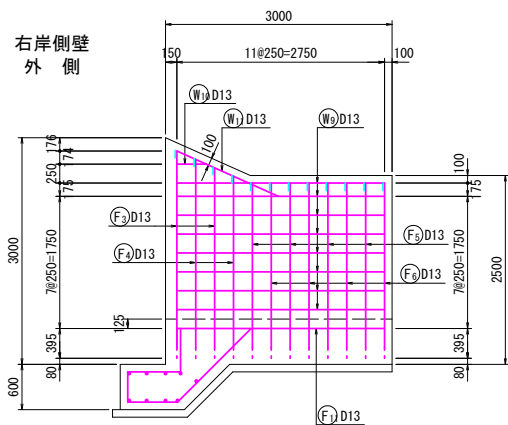


バップルピア

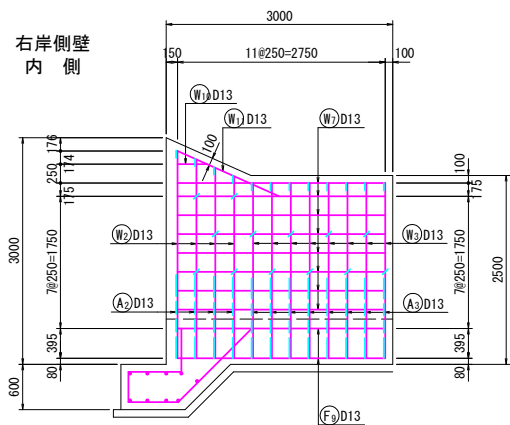
エンドシル



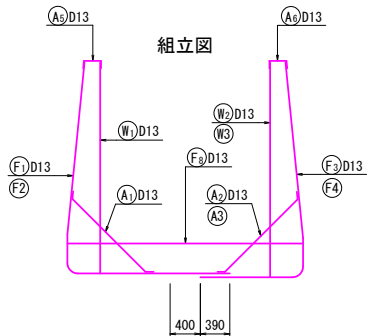
右岸側壁
外側



右岸側壁
内側

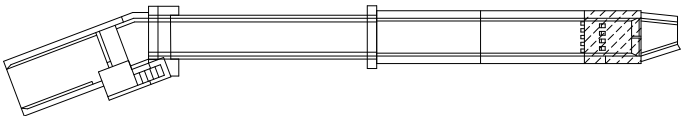


組立図



注意事項

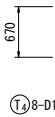
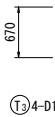
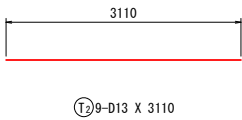
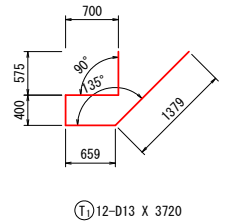
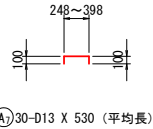
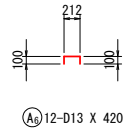
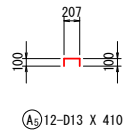
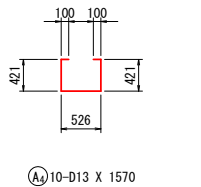
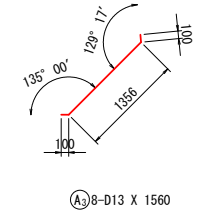
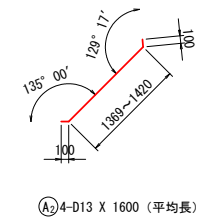
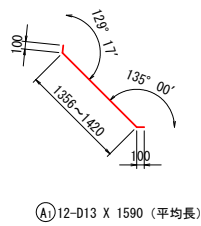
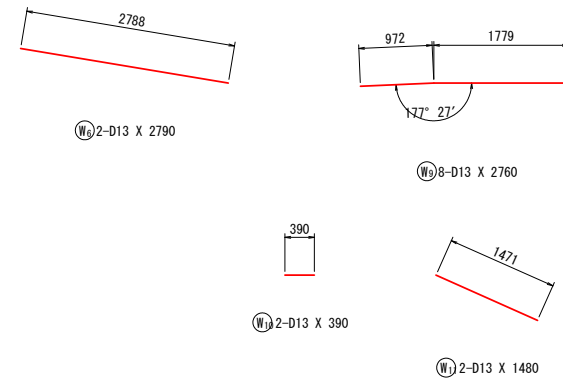
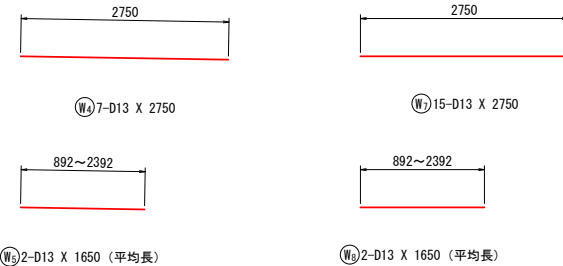
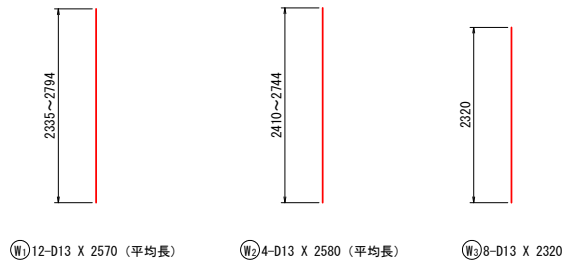
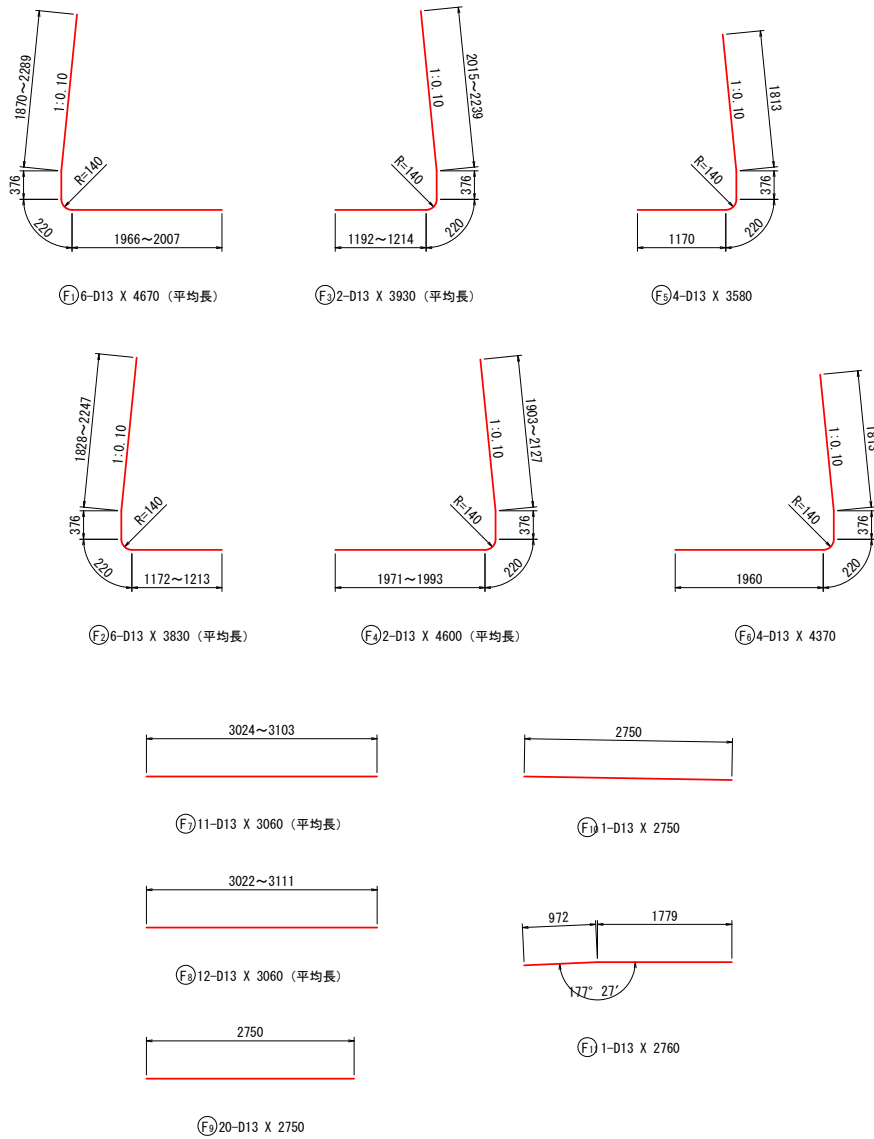
- 継手定着長は30φ以上
- 継手位置は相互にずらして同一断面に集めてはならない。
- 継手位置を軸方向に相互にずらす距離は継手長さに鉄筋直径の25倍を加えた長さ以上とする。
- かぶりは80mmを確保する。
ただし、水路内側のかぶりは125mm (80mm+磨耗層45mm) を確保する。
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$
- 鉄筋の材質は全てSD295Aである。



大濁池

図面の名称		図面番号
減勢工配筋図		20
縮尺 S=1:50		24
測量	令和 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

減勢工鉄筋加工図 S=1:50



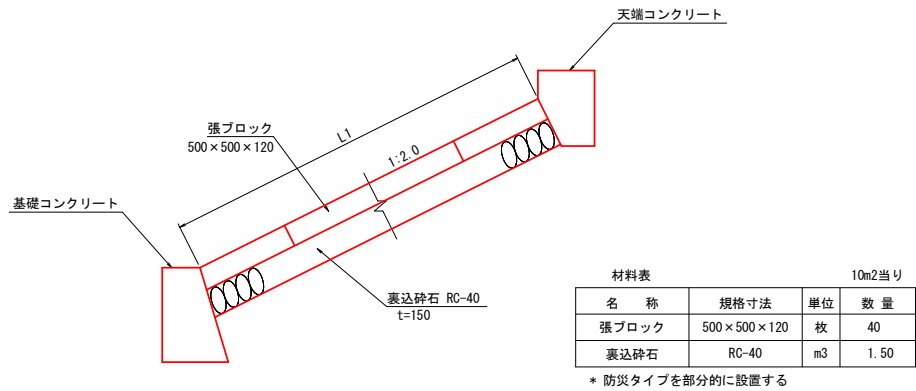
鉄筋質量表						
種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量
F 1	D13	4670	6	0.995	4.647	27.882
F 2	D13	3830	6	0.995	3.811	22.866
F 3	D13	3930	2	0.995	3.910	7.820
F 4	D13	4600	2	0.995	4.577	9.154
F 5	D13	3580	4	0.995	3.562	14.248
F 6	D13	4370	4	0.995	4.348	17.392
F 7	D13	3060	11	0.995	3.045	33.495
F 8	D13	3060	12	0.995	3.045	36.540
F 9	D13	2750	20	0.995	2.736	54.720
F 10	D13	2750	1	0.995	2.736	2.736
F 11	D13	2760	1	0.995	2.746	2.746
						229.599
W 1	D13	2570	12	0.995	2.557	30.684
W 2	D13	2580	4	0.995	2.567	10.268
W 3	D13	2320	8	0.995	2.308	18.464
W 4	D13	2750	7	0.995	2.736	19.152
W 5	D13	1650	2	0.995	1.642	3.284
W 6	D13	2790	2	0.995	2.776	5.552
W 7	D13	2750	15	0.995	2.736	41.040
W 8	D13	1650	2	0.995	1.642	3.284
W 9	D13	2760	8	0.995	2.746	21.968
W 10	D13	390	2	0.995	0.388	0.776
W 11	D13	1480	2	0.995	1.473	2.946
						157.418

種 別	径	長 さ	本 数	単位質量	一本当り質量	質 量	摘 要
A 1	D13	1590	12	0.995	1.582	18.984	∟ (平均長)
A 2	D13	1600	4	0.995	1.592	6.368	∟ (平均長)
A 3	D13	1560	8	0.995	1.552	12.416	∟
A 4	D13	1570	10	0.995	1.562	15.620	[]
A 5	D13	410	12	0.995	0.408	4.896	□
A 6	D13	420	12	0.995	0.418	5.016	□
A 7	D13	530	30	0.995	0.527	15.810	□ (平均長)
						79.110	
T 1	D13	3720	12	0.995	3.701	44.412	∟
T 2	D13	3110	9	0.995	3.094	27.846	—
T 3	D13	670	4	0.995	0.667	2.668	
T 4	D13	670	8	0.995	0.667	5.336	
						80.262	
合 計				D13	546.389 kg		
総質量					546.389 kg		

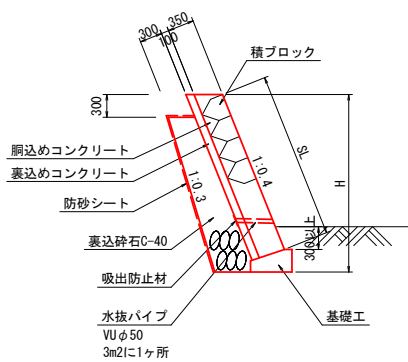
大濁池		
図 面 の 名 称	図面番号	
減勢工鉄筋加工図	21	
縮尺 S=1:50	24	
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製 図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

付帯工構造図

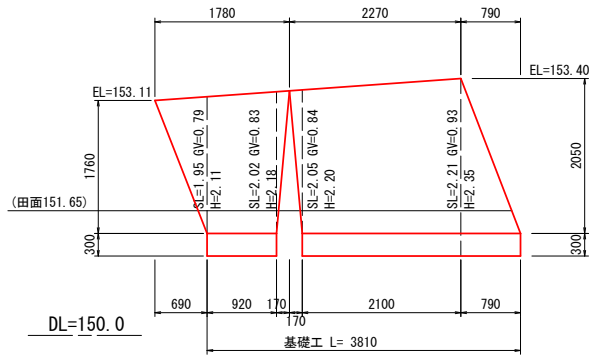
張ブロック S=1:20



腰積みブロック S=1:50



腰積みブロック展開図 S=1:50



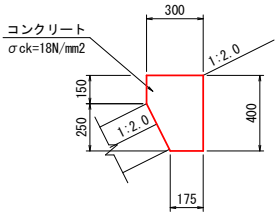
VP管φ150 S=1:20



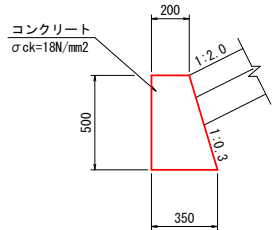
VP管φ200 S=1:20



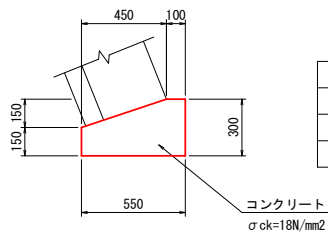
天端コンクリート S=1:20



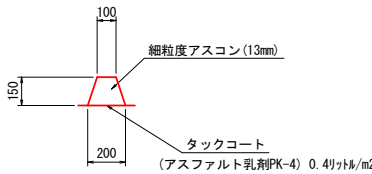
基礎コンクリート S=1:20



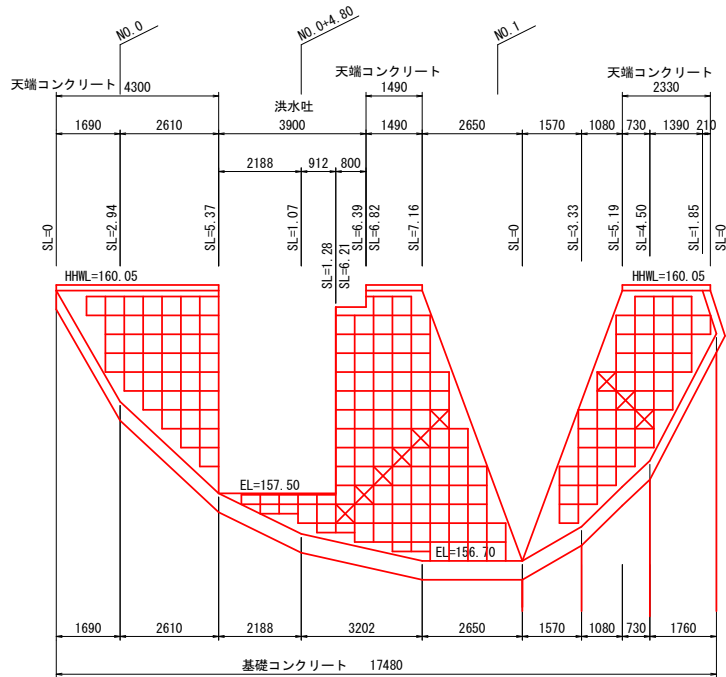
基礎工 S=1:20



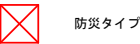
アスカーブ S=1:20



張ブロック S=1:100



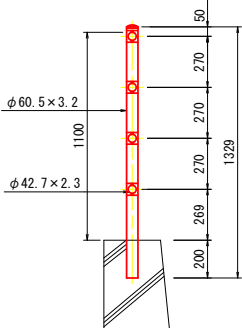
張りブロック数量表			
名 称	規格寸法	単位	数 量
凹型 Atype	500×500×120	枚	159
凹型 Btype	500×250×120	枚	11
凹型 防災	500×500×120	枚	9



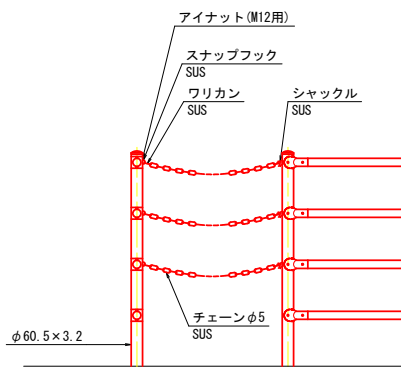
転落防止柵 S=1:20

PZ-L4-11C

コンクリート建込用(W)

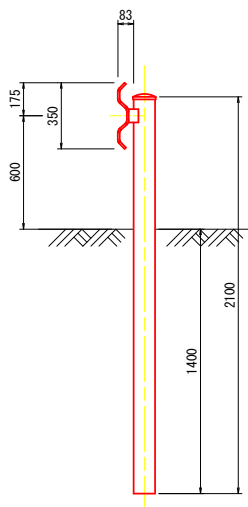


チェーン(参考図)



ガードレール S=1:20

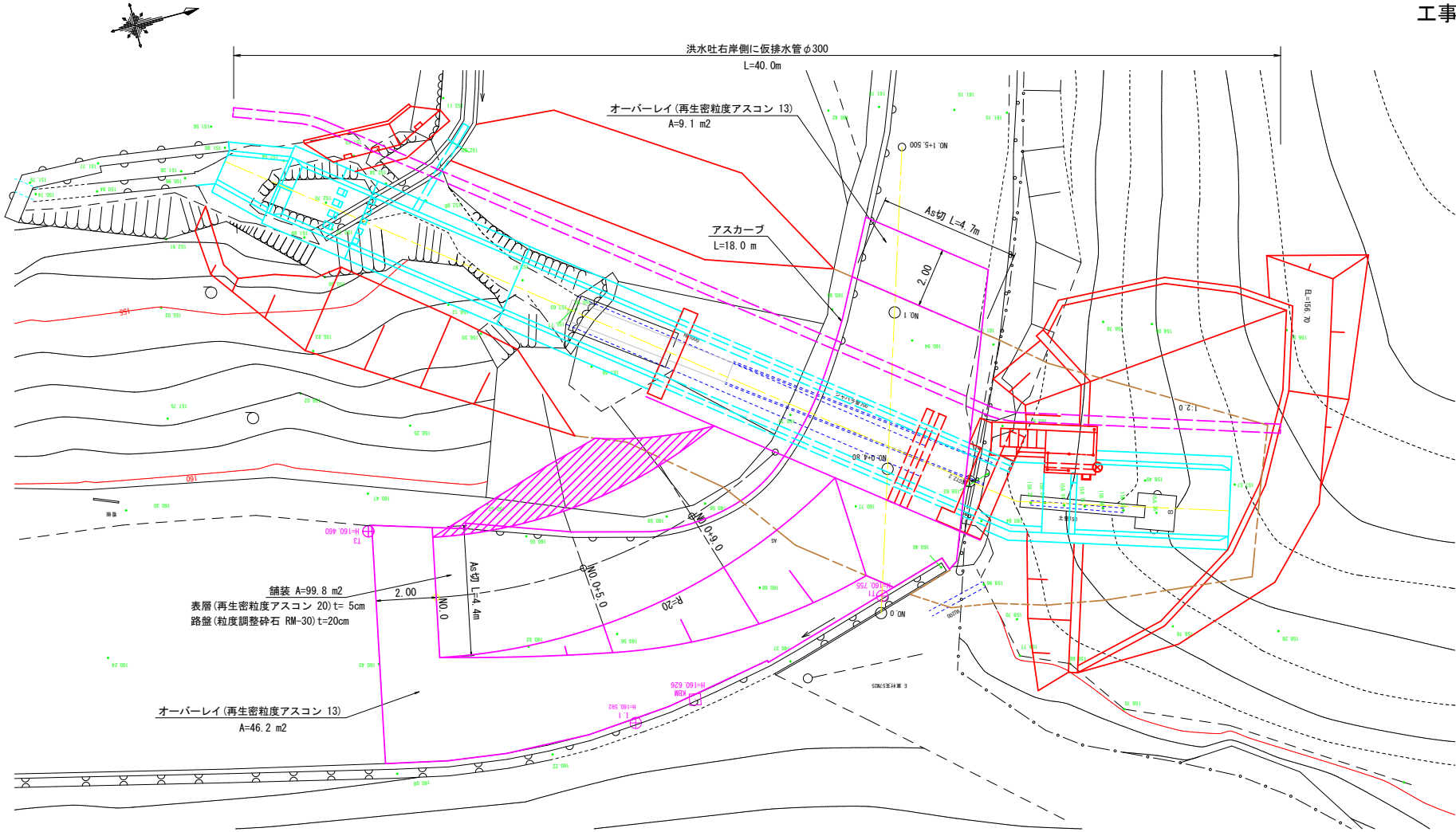
Gr-C-4E(土中用)



大濁池

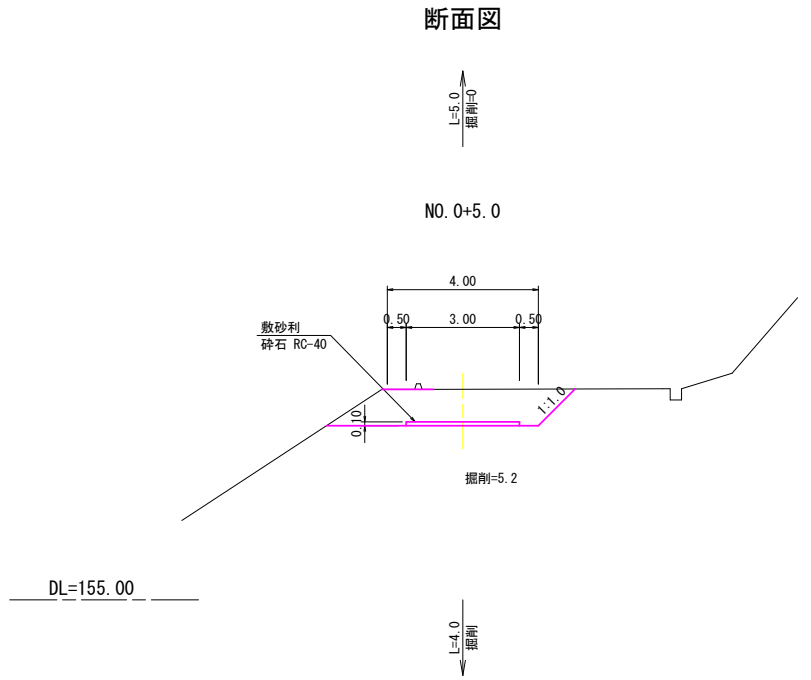
図 面 の 名 称	図面番号
付帯工構造図	23
縮尺 図示	24
測量	令和 年 月 日終了
設計	
製 原図	
図 複写	
福山市東村町地内	
福 山 市	

平面図

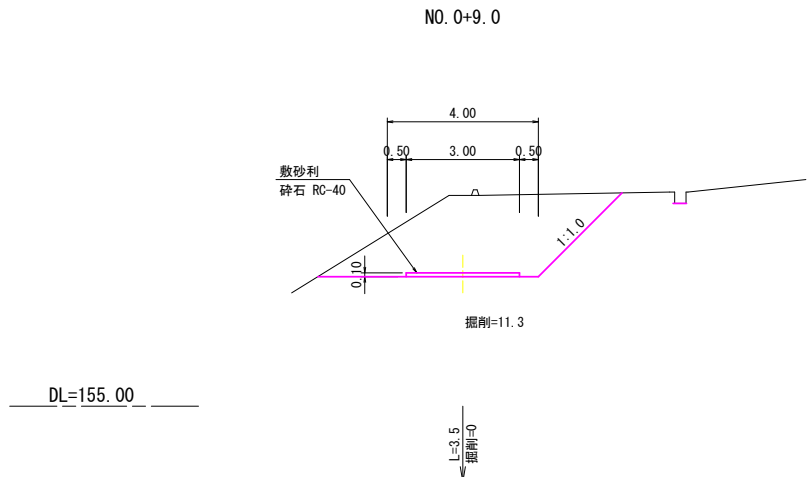


工事用進入路案 S=1:100

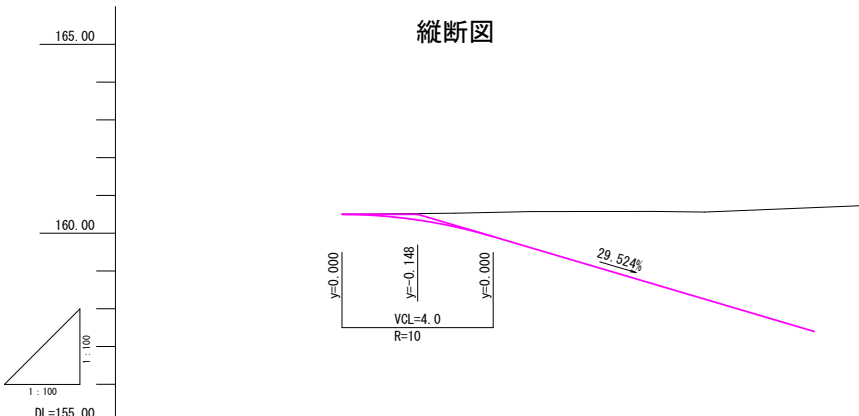
断面図



断面図



縦断面図



勾配					
計画高	160.500	160.352	159.614	158.433	157.400
現況地盤高	160.500				
追加距離	0.000	2.000	5.000	9.000	12.500
単距離	0.000	2.000	3.000	4.000	3.500
測点	NO. 0	NO. 0+2.00	NO. 0+5.00	NO. 0+9.00	NO. 0+12.50

平面図より断面図 縦断面図を作成

大濁池

図面の名称		図面番号
工事用進入路案		24
縮尺 S=1:100		24
測量	令和 年 月 日終了	
設計		
製図	原図	
	複写	
福山市東村町地内		
福 山 市		

参 考 図 書

施工単価表

表土剥取
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 44.26% 労務構成比: 36.73% 材料構成比: 19.01% 処分土 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 328.0300

SPK24040001 障害無し 5,000m3未満 単第 0 -0001号表 1 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

掘削
土砂 オープンカット 押土無し
機械構成比: 44.26% 労務構成比: 36.73% 材料構成比: 19.01% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 328.0300

SPK24040001
障害無し 5,000m3未満
軟弱土・処分土
1
m3 当り

単第 0 -0002号表

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	44.26%		バックハウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
運転手(特殊)	36.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	19.01%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=2 押土無し E=3 5,000m3未満			B=1 オープンカット D=1 障害無し		

施工単価表

掘削
土砂 片切掘削
機械構成比: 10.05% 労務構成比: 84.73% 材料構成比: 5.22% 鋼土 (現況堤体土) 市場単価構成比: 0.00% 単第 0 -0003号表 1 m3 当り 標準単価: 1,249.0000

SPK24040001

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3	10.05%		バックハウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00128 MTPT00128
普通作業員	74.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	10.09%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	5.22%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=2 片切掘削		

施工単価表

床掘り
土砂 標準
機械構成比: 23.14% 労務構成比: 53.20% 材料構成比: 23.66% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 236.9800

SPK24040015
土留方式無し 障害無し
鋼土 (現況堤体鋼土)・砂質土

単第 0 -0004号表
1
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	23.14%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
運転手(特殊)	53.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	23.66%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式無し E=1 -(全ての費用)			B=1 標準 D=1 障害無し		

施工単価表

頁0 -0005

流用土盛土A
砂質土 W<1.0

振動口ーヲ0.8~1.1t

单第 0 -0005号表

10

m3

当り

[illegible]

盛土・埋戻（人力土工）
砂・砂質土

頁0 -0006

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0007

振動口ーラ締固め

W<1.0m

路体・築堤

单第 0 -0007号表

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

機-31_振動ローラ運転
ハンドガイド式 0.8~1.1t

单第 0 -0008号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

流用土盛土B

鋼土（現況堤体土） 1.0 $W < 2.5$

振動口ーラ3~4t

单第 0 -0009号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

振動ローラ締固め

1.0m $W < 2.5m$

路体・築堤

单第 0 -0010号表

100

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

機-28 振動口一ヲ運転 (賃料)

搭乗式コンバインド型 3.0~4.0t

单第 0 -0011号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

流用土盛土B

ランダム材 1.0 W < 2.5

振動口ーラ3~4t

单第 0 -0012号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

流用土盛土E

ランダム材 構造物周辺

タンパ60～100kg

单第 0 -0013号表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

单第 0 -0014号表

頁0 -0014

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

機械投入(バックホウ)
土砂
機械構成比: 27.26% 労務構成比: 61.70% 材料構成比: 11.04% 市場単価構成比: 0.00%
SPK24040007 小規模(標準)
単第 0 -0015号表 1 m3 当り
標準単価: 1,068.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

单第 0 -0016号表

頁0 -0016

10

m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0017

路床盛土D

砂質土 $4.0 < W$

振動ローラ11～12t

单第 0 -0017号表

1 m3 当り

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

路床盛土

SPKN2404005

単第 0 -0018号表

1

356.4700

施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満

障害無し

m3 当り

機械構成比: 18.46%

労務構成比: 65.59%

材料構成比: 15.95%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	9.86%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	8.60%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	45.48%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.95%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0019

流用土盛土E

砂質土 構造物周辺

タンパ°60～100kg

单第 0 -0019号表

1 m3 当り

m3	当り
----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

流用土埋戾A

鋼土（現況堤体土） $W < 1.0$

振動ローラ0.8~1.1t

单第 0 -0020号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

流用土埋戻B

鋼土（現況堤体土） 1.0 $W < 2.5$

振動口ーラ3~4t

单第 0 -0021号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0022

流用土埋戻B

砂質土 1.0 $W < 2.5$

振動口ーラ3~4t

单第 0 -0022号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

流用土埋戻B

ランダム材 1.0 $W < 2.5$

振動口ーラ3~4t

单第 0 -0023号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

流用土埋戻D

鋼土 $4.0 < W$

振動ローラ11～12t

单第 0 -0024号表

1

m3

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

路体(築堤)盛土・埋戻

SPKN2404004

単第 0 -0025号表

施工幅員4.0m以上

施工数量20,000m3未満 障害無し

1

m3 当り

機械構成比: 17.97%

労務構成比:

66.93%

材料構成比: 15.10%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

231.6000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11~12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11~12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員4.0m以上 C=1 障害無し			B=1 施工数量20,000m3未満		

施工単価表

頁0 -0026

流用土埋戻E

鋼土（現況堤体土）構造物周辺

タンパ°60～100kg

单第 0 -0026号表

1 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど

数量

单 位

單 價

金額	
----	--

備

考

当り

機械併用埋戻(小規模土工)

1

m3

* * 単位当り * *

1

m3

单第 0-0014号表

施工単価表

頁0 -0027

流用土埋戻E

ランダム材 構造物周辺

タンパ°60～100kg

单第 0 -0027号表

1

m3

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

流用土埋戾E

砂質土 構造物周辺

タンパ60～100kg

单第 0 -0028号表

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

残土盛土

鋼土（現況堤体土） $W < 1.0$

振動ローラ0.8~1.1t

单第 0 -0029号表

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

基面整正
鋼土・ランダム材

SPK24040017

单第 0 -0030号表

1

m2 当り

機械構成比:	0.00%	労務構成比:	100.00%	材料構成比:	0.00%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	478.0000
--------	-------	--------	---------	--------	-------	----------	-------	-------	----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0031

法面整形

盛土部 法面締固め無し 現場制約無し

機械構成比: 12.42%

SPK24040025

レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

労務構成比: 75.20%

材料構成比: 12.38%

鋼土・ランダム材

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0031号表

1

m2

当り

標準単価: 433.3700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	12.42%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	33.11%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	28.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	13.33%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	12.38%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 盛土部 C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)			B=2 法面締固め無し D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土		

施工単価表

頁0 -0032

舗装版切断

SPK24040306

単第 0 -0032号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

t=0.05m

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比:

27.45%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

673.2600

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0033

鋪裝版切断

SPK24040306

单第 0 -0032号表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

 $t=0.05m$

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.2600

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 13.49%

SPK24040305
障害等無し 舗装版厚15cm以下
労務構成比: 80.49%

t=0.05m
材料構成比: 6.02%

単第 0 -0033号表
市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価: 207.0600

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックハウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックハウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0035

石積類機械とりこわし

空積 控 20 cm以上 60 cm未滿

とりこわし

t=0.3m

单第 0 -0034号表

10

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0036

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

单第 0 -0035号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

石積類機械とりこわし

空積 控 20 cm以上 60 cm未滿

破碎材集積

t=0.3m

单第 0 -0036号表

10

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0038

構造物とりこわし工(無筋構造物)

機械施工

单第 0 -0037号表

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0039

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

機械施工

单第 0 -0038号表

1	m3	当り
---	----	----

[illegible]

高密度ポリエチレン管機械撤去工
φ800

頁0 -0040

100 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊 山積0.45m3

单第 0 -0040号表

1 目 当り

[illegible]

硬質塩化ビニル管撤去工
φ200

頁0 -0042

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0043

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付1.7t吊 山積0.28m3

单第 0 -0042号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0044

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去

コンクリート建込

A, B, C (支柱間隔2m)

单第 0 -0043号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0045

土砂等運搬

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 45.59%

労務構成比: 39.52%

材料構成比: 14.89%

SPK24040002

DID区間無し 距離6.5km以下(5.5km超)

表土剥取

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0044号表

1

m3

当り

標準単価: 1,190.2000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=20 距離6.5km以下(5.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

土砂等運搬
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 45.59% 労務構成比: 39.52% 材料構成比: 14.89%

SPK24040002
DID区間無し 距離4.0km以下(3.0km超)

泥土掘削
市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0045号表

1
標準単価: 850.1400

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=13 距離4.0km以下(3.0km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間無し
労務構成比: 38.97%

運搬距離11.5km以下(6.5km超)
材料構成比: 16.08%

舗装版破碎
市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0046号表

1
標準単価:

m3 当り
3,512.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=46 運搬距離11.5km以下(6.5km超)		

施工単価表

頁0 -0048

石積殻運搬
標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 45.59% 労務構成比: 39.52% 材料構成比: 14.89%

SPK24040002
DID区間無し 距離6.5km以下(5.5km超)

石積類機械とりこわし
市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0047号表
1
標準単価: 1,190.2000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	45.59%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	39.52%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=20 距離6.5km以下(5.5km超)			B=1 バックホウ山積0.8m3(平積0.6m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離10.9km以下(8.0km超) 構造物とりこわし(無筋)
単第 0 -0048号表

1
標準単価: 1,735.9000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=44 運搬距離10.9km以下(8.0km超)		

施工単価表

頁0 -0050

殻運搬
Co(鉄筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超) 構造物とりこわし(有筋)
単第 0 -0049号表

1
標準単価: 1,582.8000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 Co(鉄筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

頁0 -0051

種子散布工

[規]100m²以上250m²未滿

单第 0 -0050号表

1

m2

当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0052

コンクリートブロック張工
目地モルタルを使用しない場合

ブロック厚さ 12cm

単第 0 -0051号表

10

m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.15	人			
ブロック工	0.30	人			
普通作業員	0.43	人			
張りブロック 質量170kg/m2以上,厚120mm	10.0	m2			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.45m3	0.30	日			単第 0-0052号表
諸雑費	1	式			
合計	10	m2			
単位当り	1	m2			
A=2 C=7200 目地モルタルを使用しない場合 張ブロック単価(円/m2)			B=2 ブロック厚さ 12cm		

施工単価表

頁0 -0053

機-28_バックホウ運転(賃料)

クレーン付2.9t吊 山積0.45m3

单第 0 -0052号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0054

裏込工(ブロック張)
ブロック張り

単第 0 -0053号表

10

m3 当り

再生クラッシャーラン(R C - 4 0)

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.40	人			
普通作業員	0.80	人			
再生クラッシャーラン 40～0mm	11.1	m3			
諸雑費	16	%			
合計	10	m3			
単位当り	1	m3			
A=4 再生クラッシャーラン(R C - 4 0) C=0 裏込材単価(円 / m 3)			B=2 ブロック張り		

天端コンクリート
張ブロック

单第 0 -0054号表

頁0 -0055

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

現場打天端コンクリート

SPK24040052

単第 0 -0055号表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

労務構成比: 64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

60,947.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	2.63%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	21.70%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	15.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.81%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	7.44%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	31.42%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		E9999

施工単価表

頁0 -0057

現場打天端コンクリート

SPK24040052

单第 0 -0055号表

18-8-40BB

一般養生

1

m3 当り

機械構成比: 2.63%

勞務構成比：

64.40%

材料構成比: 32.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

60,947.0000

[illegible]

施工単価表

目地板
1工事当り使用量30m2未満
機械構成比：0.00%

SPK24040122
瀝青繊維質目地板 t=10mm
労務構成比：63.93%

単第 0 -0056号表
市場単価構成比：0.00%

1
標準単価：3,855.3000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	47.13%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	16.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
目地板 瀝青繊維質板 厚10mm	36.07%		瀝青繊維質目地板 厚さ10mm		TTPC00199 TTPT00199
積算単価			積算単価		EP001
A=1 1工事当り使用量30m2未満			B=1 瀝青繊維質目地板 t=10mm		

基礎コンクリート 張ブロック

单第 0 -0057号表

頁0 -0059

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0060

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

単第 0 -0058号表

18-8-40BB

基礎砕石無し

1

m3 当り

機械構成比: 1.83%

労務構成比: 67.86%

材料構成比: 30.31%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

65,798.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	1.83%		バックハウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
型わく工	20.52%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	16.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	9.73%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	29.10%		生コンクリート 高炉 18-8-25(20) W/C 60%		TTPCD0010 TTPT00003
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0061

現場打基礎コンクリート

SPK24040049

单第 0 -0058号表

18-8-40BB

基礎碎石無し

1

m3 当り

機械構成比: 1.83%

勞務構成比：

67.86%

材料構成比: 30.31%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

65,798.0000

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0062

コンクリートブロック積工(練積)
滑面ブロック

18-8-40BB

単第 0 -0059号表

1 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
昼間_ブロック積工【手間のみ】	1.000	m2			
時間的制約なし					
コンクリート積みブロック-滑面-<JISA5371> 280×420×350,参考質量41.2kg以上 8.5個/m2	8.500	個			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.246	m3			
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	0.112	m3			
諸雑費	1	式			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m2			
A=1 昼間施工 C=1 18-8-40BB F=1 18-8-40BB			B=1 - E=1 - H=0.1 裏込コンクリートの厚さ(m)		
I=1 滑面ブロック L=1 時間的制約なし			K=8.5 ブロックm2当り使用量(個/m2)		

施工単価表

頁0 -0063

裏込碎石

SPK24040045

単第 0 -0060号表

間知・平・連節・緑化ブロック

C-40

1

m3 当り

機械構成比: 9.68%

労務構成比: 66.52%

材料構成比: 23.80%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

6,906.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	9.68%		バックハウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
普通作業員	34.64%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	19.32%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	12.03%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
クラッシャーラン 40~0mm	19.63%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00005 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	4.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 間知・平・連節・緑化ブロック			B=2 C-40		

施工単価表

頁0 -0064

裹込碎石

SPK24040045

单第 0 -0060号表

間知・平・連節・緑化ブロック

C-40

機械構成比: 9.68% **勞務構成比:**

66.52%

材料構成比: 23.80%

23.80%

市場単価構成比: 0.00%

0.00%

1
標準単価：

1

m3 当り

6,906.5000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0065

1 m2 当り

[illegible]

基礎コンクリート 腰積ブロック

頁0 -0066

10 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0067

コンクリート

SPK24040153

単第 0 -0063号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 労務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

33,754.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度21,スランプ8,粗骨材40 W/C(55%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000012 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0068

コンクリート

SPK24040153

单第 0 -0063号表

無筋・鉄筋構造物 コンクリート(各種)

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79% 勞務構成比:

35.68% 材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.0000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0064号表

1
標準単価:

m2 当り
9,352.2000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.19%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.55%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.57%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0070

均しコンクリート
無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB
機械構成比: 0.00%

SPK24040153
人力打設
労務構成比: 36.88%

材料構成比: 63.12%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0065号表

1
標準単価:

m3 当り
31,375.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		21.70%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		6.72%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		5.98%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		63.12%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=2 H=1 K=1	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 現場内小運搬有り -(全ての費用)			B=3 F=2 J=1	人力打設 一般養生 -		

施工単価表

均しコン型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
均しコンクリート
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0066号表

1
標準単価:

m2 当り
4,714.1000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	58.35%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	20.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	6.13%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=5 均しコンクリート		

施工単価表

頁0 -0072

鉄筋工

SD295 D13

一般構造物 [規]10t未滿

单第 0 -0067号表

1 t 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0073

鉄筋工

SD295 D16

一般構造物 [規]10t未満

单第 0 -0068号表

1 t 当り

[illegible]

ダウエルバー取付
異形棒鋼

D 1 6

施 工 単 価 表

単第 0 -0069号表

頁0 -0074

10

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
異形棒鋼<JISG3112> SD295,D16 単位質量1.56kg/m	0.016	t			
硬質塩化ビニル管 一般管VP径20長4.0m	1.25	本			
土木一般世話役	0.03	人			
普通作業員	0.14	人			
諸雑費	1	式			
* * * 合 計 * * *	10	本			
* * 単位当り * *	1	本			
A=1 D 1 6					

施工単価表

止水板
CF 300*7

SPK24040123

単第 0 -0070号表

1
m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 55.14%

材料構成比: 44.86%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 2,814.4000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	40.77%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.37%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
止水板 CF300×7	44.86%		塩ビ製止水板 CF 幅200×厚さ5mm		F0000000014 TTPT00198
積算単価			積算単価		EP001
A=9 止水板(各種)			B=14 【F】止水板(m)		

施 工 単 価 表

頁0 -0076

サイド・アンダードレーン工（サイドドレーン）
クラッシャーラン（C - 40）

単第 0 -0071号表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
クラッシャーラン 40～0mm	1.13	m3			0.9*1.25
土木一般世話役	0.06	人			
普通作業員	0.44	人			
諸雑費	8.00	%			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A=4 クラッシャーラン（C - 40） C=2650 砕石単価（円 / m3）			B=1 単価0円区分（フィルター材）する		

施 工 単 価 表

頁0 -0077

ウィーブホール取付

型枠及び鉄筋 側壁 50mm 集水

単第 0 -0072号表

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウィーブホール φ 50 L=150 ~ 500mm	10	個			
土木一般世話役	0.02	人			
普通作業員	0.18	人			
ウィーブホール用フィルタ φ 50	10	個			
普通作業員	0.04	人			
諸雑費	1	式			
* * * 合 計 * * *	10	箇所			
* * 単位当り * *	1	箇所			

越流堰
無筋構造物

单第 0 -0073号表

1 式 当り

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0079

コンクリート

SPK24040153

単第 0 -0074号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0080

コンクリート

SPK24040153

单第 0 -0074号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

勞務構成比：

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.0000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK24040155
鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第 0 -0075号表

1
標準単価:

m2 当り
12,676.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		44.70%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		32.99%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		10.03%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=3	鉄筋・無筋構造物(合板円形型枠使用)		

施工単価表

頁0 -0082

操作台 鉄筋構造物

$$\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$$

单第 0 -0076号表

1 式 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0083

簡易ゲート設置工

単第 0 -0077号表

1 門 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機器単体費 ステンレス製内ねじ式ゲート φ150 L=1770	1.0	門			
輸送費	1.0	式			
据付材料費	3.0	式			
据付補助材料費	1.5	式			
施設機械据付工	4.8	人			
普通作業員	1.2	人			
<賃>トラック(クレーン装置付) 積載質量2t(2.9t吊)	1.0	日			
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.0	日			
* * 単位当り * *	1	門			

施 工 単 価 表

頁0 -0084

硬質ポリ塩化ビニル管人力布設
直管（両差し口）V P

単第 0 -0078号表

10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 一般管VP径150長4.0m	2.44	本			
土木一般世話役	0.09	人			
特殊作業員	0.13	人			
普通作業員	0.19	人			
諸雑費	2.00	%			
＊ ＊ ＊ 合 計 ＊ ＊ ＊	10	m			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	m			
A=1 V P C=1 直管（両差し口）			B=12 1 5 0 mm D=1 -		

施工単価表

頁0 -0085

单第 0 -0079号表

1 式 当り

階段工 無筋構造物

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0086

コンクリート

SPK24040153

単第 0 -0080号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 36.88% 材料構成比: 63.12% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 31,375.0000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
普通作業員		21.70%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員		6.72%		特殊作業員			RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役		5.98%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)		63.12%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%			TTPCD0010 TTPT00343
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=2 H=1 K=1	無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 現場内小運搬有り -(全ての費用)			B=3 F=2 J=1	人力打設 一般養生 -		

施工単価表

頁0 -0087

1号止壁
無筋構造物

单第 0 -0081号表

1 式 当り

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0088

2号止壁
無筋構造物

单第 0 -0082号表

1 式 当り

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0089

均しコンクリート

SPK24040153

単第 0 -0083号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

労務構成比:

35.68%

材料構成比:

60.53%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

33,754.0000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.58%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.10%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.64%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	58.70%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.73%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0090

均しコンクリート

SPK24040153

单第 0 -0083号表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.79%

勞務構成比:

35.68%

材料構成比: 60.53%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

33,754.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0091

ボックスカルバート工

B2000 × H1000 L=12.0m

二次製品

单第 0 -0084号表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0092

ボックスカルバート

SPK24040091

単第 0 -0085号表

据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93%

労務構成比: 16.71%

材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

125,110.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.36%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	1.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
D-BOX 2000×1000-2000 T-25 6180kg	80.36%		ボックスカルバート RC B1500×H1000×L2000 T-25 土被り0.5~3.0m		F0000000026 TTPT00159
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 1.25<B 2.5_0<H 1.25 E=26 【F】RCボックスカルバート(個) G=2 PC鋼材による縦締め有り			B=3 製品長2.0m/個 D=45 ボックスカルバート(各種) F=3 均しコンクリート H=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0093

ボックスカルバート

SPK24040091

单第 0 -0085号表

据付 $1.25 < B$ $2.5_0 < H$ 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93% 労務構成比: 16.71% 材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価： 125,110.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0094

ボックスカルバート

SPK24040091

単第 0 -0086号表

据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93%

労務構成比: 16.71%

材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

125,110.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.36%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	1.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
D-BOX 2000×1000-2000 T-25 箱 差筋×21 6180kg	80.36%		ボックスカルバート RC B1500×H1000×L2000 T-25 土被り0.5~3.0m		F0000000027 TTPT00159
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 1.25<B 2.5_0<H 1.25 E=27 【F】RCボックスカルバート(個) G=2 PC鋼材による縦締め有り			B=3 製品長2.0m/個 D=45 ボックスカルバート(各種) F=3 均しコンクリート H=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0095

ボックスカルバート

SPK24040091

单第 0 -0086号表

据付 $1.25 < B$ $2.5_0 < H$ 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93% **勞務構成比:**

16.71%

材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

125,110.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0096

ボックスカルバート

SPK24040091

単第 0 -0087号表

据付 1.25<B 2.5_0<H 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93%

労務構成比: 16.71%

材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

125,110.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.36%		ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型]25t吊		KTPC00014 KTPT00014
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	1.92%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	1.84%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
D-BOX 2000×1000-2000 T-25 特配筋 箱 差筋×21 6180kg	80.36%		ボックスカルバート RC B1500×H1000×L2000 T-25 土被り0.5~3.0m		F0000000028 TTPT00159
積算単価			積算単価		EP001
A=1 据付 C=2 1.25<B 2.5_0<H 1.25 E=28 【F】RCボックスカルバート(個) G=2 PC鋼材による縦締め有り			B=3 製品長2.0m/個 D=45 ボックスカルバート(各種) F=3 均しコンクリート H=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0097

ボックスカルバート

SPK24040091

单第 0 -0087号表

据付 $1.25 < B$ $2.5_0 < H$ 1.25

ボックスカルバート(各種)

1 m 当り

機械構成比: 2.93% **勞務構成比:**

16.71%

材料構成比: 80.36%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

125,110.0000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0098

止水壁
無筋構造物

$$\sigma_{ck} = 18 \text{ N/mm}^2$$

单第 0 -0088号表

1 式 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0099

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場

単第 0 -0089号表

手摺先行型枠組足場

100

掛m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1~3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			
合計	100	掛m2			
単位当り	1	掛m2			
A=1 手摺先行型枠組足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

施工単価表

頁0 -0100

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径 1 5 0 mm

施工規模 20m未滿

市場単価 [機・労・材]

单第 0 -0090号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0101

硬質塩化ビニル管設置工

呼び径 200 mm

施工規模 20m未滿

市場単価 [機・労・材]

单第 0 -0091号表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0102

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第 0 -0092号表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,750.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.91%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.14%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.56%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.04%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.98%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.70%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0103

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第 0 -0092号表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.43%

労務構成比: 9.93%

材料構成比: 88.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,750.5000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	85.53%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.53%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.49%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0104

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第 0 -0093号表

RM-30

全仕上り厚100mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 9.88%

労務構成比: 33.13%

材料構成比: 56.99%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	3.96%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.13%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.01%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	15.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	5.15%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	5.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.52%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0105

上層路盤(車道・路肩部)

SPK24040234

単第 0 -0093号表

RM-30 全仕上り厚100mm 1層施工 1 m2 当り
機械構成比: 9.88% 労務構成比: 33.13% 材料構成比: 56.99% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 569.6700

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30～0mm	53.57%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=100 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0106

オーバーレイ

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.35%

労務構成比: 9.47%

SPK24040241

1層当り平均仕上厚6mm

材料構成比: 89.18%

単第 0 -0094号表

市場単価構成比: 0.00%

1
標準単価:

m2 当り

1,836.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0107

オーバーレイ
平均幅員3.0m超

SPK24040241

単第 0 -0094号表

1層当り平均仕上厚6mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35% 労務構成比: 9.47% 材料構成比: 89.18% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,836.0000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=7 G=1 I=1 平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)			B=6 E=2 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):6.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0108

アスカープ

SPK24040245

単第 0 -0095号表

断面積215cm2以上235cm2未満

再生細粒度アスファルト混合物(13)

1 m 当り

機械構成比: 3.62%

労務構成比:

51.60%

材料構成比:

44.78%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,184.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	2.05%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
アスファルトカーバ ガソリンエンジン駆動式 能力4.0～4.5m3/h	1.37%		アスファルトカーバ ガソリンエンジン駆動式 能力4.0～4.5m3/h		MTPC00055 MTPT00055
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	23.35%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.39%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	8.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(一般)	7.28%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生細粒度(13)	43.47%		再生細粒度アスコン 13		TTPC00025 TTPT00025

施工単価表

アスカーブ

SPK24040245

単第 0 -0095号表

断面積215cm2以上235cm2未満

再生細粒度アスファルト混合物(13)

1

機械構成比: 3.62%

労務構成比: 51.60%

材料構成比: 44.78%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 1,184.5000

m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2 ~ 4KL積載車給油	0.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
ガソリン, レギュラー スタンド渡し, スタンド給油	0.33%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=6 断面積215cm2以上235cm2未満 C=1 - E=1 -(全ての費用)			B=2 再生細粒度アスファルト混合物(13) D=1 -		

防護柵設置工(Gr) 土中建込

頁0 -0110

单第 0 -0096号表

1 m 当り

- 塗装品 Gr-C-4E [規]21m未満

[illegible]

施工単価表

頁0 -0111

横断・転落防止柵 コンクリート建込

ビーム式・パネル式 [規]100m未満

転落防止柵-標準品-4段ビーム型, 白色

单第 0 -0097号表

1 m 当り

[illegible]

施 工 単 価 表

頁0 -0112

防護柵等の支柱削孔
φ 1 5 0 mm以下

単第 0 -0098号表

100

本 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	3.33	人			0.7*4.76
特殊作業員	4.76	人			1*4.76
普通作業員	4.76	人			1*4.76
コア採取器運転 コア採取器 φ 5 0 ~ 1 5 0 mm	4.76	日			単第 0-0099号表 1*4.76
コアボーリング用 ダイヤモンドビット φ 150長70mm	2.5	個			
コアボーリング用 コアチューブ φ 150長250mm	1.0	本			
コアボーリング用 アダプター φ 150長80mm	0.5	個			
諸雑費	1	式			
* * * 合計 * * *	100	本			
* * 単位当り * *	1	本			
A=1 φ 1 5 0 mm以下					

施工単価表

頁0 -0113

コア採取器運転

コア採取器 $\phi 50 \sim 150 \text{ mm}$

单第 0 -0099号表

1 日 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0114

砂利舗装工
敷均し幅2.5m以上

単第 0 -0100号表

100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役	0.20	人			
普通作業員	0.96	人			
再生クラッシャラン 40～0mm	11.60	m3			
機-1_バックホウ運転 クローラ[標準]山積0.28m3 (平積0.2m3) 排出ガス対策型2次基準	3.80	時間			単第 0-0101号表
諸雑費	1	式			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			
A=3 敷均し幅2.5m以上 C=2 不陸整正 + 敷均し E=3 再生クラッラン R C - 40 G=2 舗設材単価 0 円区分：なし			B=3 バックホウ敷均し D=1 舗装面仕上げ無し F=10 敷砂利仕上がり厚さ (cm) H=1600 敷材単価(円)(G = 2 の時)		

施工単価表

頁0 -0115

機-1 バックホウ運転

クロール[標準]山積0.28m³ (平積0.2m³)

排出ガス対策型2次基準

单第 0 -0101号表

1

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0116

暗渠排水管

SPK24040092

単第 0 -0102号表

据付・撤去 波状管及び網状管 200～400mm

シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm

1 m 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 8.31%

材料構成比: 91.69%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

5,009.5000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	5.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <シングル構造>内面波状管(有孔・無孔) 呼び径300mm	91.69%		暗渠排水管 波状管 呼び径300mm 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPC00191 TTPT00191
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=2 200～400mm F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=35 シングル 合成樹脂排水材 呼び径300mm G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】					
管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
ため池工					式	1	
掘 削 工					式	1	
	土砂掘削						
	表 土 剥 取	処分土	バックホウ0.6m3	57.7	m ³	58	土工集計表より
	泥 土 掘 削	軟弱土 処分土	バックホウ0.6m3	7.2	m ³	7	土工集計表より
	段 切 土	鋼土（現況堤体土）	バックホウ0.6m3	8.0	m ³	8	土工集計表より
	掘 削	鋼土（現況堤体土）	バックホウ0.6m3	66.9	m ³	67	土工集計表より
	床 掘	鋼土（現況堤体土）・砂質土	バックホウ0.6m3	514.8	m ³	520	土工集計表より
流 用 土 盛 土	盛土・埋戻						
	盛 土 a	砂質土 W<1.0	振動ローラ0.8～1.1 t	3.2	m ³	3	土工集計表より
	盛 土 b	鋼土（現況堤体土）1.0≦W<2.5	振動ローラ3～4 t	30.0	m ³	30	土工集計表より
	盛 土 b	ランダム材 1.0≦W<2.5	振動ローラ3～4 t	18.2	m ³	18	土工集計表より
	盛 土 e	ランダム材 構造物周辺	タンパ 60～100kg	6.2	m ³	6	土工集計表より
	路 床 盛 土 d	砂質土 4.0<W	振動ローラ11～12 t	131.3	m ³	130	土工集計表より
	盛 土 e	砂質土 構造物周辺	タンパ 60～100kg	6.0	m ³	6	土工集計表より
	埋 戻 a	鋼土（現況堤体土）W<1.0	振動ローラ0.8～1.1 t	29.5	m ³	30	土工集計表より
	埋 戻 b	鋼土（現況堤体土）1.0≦W<2.5	振動ローラ3～4 t	67.2	m ³	67	土工集計表より
	埋 戻 b	砂質土 1.0≦W<2.5	振動ローラ3～4 t	26.7	m ³	27	土工集計表より
	埋 戻 b	ランダム材 1.0≦W<2.5	振動ローラ3～4 t	46.9	m ³	47	土工集計表より
	埋 戻 d	鋼土（現況堤体土）4.0<W	振動ローラ11～12 t	12.7	m ³	13	土工集計表より
	埋 戻 e	鋼土（現況堤体土）構造物周辺	タンパ 60～100kg	60.7	m ³	61	土工集計表より
	埋 戻 e	ランダム材 構造物周辺	タンパ 60～100kg	17.9	m ³	18	土工集計表より
	埋 戻 e	砂質土 構造物周辺	タンパ 60～100kg	18.2	m ³	18	土工集計表より

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
	残 土 （ 池 内 に 盛 土 ）	鋼土（現況堤体土）W<1.0	振動ローラ0.8～1.1t	52.4	m ³	52	土工配分表より
整 形 工					式		
	基 面 整 正	鋼土・ランダム材		125.6	m ²	130	土工集計表より
	法 面 整 形	鋼土・ランダム材		212.8	m ²	220	土工集計表より
構造物取壊工							
	ア ス フ ァ ル ト 切 断	t =0.05m		9.1	m	9	土工集計表より
	ア ス フ ァ ル ト 取 壊 し	t =0.05m		99.8	m ²	100	土工配分表より
	石 積 取 壊 し	t =0.3m		2.2	m ²	2.2	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 取 壊 し	無筋 取壊し		27.4	m ³	27	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 取 壊 し	鉄筋 取壊し		3.6	m ³	3.6	土工配分表より
	高密度ポリエチレン管機械撤去	φ800		15.5	m	16	撤去工数量計算書より
	積 込 み	高密度ポリエチレン管φ800		0.4	t	0.4	15.5m×109.9kg/4m×0.001
	構 造 物 と り こ わ し 工	ヒューム管（有筋） φ1000		2.2	m ³	2.2	7.2m×1850kg/2.43m×0.001 /2.5t/m3
	硬 質 塩 化 ビ ニ ル 管 撤 去	φ200		3.3	m	3.3	撤去工数量計算書より
	防 護 柵 撤 去 工	Gr-C-2B		10.0	m	10	撤去工数量計算書より
	積 込 み	Gr-C-2B		0.2	t	0.2	10m×16.4kg/m ×0.001
作 業 残 土 処 理					式		
	残土運搬						
	表 土 剥 取	処分土		57.7	m ³	58	土工配分表より
	泥 土 掘 削	軟弱土 処分土		7.2	m ³	7	土工配分表より
	ア ス フ ァ ル ト 殻			5.0	m ³	5.0	土工配分表より

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
	石 積 殻	t =0.3m		0.7	m ³	0.7	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 殻	無筋		27.4	m ³	27	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 殻	鉄筋		3.6	m ³	3.6	土工配分表より
	プ レ ス ト 管	φ 800		0.4	t	0.4	15.5m×109.9kg/4m×0.001
	ヒ ュ ー ム 管	φ 1000		2.2	m ³	2.2	7.2m×1850kg/2.43m×0.001 /2.5t/m3
	底 樋 補 修 管	VP φ 200		0.03	t	0.03	3.3m×10.129kg/m×0.001
	Gr - C - 2B			0.2	t	0.2	
	処分費対象額調整						
	表 土 剥 取	処分土		57.7	m ³	58	土工配分表より
	泥 土 掘 削	軟弱土 処分土		7.2	m ³	7	土工配分表より
	ア ス フ ァ ル ト 殻			11.7	t	12	土工配分表より
	石 積 殻	t =0.3m		0.7	m ³	0.7	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 殻	無筋		64.4	t	64	土工配分表より
	コ ン ク リ ー ト 殻	鉄筋		9.0	t	9.0	土工配分表より
	プ レ ス ト 管	φ 800		0.4	t	0.4	15.5m×109.9kg/4m×0.001
	ヒ ュ ー ム 管	φ 1000		5.5	t	5.5	7.2m×1850kg/2.43m×0.001
	底 樋 補 修 管	VP φ 200		0.03	t	0.03	3.3m×10.129kg/m×0.001
	Gr - C - 2B			0.2	t	0.2	
法 面 植 生 工					式		
	盛 土 法 面	植生工	種子散布	143.2	m ²	140	前法面＋後法面
侵 食 防 止 工					式		

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
	ブ ロ ッ ク 張	張ブロック・目地モルタル無し	0.50×0.50×0.12	56.2	m ²	56	ブロック製品枚数は付帯工造図参照
	裏 込 砕 石	t=0.15	C-40	8.4	m ³	8	
	天 端 コ ン ク リ ー ト		σ ck=18N/mm2	8.1	m	8	
	基 礎 コ ン ク リ ー ト		σ ck=18N/mm2	17.5	m	18	
擁 壁 工					式		
	腰 積 ブ ロ ッ ク	t=0.10		8.3	m ²	8	
	裏 込 砕 石		C-40	3.4	m ³	3	
	防 砂 シ ー ト	t=0.37		10.5	m ²	11	
	基 礎 コ ン ク リ ー ト	小型構造物	σ ck=18N/mm2	3.81	m	3.8	
洪水吐工					式		
軀 体 構 造 物					式		
洪 水 吐	接近水路						
	コ ン ク リ ー ト	鉄筋構造物	σ ck=21N/mm2	39.9	m ³	40	
	型 枠	鉄筋構造物		109.1	m ²	109	
	均 し コ ン ク リ ー ト		σ ck=18N/mm2	3.4	m ³	3.4	
	均 し コ ン 型 枠	均しコンクリート		2.1	m ²	2.1	
	鉄 筋	D13	SD295A	1021.7	t	1.02	
	鉄 筋	D16	SD295A	411.5	t	0.412	
	伸 縮 目 地	エラスチックファイラー t=10mm		3.3	m ²	3	
	水 膨 張 パ ッ キ ン			6.7	m	6.7	
	放水路～摺付水路						

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
	コ ン ク リ ー ト	鉄筋構造物	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	65.0	m^3	65	
	型 枠	鉄筋構造物		154.8	m^2	155	
	均 し コ ン ク リ ー ト		$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	5.6	m^3	5.6	
	均 し コ ン 型 枠	均しコンクリート		4.5	m^2	4.5	
	鉄 筋	D13	SD295A	2518.8	t	2.52	
	伸 縮 目 地	エラスチックフィラー t=10mm		10.1	m^2	10	
	水 膨 張 パ ッ キ ン			5.5	m	5.5	
	ダ ウ エ ル バ ー		D16 L=1.0m VP ϕ 20 L=0.5m	34	本	34	
	止 水 板		CF300×7	10.0	m	10.0	
	サ イ ド ド レ ー ン	C-40 0.30m×0.30m		14.3	m	14.3	
	ウ イ ー プ ホ ー ル	ϕ 50		5	箇所	5	
	越 流 堰	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	操 作 台	鉄筋構造物	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	階 段 工	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	1 号 止 壁	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	2 号 止 壁	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	ボ ッ ク ス カ ル バ ー ト	B2000×H1000 L=12.0m	二次製品	1	式	1	
	止 水 壁	無筋構造物	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$	1	式	1	
	枠 組 足 場			25.2	掛 m^2	25	
取 水 工					式		
	排 水 管	VP ϕ 150		1.7	m	1.7	
	排 水 管	VP ϕ 200		3.3	m	3.3	

大 濁 池 数 量 内 訳 書

工 種	種 別	規 格	細 目	数量	単位	計上数値	適 用
	堰 板	b 0.35×h 0.20×t 0.03×3枚	ベニヤ板	0.21	m ²	0.2	
舗 装 工					式		
	表 層	再生密粒度20 厚5cm		99.8	m ²	100	
	路 盤 工	粒度調整碎石RM-30 厚10cm		99.8	m ²	100	
	オ ー バ レ イ	再生密粒度13 想定平均厚6mm		55.3	m ²	55	
	ア ス カ ー ブ			18.0	m	18	
防 護 柵					式		
	Gr - C - 4E	土中用		7.8	m	7.8	
	転 落 防 止 柵			27.0	m	27	
	支 柱 削 孔	φ150mm以下		16.0	本	16	
	チ ェ ー ン	3本掛け		2.4	m	2.4	
仮 設 工					式		
	仮 設 道 敷 砕 石	W=3.0m t=0.1m		37.5	m ²	38	
	案 き よ う 排 水 管	φ300 高密度ポリエチレン管 (波状管)		40.0	m	40	
	積 込 み	φ300 高密度ポリエチレン管 (波状管)		0.2	t	0.2	17.6kg/4m×40m×0.001
	運 搬	φ300 高密度ポリエチレン管 (波状管)		0.2	t	0.2	17.6kg/4m×40m×0.001
	処分費対象額調整						
	処 分	廃プラ		0.2	t	0.2	17.6kg/4m×40m×0.001

大 濁 池

全 体 土 量 配 分 表

単位 m³

土質の締固め変化率

発生土 自然状態 1.0

緩めた状態 1.2

締固めた状態 0.9

搬入土を地山換算 C=

1.2/0.9=1.33

発生土利用 1/0.9=1.11

*全体土工量配分表は土工数量集計表と連動しています。

積算は地山土量とする。

現況堤体土は地質調査から鋼土評価である。

発生土

盛 土

残土処分

積算は地山土量とする。

表 土 剥 取	粘性土	57.7	57.7 × 1.0 = 57.7	粘 性 土 処 分 土	57.7
---------	-----	------	-------------------	-------------	------

泥 土	軟弱土	7.2	7.2 × 1.0 = 7.2	泥 土 処 分 土	7.2
-----	-----	-----	-----------------	-----------	-----

地山土量

段 切 土	鋼土（現況堤体土）	8.0	不足段切盛土量 8.0	掘削堤体土を使用 段切土（鋼土）	粘性土	8.0
-------	-----------	-----	----------------	---------------------	-----	-----

掘 削	鋼土（現況堤体土）	66.9	0.9 不足段切埋戻土量 66.9	掘削堤体土を使用 盛土（鋼土）	砂質土	0.9
-----	-----------	------	----------------------	--------------------	-----	-----

			65.0	掘削堤体土を使用 盛土（鋼土）	洪水吐前面に盛土 砂質土	200.1
--	--	--	------	--------------------	-----------------	-------

			157.3	掘削堤体土を使用 盛土・埋戻（ランダム材）	BOX区間に盛土 砂質土	89.2
--	--	--	-------	--------------------------	-----------------	------

			256.4	掘削地山土を使用 盛土・埋戻（砂質土）	洪水吐後面に盛土 砂質土	54.1
--	--	--	-------	------------------------	-----------------	------

床 掘	堤体鋼土・砂質土	514.8	316.5			
-----	----------	-------	-------	--	--	--

			198.3	路床盛土に床掘土が使用できない場合は購入とする。 路床盛土（砂質土）	砂質土	131.3
--	--	--	-------	---------------------------------------	-----	-------

			52.4			
			52.4 × 1.00 = 52.4	*堤体洗堀部に盛土	鋼 土	52.4

再資源化施設へ

アスファルト取壊し	2.35/m3	m2 99.8	99.8 × 2.35×0.05 t = 0.05m	= 11.7 t	ガラ処分 AS (t)	11.7
					ガラ運搬 AS (m ³)	5.0

石 積 取 壊 し	雑割石2.2 t/m3	m2 2.2	2.2 × 2.2×0.3 幅0.3m	= 1.5 t	ガラ運搬 石積 (m ³)	0.7
					ガラ運搬 石積 (m ³)	0.7

コンクリート取壊し	無筋2.35/m3	m3 27.4	27.4 × 2.35	= 64.4 t	ガラ運搬 無筋 (m ³)	64.4
					ガラ運搬 無筋 (m ³)	27.4

コンクリート取壊し	鉄筋2.50/m3	m3 3.6	3.6 × 2.50	= 9.0 t	ガラ処分 鉄筋 (t)	9.0
					ガラ運搬 鉄筋 (m ³)	3.6

大濁池														
堤 体 土 工 数 量 計 算 書														
前法		堤体横断図より												
種別 番号	距離	泥土掘削DC			種別 番号	距離	表土剥取HT			種別 番号	距離	段切土D		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO. 0	-	0. 0	-	-										
NO. 0 +4. 80	4. 8	0. 1	0. 05	0. 2		-	0. 4	-	-		-	2. 0	-	-
NO. 1	5. 2	2. 0	1. 05	5. 5	NO. 1	3. 0	0. 1	0. 25	0. 8	NO. 1	3. 0	2. 3	2. 15	6. 5
	1. 5	0. 0	1. 00	1. 5		0. 8	0. 0	0. 05	0. 0		1. 3	0. 0	1. 15	1. 5
計				m ³ 7. 2	計				m ³ 0. 8	計				m ³ 8. 0

大濁池													
堤 体 土 工 数 量 計 算 書													
前法		堤体横断図より											
種別 番号	距離	掘 削C			種別 番号	距離	盛土B-b 鋼土			種別 番号	距離		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均 数量
	-	0.0	-	-		-	0.0	-	-				
NO.0	1.8	0.7	0.35	0.6	NO.0	2.3	2.8	1.40	3.2				
	1.3	0.0	0.35	0.5		2.6	5.3	4.05	10.5				
					NO.0 +4.80								
						-	5.3	-	-				
					NO. 1	3.3	3.3	4.30	14.2				
						1.3	0.0	1.65	2.1				
計				m ³ 1.1	計				m ³ 30.0				

大濁池														
堤 体 土 工 数 量 計 算 書														
前法		堤体横断図より												
種別 番号	距離	床掘E			種別 番号	距離	埋戻FU-a 現況堤体土			種別 番号	距離	基面整正K		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
前法	-	0.5	-	-		-	0.3	-	-		-	0.4	-	-
NO.0	1.8	0.8	0.65	1.2	NO.0	1.8	0.6	0.45	0.8	NO.0	1.8	0.4	0.40	0.7
	2.6	0.0	0.40	1.0		2.6	0.0	0.30	0.8		2.6	0.0	0.20	0.5
NO.0 +4.80	1.7	0.2	0.10	0.2	NO.0 +4.80	1.7	0.2	0.10	0.2	NO.0 +4.80	1.7	0.4	0.20	0.3
NO. 1	5.2	0.0	0.10	0.5	NO. 1	5.2	0.0	0.10	0.5	NO. 1	5.2	0.4	0.40	2.1
	10.0	0.5	0.25	2.5		10.0	0.3	0.15	1.5		10.0	0.4	0.40	4.0
後法														
腰積ブロック NO.1+5付近	-	1.1	-	-	腰積ブロック NO.1+5付近	-	0.4	-	-	腰積ブロック NO.1+5付近	-	0.6	-	-
	1.1	1.1	1.10	1.2		1.1	0.4	0.40	0.4		1.1	0.6	0.60	0.7
計				m ³ 6.6	計				m ³ 4.2	計				m ² 8.3

大濁池														
堤 体 土 工 数 量 計 算 書														
前法					横断図より					付帯工構造図より				
種別	距離	植生工（盛土法面整形）		L1 前法	種別	距離	盛土法面整形L2			種別	距離	張ﾌﾞﾛｯｸ（盛土法面整形工）		SL
番号		法長	平均	数量	番号		法長	平均	数量	番号		法長	平均	数量
	-	1.2	-	-								0.0		
NO.0	4.5	1.6	1.40	6.3						NO. 0	1.7	2.9	1.45	2.5
	2.6	1.8	1.70	4.4	小段1.5mより下側土羽						2.6	5.4	4.15	10.8
NO.0 +4.80					NO.0 +4.80	-	0.0	-	-		-	0.0	-	-
	-	2.0	-	-	NO.1	5.2	2.0	1.00	5.2	NO.0 +4.80	2.2	1.1	0.55	1.2
	2.2	2.0	2.00	4.4		2.1	2.5	2.25	4.7		0.9	1.3	1.20	1.1
						2.8	0.0	1.25	3.5			6.2		
											0.8	6.4	6.30	5.0
											-	6.8	-	-
											1.5	7.2	7.00	10.5
										(NO.1)	2.7	0.0	3.60	9.7
											1.6	3.3	1.65	2.6
											1.1	5.2	4.25	4.7
											0.7	4.5	4.85	3.4
											1.4	1.9	3.20	4.5
											0.2	0.0	0.95	0.2
小計				15.1	小計				13.4	小計				56.2
										合計		盛土法面整形工		m ² 84.7

堤 体 法 面 工 数 量 計 算 書

堤 体 法 面 工 数 量 計 算 書

[illegible]

大濁池														
堤 体 法 面 工 数 量 計 算 書														
前法 種別					付帯工構造図より									
番号	距離	張りブロック SL			番号	距離	天端コンクリート			番号	距離	基礎コンクリート		
		法長	平均	数量					延長					延長
		0.0							-					
NO. 0	1.7	2.9	1.45	2.5	NO. 0				1.69	NO. 0-1.69~NO. 1+1.60区間			17.48	
	2.6	5.4	4.15	10.8					2.61					
	-	0.0	-	-				小計	4.30					
NO.0 +4.80	2.2	1.1	0.55	1.2	NO.0 +4.80									
	0.9	1.3	1.20	1.1					-					
	-	6.2							1.49					
	0.8	6.4	6.30	5.0										
	-	6.8	-	-										
	1.5	7.2	7.00	10.5					0.73					
NO.1)	2.7	0.0	3.60	9.7					1.39					
	1.6	3.3	1.65	2.6					0.21	張りブロック等材料枚数				
	1.1	5.2	4.25	4.7				小計	3.82	標準 500×500×120＝	159	枚		
	0.7	4.5	4.85	3.4						防災 500×500×120＝	9	枚		
	1.4	1.9	3.20	4.5						特殊 500×250×120＝	11	枚		
	0.2	0.0	0.95	0.2										
計				m ² 56.2	合計				m 8.12	計				m 17.48

大濁池														
堤 体 擁 壁 工 数 量 計 算 書														
前法					付帯工構造図より									
種別 番号	距離	腰積ブロック面積 SL			種別 番号	距離	裏込め砕石 GV			種別 番号	距離	基礎工		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
	-	0.0	-	-		-	0.0	-	-					
後法下 NO.1 +5付近	0.7	2.0	1.00	0.7	後法下 NO.1 +5付近	0.7	0.8	0.40	0.3	後法下 NO.1 +5付近				-
	0.9	2.0	2.00	1.8		0.9	0.8	0.80	0.7					0.92
	0.2	0.0	1.00	0.2		0.2	0.0	0.40	0.1					-
	0.2	2.1	1.05	0.2		0.2	0.8	0.40	0.1					-
	2.1	2.2	2.15	4.5		2.1	0.9	0.85	1.8					2.10
	0.8	0.0	1.10	0.9		0.8	0.0	0.45	0.4					0.79
	防砂シート													
	平均高 ブロック部		8.3÷3.81÷勾配比1.077=2.02m (高さ2.02) ×√ (1 ² +0.3 ²) ×3.81+砕石天幅0.32×天端 (1.78+2.27) =9.33											
	シート面積+基礎面積		9.33+ (3.81×基礎高0.30) ×√ (1 ² +0.3 ²) =10.52m ²						m ² 10.5					
	目地材	0ヶ所	2.02×1.077×0.45×0箇所=				m ² 0.0							
	水抜きパイプVUφ50mm													
	ANマット		8.3×1/3m ² =3カ所				枚 3							
	パイプ		3ヶ所×0.45×1.077=				m 1.5							
計				m ² 8.3	計				m ³ 3.4	計				m 3.81

大濁池

洪水吐土工数量計算書

洪水吐工横断図より

[illegible]

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断図より														
種別 番号	距離	床掘 E			種別 番号	距離	床掘 E			種別 番号	距離	断面	平均	数量
	－	0.0	－	－										
NO.0	2.3	5.6	2.80	6.4										
NO.0 +7.673	7.7	22.8	14.20	109.3										
NO.0 +15.363	7.7	22.9	22.85	175.9										
NO.0 +19.753	4.4	5.7	14.30	62.9										
NO.0 +25.253	5.5	6.4	6.05	33.3										
NO.0 +30.753	5.5	12.2	9.30	51.2										
NO.0 +33.753	3.0	6.5	9.35	28.1										
NO.0 +35.685	1.9	1.9	4.20	8.0										
カットオフ NO.0	－	0.3	－	－	止水壁 BOX区間	－	1.4	－	－					
	4.3	0.3	0.30	1.3		5.1	1.4	1.40	7.1					
2号受台部	－	1.8	－	－										
NO.0 +19.753	4.3	1.8	1.80	7.7										
3号受台部	－	1.9	－	－	4号受台部	－	1.9	－	－					
NO.0 +25.253	4.4	1.9	1.90	8.4	NO.0 +30.753	4.5	1.9	1.90	8.6					
				(492.5)				計	508.2					

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断図より														
種別 番号	距離	埋戻FU1-a (鋼土) 現況堤体土			種別 番号	距離	埋戻FU1-b (鋼土) 現況堤体土			種別 番号	距離	埋戻FU1-d (鋼土) 現況堤体土		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
	-	0.0	-	-		-								
NO.0	2.3	0.5	0.25	0.6	NO.0	2.3	0.0	-	-					
NO.0 +7.673	7.7	1.7	1.10	8.5	NO.0 +7.673	7.7	5.9	2.95	22.7		-	0.0	-	-
NO.0 +15.363	7.7	1.6	1.65	12.7	NO.0 +15.363	7.7	3.6	4.75	36.6	NO.0 +15.363	7.7	2.1	1.05	8.1
NO.0 +19.753	4.4	0.0	0.80	3.5	NO.0 +19.753	4.4	0.0	1.80	7.9	NO.0 +19.753	4.4	0.0	1.05	4.6
				m ³					m ³					m ³
				25.3					67.2					12.7

大濁池

洪水吐土工数量計算書

洪水吐工横断図より

[illegible]

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断図より														
種別 番号	距離	埋戻FU2-b (ランダム材)			種別 番号	距離	埋戻FU2-e (ランダム材)			種別 番号	距離			
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO.0 +15.363	-	0.0	-	-	NO.0 +15.363	-	0.0	-	-					
NO.0 +19.753	4.4	3.1	1.55	6.8	NO.0 +19.753	4.4	1.5	0.75	3.3					
NO.0 +25.253	5.5	4.4	3.75	20.6	NO.0 +25.253	5.5	1.9	1.70	9.4					
NO.0 +30.753	5.5	0.0	2.20	12.1	NO.0 +30.753	5.5	0.0	0.95	5.2					
2号受台部	-	0.7	-	-										
NO.0 +19.753	4.3	0.7	0.70	3.0										
3号受台部	-	1.0	-	-										
NO.0 +25.253	4.4	1.0	1.00	4.4										
				m ³ 46.9					m ³ 17.9					

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断図より														
種別 番号	距離	埋戻FU3-b (砂質土)			種別 番号	距離	埋戻FU3-e (砂質土)			種別 番号	距離			
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO.0 +25.253	-	0.0	-	-	NO.0 +25.253	-	0.0	-	-					
NO.0 +30.753	5.5	5.0	2.50	13.8	NO.0 +30.753	5.5	2.4	1.20	6.6					
NO.0 +33.753	3.0	2.1	3.55	10.7	NO.0 +33.753	3.0	1.2	1.80	5.4					
NO.0 +35.685	1.9	0.2	1.15	2.2	NO.0 +35.685	1.9	0.6	0.90	1.7					
					4号受台部	-	1.0	-	-					
					NO.0 +30.753	4.5	1.0	1.00	4.5					
				m ³ 26.7					m ³ 18.2					

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断図より														
種別 番号	距離	盛土B2-b (ランダム材)			種別 番号	距離	盛土B2-e (ランダム材)			種別 番号	距離			
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO.0 +15.363	-	0.0	-	-	NO.0 +15.363	-	0.0	-	-					
NO.0 +19.753	4.4	1.9	0.95	4.2	NO.0 +19.753	4.4	0.7	0.35	1.5					
NO.0 +25.253	5.5	1.6	1.75	9.6	NO.0 +25.253	5.5	0.5	0.60	3.3					
NO.0 +30.753	5.5	0.0	0.80	4.4	NO.0 +30.753	5.5	0.0	0.25	1.4					
				m ³					m ³					
				18.2					6.2					

大濁池														
洪水吐土工数量計算書														
洪水吐工横断面図より														
種別 番号	距離	盛土B3-a (砂質土)			種別 番号	距離	盛土B3-e (砂質土)			種別 番号	距離			
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO. 0 +25. 253	-	0. 0	-	-	NO. 0 +25. 253	-	0. 0	-	-					
NO. 0 +30. 753	5. 5	0. 4	0. 20	1. 1	NO. 0 +30. 753	5. 5	0. 9	0. 45	2. 5					
NO. 0 +33. 753	3. 0	0. 5	0. 45	1. 4	NO. 0 +33. 753	3. 0	0. 7	0. 80	2. 4					
NO. 0 +35. 685	1. 9	0. 2	0. 35	0. 7	NO. 0 +35. 685	1. 9	0. 5	0. 60	1. 1					
				m ³					m ³					
				3. 2					6. 0					

大濁池

洪水吐土工数量計算書

洪水吐工横断図より

[illegible]

大濁池

洪水吐土工数量計算書

洪水吐工横断図より

種別 番号	距離	後法面 L3			種別 番号	距離	後法面 L3 左岸側			種別 番号	距離	後法面 L3 右岸側		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
	-	8.0	-	-										
NO.0 +19.753	4.5	12.0	10.00	45.0	NO.0 +19.753	-	5.1	-	-	NO.0 +19.753	-	5.0	-	-
					NO.0 +25.253	5.5	2.7	3.90	21.5	NO.0 +25.253	5.5	4.5	4.75	26.1
					NO.0 +30.753	5.5	3.6	3.15	17.3		2.6	3.1	3.80	9.9
					NO.0 +33.753	3.0	1.2	2.40	7.2					
					NO.0 +35.685	1.9	0.0	0.60	1.1					
				45.0					47.1					36.0
													合計	m ² 128.1

大濁池

洪水吐法面工数量計算書

洪水吐工横断図より

種別 番号	距離	後法面植生工 L3			種別 番号	距離	後法面植生工 L3 左岸側			種別 番号	距離	後法面植生工 L3 右岸側		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
	-	8.0	-	-										
NO.0 +19.753	4.5	12.0	10.00	45.0	NO.0 +19.753	-	5.1	-	-	NO.0 +19.753	-	5.0	-	-
					NO.0 +25.253	5.5	2.7	3.90	21.5	NO.0 +25.253	5.5	4.5	4.75	26.1
					NO.0 +30.753	5.5	3.6	3.15	17.3		2.6	3.1	3.80	9.9
					NO.0 +33.753	3.0	1.2	2.40	7.2					
					NO.0 +35.685	1.9	0.0	0.60	1.1					
				45.0					47.1					36.0
													植生工 合計	m ² 128.1

大濁池														
洪水吐工数量計算書														
洪水吐構造図1から距離・断面数量計上										接近水路配筋図加工図より				
種別 番号	距離	鉄筋コンクリート			種別 番号	距離	型 枠			種別 番号	距離	鉄 筋 (SD295A)		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			D13	D16	
カットオフ NO.0	箇所当たり			0.5	カットオフ NO.0	箇所当たり			3.4					
NO.0	-	1.86	-	-	NO.0	-	1.20	-	-			1021.71	411.51	
NO.0 +5.10	5.10	4.17	3.02	15.4	NO.0 +5.10	5.10	10.17	5.69	29.0					
NO.0 +6.20	1.10	4.66	4.42	4.9	NO.0 +6.20	1.10	11.13	10.65	11.7					
NO.0 +7.673	1.47	4.78	4.72	6.9	NO.0 +7.673	1.47	11.32	11.23	16.5					
洪水吐工構造図1図面より 1号受台				2.4					3.5					
洪水吐工構造図1図面より 1号止壁				9.2					29.2					
洪水吐工構造図3図面より														
	箇所当たり													
ハンチ0.15×0.15+0.20×0.20				0.2					13.2					
操作台階段工構造図より														
階段洪水吐側壁部				0.4					2.6					
計	7.67			m ³ 39.9	計				m ² 109.1			D13以下kg 1021.71	D16kg 411.51	

大濁池														
洪水吐工数量計算書														
洪水吐構造図から距離・断面数量計上														
種別 番号	距離	均しコンクリート			種別 番号	距離	均しコン型枠			種別 番号	距離	目地材	水膨張パッキン	
		断面	平均	数量			断面	平均	数量					
カットオフ NO. 0				－	カットオフ NO. 0				－					
	－	0. 33	－	－	NO. 0	－	0. 20	－	－					
NO. 0 +5. 10	4. 60	0. 38	0. 36	1. 7	NO. 0 +5. 10	4. 60	0. 20	0. 20	0. 9					
NO. 0 +6. 20	1. 10	0. 39	0. 39	0. 4	NO. 0 +6. 20	1. 10	0. 20	0. 20	0. 2					
NO. 0 +7. 673	1. 47	0. 39	0. 39	0. 6	NO. 0 +7. 673	1. 47	0. 20	0. 20	0. 3	NO. 0 +7. 673		3. 3		6. 7
洪水吐工構造図1図面より 1号受台				0. 7					0. 7					
洪水吐工構造図1図面より 1号止壁				－					－					
洪水吐工構造図3図面より 箇所当たり ハンチ0. 15×0. 15+0. 20×0. 20				－					－					
作業台階段工構造図より 階段洪水吐側壁部				－					－					
計	7. 17			m ³ 3. 4	計				m ² 2. 1	計		m ² 3. 3		m 6. 7

大濁池														
洪水吐工数量計算書														
洪水吐構造図1、2から距離・断面数量計上										放水路～擦り付け水路配筋図加工図より				
種別 番号	距離	鉄筋コンクリート			種別 番号	距離	型 枠			種別 番号	ダウエル バー	鉄 筋 (SD295A)		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			D13	D16	
放水路 NO. 0 +19. 753	-	3. 14	-	-	放水路 NO. 0 +19. 753	-	6. 79	-	-			802. 50		
NO. 0 +25. 253	5. 50	3. 79	3. 47	19. 1	NO. 0 +25. 253	5. 50	8. 87	7. 83	43. 1		17	993. 33		
減勢工 NO. 0 +30. 753	5. 50	4. 49	4. 14	22. 8	減勢工 NO. 0 +30. 753	5. 50	10. 95	9. 91	54. 5		17	546. 39		
NO. 0 +31. 875	1. 12	4. 02	4. 26	4. 8	NO. 0 +31. 875	1. 12	9. 57	10. 26	11. 5					
NO. 0 +33. 753	1. 88	3. 81	3. 92	7. 4	NO. 0 +33. 753	1. 88	8. 94	9. 26	17. 4					
擦り付け水路 NO. 0 +33. 753	-	1. 85	-	-	擦り付け水路 NO. 0 +33. 753	-	7. 72	-	-			176. 57		
NO. 0 +35. 685	1. 93	1. 16	1. 51	2. 9	NO. 0 +35. 685	1. 93	4. 72	6. 22	12. 0					
洪水吐工構造図1図面より 2号受台				2. 9					5. 0					
洪水吐工構造図2図面より 3号受台				2. 5					4. 5					
洪水吐工構造図2図面より 4号受台				2. 5					4. 6					
シュートブロック				0. 01					0. 1					
バップルピア				0. 03					0. 7					
エンドシル				0. 1					1. 4					
計	15. 93			m ³ 65. 0	計				m ² 154. 8		組 34	D13以下kg 2518. 79	D16kg 0	

大濁池														
洪水吐工数量計算書														
洪水吐構造図1、2から距離・断面数量計上														
種別 番号	距離	均しコンクリート			種別 番号	距離	均しコン型枠			種別 番号	距離	目地材	止水板	水膨張 パッキン
断面		平均	数量		断面		平均	数量		断面				
放水路 NO.0 +19.753	-	0.33	-	-	放水路 NO.0 +19.753	-	0.20	-	-	放水路 NO.0 +19.753		1.8		5.5
NO.0 +25.253	5.50	0.34	0.34	1.9	NO.0 +25.253	5.50	0.20	0.20	1.1	NO.0 +25.253		3.8	5.0	
減勢工 NO.0 +30.753	5.50	0.35	0.35	1.9	減勢工 NO.0 +30.753	5.50	0.20	0.20	1.1	減勢工 NO.0 +30.753		4.5	5.0	
NO.0 +31.875	1.12	0.34	0.35	0.4	NO.0 +31.875	1.12	0.20	0.20	0.2					
NO.0 +33.753	1.88	0.34	0.34	0.6	NO.0 +33.753	1.88	0.20	0.20	0.4					
擦り付け水路 NO.0 +33.753	-	0.28	-	-	擦り付け水路 NO.0 +33.753	-	0.20	-	-					
NO.0 +35.685	1.93	0.20	0.24	0.5	NO.0 +35.685	1.93	0.20	0.20	0.4					
洪水吐工構造図1図面より 2号受台				0.2					0.5					
洪水吐工構造図2図面より 3号受台				0.03					0.4					
洪水吐工構造図2図面より 4号受台				0.03					0.4					
計	15.93			m ³ 5.6	計				m ² 4.5	計		m ² 10.1	m 10.0	m 5.5

大濁池

洪水吐工数量計算書

種別 番号	距離	標準越流堰			種別 番号	距離	操作台			種別 番号	距離	階段工		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
洪水吐工構造図3より NO. 0+5. 10付近				1. 0	操作台階段工構造図より NO. 0+5. 10付近				1. 0	操作台階段工構造図より NO. 0+6. 2付近				1. 0
計				式 1. 0	計				式 1. 0	計				式 1. 0

大濁池

洪水吐工数量計算書

平面図より

種別 番号	距離	1号止壁			種別 番号	距離	2号止壁			種別 番号	距離	3号止壁		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
洪水吐工構造図1より NO. 0+7. 673				1. 0	洪水吐工構造図1より NO. 0+19. 753				1. 0					
計				式 1. 0	計				式 1. 0					

大濁池

洪水吐工数量計算書

種別 番号	距離	サイドドレーン			種別 番号	距離	ウイープホール			種別 番号	距離	ウイープホール		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
洪水吐構造図より 放水路～摺付水路左岸側				14.3	洪水吐構造図より NO. 0+10.7付近				5.0					
計				m 14.3	計			m 5.0	ヶ所 5.0					

大濁池

洪水吐工数量計算書

平面図より

種別 番号	距離	ボックスカルバート			種別 番号	距離	止水壁			種別 番号	距離	排水溝		
		断面	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
NO. 0+7. 673～NO. 0+19. 753			L=12. 0m	1. 0	洪水吐工構造図3より NO. 0+10. 7付近				1. 0					
計				式 1. 0	計				式 1. 0					

大濁池

洪水吐工数量計算書

洪水吐工縦断図より

[illegible]

大濁池

取 水 工 数 量 計 算 書

操作台階段工構造図より

平面図より

種別		簡易ゲートφ150			種別		排水管VPφ200			種別		距離		
番号		延長	ヶ所	数量	番号				数量	番号				数量
NO. 0+6. 0付近接近水路区間 ステンレス製					1. 0	NO. 1+5. 5付近 腰積ブロック天端付近					3. 3			
計					門 1. 0	計					m 3. 3			
種別		排水管VPφ150			種別					種別				
番号		延長	ヶ所	数量	番号				数量	番号				数量
NO. 0+6. 0付近接近水路区間					1. 7									
計					m 1. 7									
種別		堰板 b 350× h 200× t 30			種別					種別		距離		
番号				数量	番号				数量	番号				数量
越流部					3. 0									
計					枚 3. 0									

大濁池

鋪 裝 工 数 量 計 算 書

工事用進入路案図面より

種別 番号	距離	路盤			種別 番号	距離	表層 再生密粒度20			種別 番号	距離	オーバーレイ再生密粒度13		
			平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
	工事用進入路影響範囲+BOX床掘影響範囲求積													
NO. 0	工事用進入路案平面図よりCADにて求積				99.8	NO. 0	工事用進入路案平面図よりCADにて求積			99.8	本線測点 NO. 0-17. 0～NO. 0+1付近			46. 2
											本線測点 NO. 1+0. 5～NO. 1+2. 5付近			9. 1
計				m ³ 99. 8	計				m ² 99. 8					m ² 55. 3

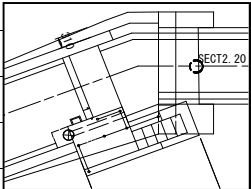
大濁池

舖 裝 工 數 量 計 算 書

工事用進入路案図面より

[illegible]

計第 表 防護柵工				数 量 計 算 表			
Gr-C-4E 土中用							
位 置		延長・ヶ所	摘 要	位 置		延長・ヶ所	摘 要
平面図より							
NO. 0+1. 3 ～ NO. 0+5. 8		4. 1					
			階段で入口0. 8m開ける				
NO. 0+6. 4 ～ NO. 1		3. 7					

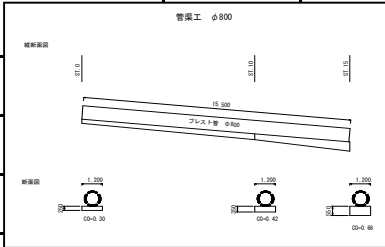
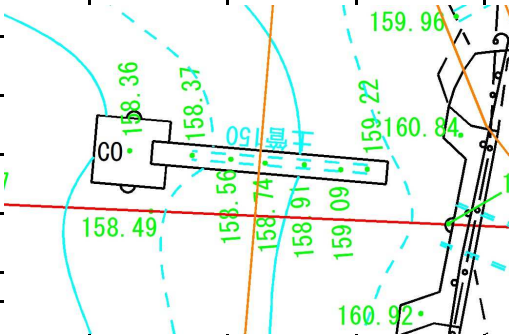
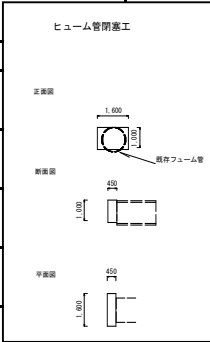
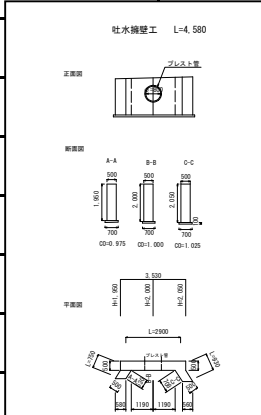
計第表 防護柵工				数 量 計 算 表				
転落防止柵 コンクリート建込用				チェーン				
位 置		延長・ヶ所	摘 要	位 置		延長・ヶ所 摘 要		
平面図より								
洪水吐移行部								
(左岸側)		-	ガードレールがあるので不要とする。					
(1号止壁部)		-						
(右岸側階段付近)		階段部	2.7	(右岸側階段付近)		踊り場出入口	0.8	ゲート出入り口3本設置
	踊り場池側		0.9			0.8		
	ゲート作業場		1.3			0.8		
	小計		4.9			2.4		
</								

大濁池

撤 去 工 数 量 計 算 書

種別 番号	距離	石積撤去 ST t =0.3m			種別 番号	距離	アスファルト舗装取壊しt=5cm			種別 番号	距離	舗装版切断（アスファルト） t=5cm		
		法長	平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
堤体横断面図より					工事用進入路図面より 平面図よりCAD読み					工事用進入路図面より NO.0付近進入路口				4.4
NO. 1						舗装面積と同じ値			99.8	NO.1+0.5付近				4.7
	-	2.0	-	-										
	1.1	2.0	2.00	2.2										
					</									

撤 去 工 数 量 計 算 書

災害暫定復旧図面より				平面図より			
種別	距離	管渠工基礎コンクリート等 無筋		種別	距離	現況土砂吐・斜樋 鉄筋	
番号		平均	数量	番号		断面	平均 数量
		災害暫定復旧図面より	6.3				
		災害暫定復旧図面より	0.7	想定土砂吐		$1.2 \times 1.2 \times 1.2 - 0.8 \times 0.8 \times 0.8 =$	1.2
		災害暫定復旧図面より		想定斜樋		$(0.4 \times 0.4 - 0.1 \times 0.1) \times 4.2m$	0.6
		吐水擁壁C0	4.6				
		均しC0	0.3				
		洪水吐横断図N0.0+30.753より					
		均しC0=0.3×6.0＝	1.8				
			m ³			m ³	
		13.7				1.8	
							m
							計 7.2

大濁池

撤去工数量計算書

災害暫定復旧図面より

[illegible]

大濁池

仮 設 工 数 量 計 算 書

工事用進入路案図面より

種別 番号	距離	工事用進入路掘削砂質土			種別 番号	距離	進入路路床盛土砂質土			種別 番号	距離	仮設道敷砕石 W=3.0m t=0.1m		
			平均	数量			断面	平均	数量			断面	平均	数量
断面図より NO. 0	-	0.0	-	-						断面図より NO. 0	-	3.0	-	-
NO. 0+5.0	5.0	5.2	2.60	13.0						NO. 0+5.0	5.0	3.0	3.00	15.0
NO. 0+9.0	4.0	11.3	8.25	33.0						NO. 0+9.0	4.0	3.0	3.00	12.0
	3.5	0.0	5.65	19.8							3.5	3.0	3.00	10.5
				m ³	進入路掘削と同じ量の盛土とする。									m ²
計				65.8	計				65.8	計				37.5

大濁池

仮 設 工 数 量 計 算 書

工事用進入路案図面より

[illegible]